

令和3年度

同仁

社会福祉法人 同仁会

事業概要



児童家庭支援センター「あいびー」



## はじめに

昨年度は新型コロナウイルス感染症で大変な一年となりました。

4月に緊急事態宣言が全国に発令され、オリンピックは延期、飲食店の営業時間短縮と、未経験の事態に対して、子どもたちもわれわれ職員も予防対策に終始した一年でした。

関係各位には多大なご不便をおかけ致しましたが、ご協力とご支援のおかげで無事に令和2年度を終了することが出来ました。本当に有り難く、改めて深く感謝申し上げます。

今年度は念願の「同仁会子どもセンター」の大規模修繕工事を予定しています。

今回の工事によって、臨海学園・同仁会乳児院の子どもたちが、より家庭に近い環境で、より地域の人々に見守られながら成長することが出来るものと思います。

さて、春になりワクチン接種が始まる等の知らせがある一方で、日々感染者が増加して予断を許さない状況も続いています。施設整備と合わせて、感染症に対する取り組みも引き続き講じなければなりません。それでも、今までにない時代を子どもたちと一緒に楽しみながら過ごしていきたいと思えます。

今後共、ご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

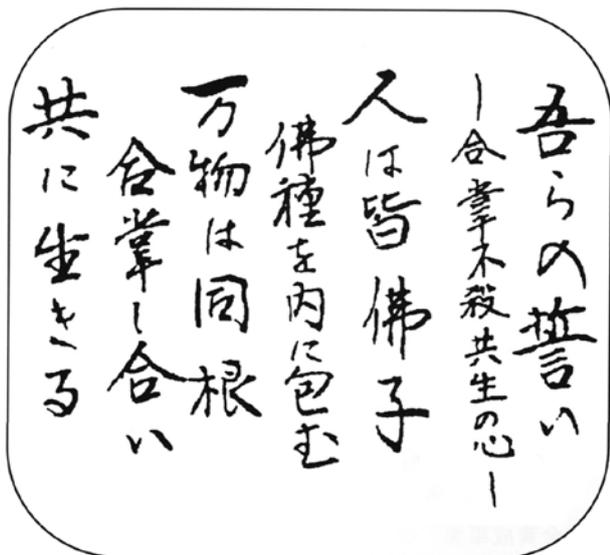
令和3年5月25日

理事長 塩澤 幸一

# 目 次

はじめに

綱領・年間目標・経営基本方針	1
1 施設の概要	8
2 法人の沿革	10
3 令和3年度経営計画	13
4 役員、評議員及び施設長等	13
5 組織及び職員の配置	14
6 法人の運営	16
7 部門別運営計画及び令和2年度の状況	28
1. 同仁会児童家庭支援センター	28
2. 児童家庭支援センター あいびー	31
3. 発達障害者支援センター COLORSつくば	34
4. 同仁会地域子育て支援センター	36
5. 保育所 同仁東保育園	40
6. 放課後児童健全育成事業 ゆうゆうクラブ	44
7. 障害児通所支援事業 くれよんクラブ高萩	47
8. 児童養護施設 臨海学園	49
9. 児童養護施設 同仁会子どもホーム	58
10. 児童養護施設 内原和敬寮	65
11. 児童養護施設 つくば香風寮	73
12. 乳児院 同仁会乳児院	81
13. 乳児院 さくらの森乳児院	90
14. 児童心理治療施設 内原深敬寮	98
8 令和3年度収支予算書及び令和2年度決算の状況	105



創設者理事長 遠藤 光静 書

## 綱 領

### 『合掌深敬の心』

#### 三つの誓い

ふ	せ	(	あた	よるこ	を	まな
布	施		える	び	を	学
持	戒	(	おのれ	ちか	い	を
智	慧		ゆた	かな	精	神
			か	な	を	培
			え			え

大自然は“共生”の大原則のもと、それ自体の摂理と自浄作用により全体のバランスを保ち生存維持の営みを続けている。

人間も自然の一部として、この生の営みの埒外ではない。この事は自然保護や環境保全が新しい現代の人間課題として登場してきた現実に照らしても自明である。

“釈迦牟尼”－仏陀の教示する不殺生の戒は、現代的にはこの共生の原理に当るものである。また所謂、共存や生命尊重も以上の事を踏まえたうえでの論理に立つものである。とりわけ、生命尊重は何人も仏性（己を高めたい願望）を内蔵する故に尊く、また人間の仏教的生きる使命は、その内なる能力開発（仏性開顕）にあると訓されている。福祉が人間の幸福課題を希う実践であろうとする限り、その人間課題の深い部位で、仏陀の覚り得たものと密に弧を接する群類にあると言える。

本会はこのような基本理念に立ち、福祉の実践を目指すものである。関係者一同、この共通理解に立ち職分を自覚し、異体同心にその担い手として社会福祉の一隅を照らそう。

## 一年間目標

### 四月 合掌聞法 — 最高の聞き耳を持つ —

話を聞くのに一番大切な事は、関心のある心のベースがある事が物事をよく聞き取る基である。聞法の「法」とは仏教哲学の教える規範、「人はいかに生くべきか」の教を指す。本当は、この事が「生きる」と言う生命を持続している限り第一の関心事である筈だ。

この心構えで話を聞けば、何事も自分の生きる糧とならないものはなく、有り難い事である。限りある人生の中で、見聞き得た事が勉強となるなら、全て合掌感謝とやらなくてはならない。私も子供に法を聞く者である。

### 五月 持戒和合 — きまりを守る —

客体的な戒としては法律があるが、ここで言う「戒」は主体的戒を指します。客体的集団規制の掟以前の人の生き態に係る、自分が自分に課する戒の事です。速度を高くすればする程、それに対応する制禦が働かない事には実用に役立たない。人間も地位・立場に相応する自己制禦のブレーキが必要である。それを生涯の戒とする人は、立派な人生と言える。和合は実は内なる盲目の自己と自己制禦の葛藤の上に支えられる至宝である。

### 六月 生命尊重 — 全ての物の生命を大切にす —

宇宙は一体・全体が連鎖集合の生命体、人間を頂点とする生命体の連鎖生滅、弱肉強食の上に生命が維持されている。

殊に人間の生命は、宇宙の最高の生命顕現として、覚者—仏性—たる可能性を持つ故に尊厳である。それ故、全生命系の支配と同時に護り育てる責任がある。全てをその本来のいのちの如く、完全に自己実現できるよう祈らねばならない。

### 七月 布施奉仕 — 社会に喜ばれる —

グローバルな生態系の中で、生物は相互に食い合う連鎖関係で生きて居ります。人間だけが食われる連鎖から解放され、色々の生命体を食って生きて居ります。意識して与える事のできるのは人間のみです。その事を踏まえての奉仕の心です。大乘仏教の布施行は、意識して他に与え、みかえりを求めない修行です。

「財 施」 無償の金品施与の行です。心がければ誰でもできます。それでも「あんなにしてやったのに」と愚痴るもの、求めない事は至難の技です。

「法 施」 人間の生き態、ものの道理を教えてあげる、心の糧を与えられる人は幸せです。

「無畏施」 危難や生死の関頭に立って安祥として対処できる悟道を与える事、凡人のできない事です。身体で、口で、意で常に心掛ける事が大切です。

### 八月 自利利他 — 相手の立場を考える —

仏教は物の道理を教える理論を持って居ります。「因縁」と言う言葉がそれです。よく「袖ふれ合うも多生の縁」等と言います。物事は全て因が先ず有って、それが縁にふれ果が生じ、その果がまた第二因となって、縁にふれ第二果を生む、連鎖して無尽の相関関係の世界を展開します。

人と人の結び付きも無尽世界そのものです。その中で本能的に生きる限り、誰もが自利を追求するのは当然です。

だが人間相互の係りは、自利が利他になる様な積算が成立しない限り、個と個は結ばれる事はありません。自利とは利他によって与えられたものです。この事を踏まえて、自利を得る「受け皿」をつくる事が先決です。

「利他行」 他<sup>りたぎょう</sup>の為にお役に立つ心掛けは、社会生活の基本です。利他行なくして得たものは、本当の自分のものでなく、一時預りのようなものです。

## 九月 報恩感謝 — 有難うと心から言える —

マスコミ情報<sup>うず</sup>の渦、騒忙<sup>そうぼう</sup>の日々の中では、自己凝視<sup>ぎょうし</sup>とは縁遠いものとなりました。今日只今<sup>こんにちただいま</sup>、此処<sup>ここ</sup>に存生<sup>ぞんじょう</sup>する自己を凝視<sup>ぎょうし</sup>することを仏教<sup>きび</sup>は厳しく教えて居ります。親ありて、師ありて、友人ありて、郷土故国ありて、親、師、衆生<sup>しゅうじょう</sup>、国土<sup>こくど</sup>の四恩<sup>しおん</sup>を掲げて居ります。

人間だけができる自己<sup>めぐ</sup>を環る凝視<sup>めく</sup>の深い温もりと、ほのぼのとした感謝<sup>じょうねん</sup>の情念<sup>じょうねん</sup>です。生命のルーツ、育ての親、学習し得た師友先輩、自然の山河、国土風俗等、どれを取っても自分を養い<sup>はぐく</sup>育<sup>い</sup>んでくれた大自然の営<sup>いとな</sup>みです。一つ一つの反省点検<sup>むしやうきょうじゅ</sup>を経て、無償<sup>むじやう</sup>享受<sup>じやうじゆ</sup>の施与<sup>せよ</sup>を受けて居る事にハッと気付いたものです。四恩を感じ取れる人は、この施与<sup>せよ</sup>に応え、亦<sup>また</sup>、感謝「ありがとう」の言葉の素直<sup>すちく</sup>に言える、内懐<sup>うちぶところ</sup>の深く豊かな人です。そんな人に育て、なりたいものです。

## 十月 同事協力 — 心こもる協力 —

お互いに同じ空の下、同じ時代を共受共有して「今ここにある」と言う己の存在を考えてみた事がないだろうか。当り前の事を、永遠の時、無限の空間の位相<sup>いそう</sup>で考えてみる。そう言う位相<sup>いそう</sup>に己を打ち据えて探求する。同事とはその様な哲学する姿勢である。そこでは大きな価値転換、つまり偶然、当り前の事が必然なものとなり、私と他者との出会いが運命的必然として再生してくる。

同事協力とは、だからそんな深い思索<sup>しさく</sup>の底で縁<sup>ほんしょう</sup>の本性に<sup>ほんしょう</sup>気が付き、心から協力する生き方である。思い付きや、一寸<sup>ちよつと</sup>した縁での協力もあるが、親兄弟、夫婦、恩師上司、親友同僚等、その関係には浅深<sup>せんしん</sup>があるが、「袖ふれ合うも多生の縁」とやら、路傍<sup>ろぼう</sup>のものとして過ぎ去って行くのではなく、心の永遠の相の窓に映し、心の中にどのように慈<sup>いつく</sup>しみ育てるか、豊かな人生<sup>きず</sup>を築<sup>かぎ</sup>く鍵でもあると言えよう。

## 十一月 精進努力 — 己の成長を愛せ —

秋もたけなわ、自然は秋の果実をみのらせ、「食欲の秋」とも言われる。“精進料理”と言われ魚介類を使用しない仏教の調理がある。心身を調和して養い、求道修行の目的<sup>めくどう</sup>を果すに好都合な料理の意味である。

人も自然の一部として、その自然環境に育つ食物によって生き、生かされている。「身土不二」と言う東洋思想がその事を物語っている。肉体は環境自然に依<sup>よ</sup>って養われて居り、だとすれば大地と肉体とは大きく連続して居ると思惟<sup>し</sup>する発想である。

霊長類<sup>れいちよう</sup>としての人の生きて居る目的は、自然の調和<sup>じゆんのう</sup>に順応して、地上に平和の世界を実現する事である。その為の生命、その生命維持の為の「食」である限り、徒らに肉体生理上の糞として排出する丈ではない。それは身を養い、そのエネルギーを社会に活性化する事である。精進努力とはその様な深い意味をもつものである。

## 十二月 忍辱持久 — 苦しい事に耐える —

受刑者が、「刑務所を出る」ことを「沙婆<sup>しゃば</sup>に出る」と言う。シャバとは梵語で、「忍土<sup>にんど</sup>」と訳す。人間の生きるこの世は、苦しい事<sup>いや</sup>や嫌な事に耐えて生きる世界であると言う大前提が、仏教には先ずあることを考えて見る事である。物質文

明の恩恵に浴し、その中にどっぷりと埋没した現代は、エゴだけが露出し、耐える事を忘れかけた時代とも言えるかも知れない。

その様な時代だからこそ、肉体の鍛練の凡ゆるスポーツが大切なと同様に、意図的な自己耐性の涵養が心がけられるべきである。仏教の忍辱持久の徳目は、人が生きる姿を、耐えてゆく事と捉えた大前提に立って、凡ゆる苦しい事に立ち向かって生きる生き態を教えて居るものとして意味深いものと思う。

自己の耐性は誰も手伝ってくれないもの、自分で開発するしかない徳目である。

## 一月 和顔愛語 — 心に慈愛をたたえ、相手の為になる言葉かけをする —

「愛語」とは、その言葉が、その人の人生の転機となる、亦は生涯の生活の指針となる様な言葉。だから常に心の奥深く、他者を慈愛する心がなくては生まれない一語である。従って愛語を発する時は自然に、慈しみをたたえた和顔であるので「和顔愛語」と言う。

悟りを得た後の仏陀の言葉は、衆生慈悲の言葉を謂うもの、全てが和顔愛語である。愛憎、悲喜、怨恩等々現実の姿を、仏智見と言う絶対慈悲の境位で把える世界である。親の児に示す、無条件の慈愛、犠牲、奉仕、言葉かけ、どれ一つ取っても、人間の持つ靈性、仏性の一分顕現である。

愛語は、にたにた笑いからは出ない。時には仁王の様な叱怒も伴う。心底は和顔なのである。無償の慈愛なしには一語もない世界だ。

## 二月 禪定寂靜 — 心を無の状態に静坐し、常に根源的発想を養うこと —

人間開発を心身共に最高に開発活性化し、地上楽土を建てる事が仏教の目的である。仏陀の切り開いた内証の世界は、禪定と言う静坐の姿勢から得た地上最高の精神世界である。

独生独死、独去独来と言われる自己の「己れ」とは何者かを見据えて見る事は大切な事である。情報時代と言われる、余りにも多種多様な情報に包まれ、時に情報選択すら放棄し慌しく返す日々の多い今日この頃、心掛けねばならない事である。心の大掃除、点検、自己回復の手段である。人は半神半獣、靈肉二重層の世界を生きる、欲望と言う名の馬車に乗る生きものである。

臍下丹田呼吸は坐禅の初歩、そして奥儀である。自信溢れる福祉実践者は、丹田を養生する事から始まる。一呼吸置いてする心掛けである。

## 三月 智慧希望 — 困難を乗り越えてゆく人生智を持ち、祈りと希望を捨てるな —

人の生活する現実、は、相対の世界である。苦楽、愛憎、悲喜は、相互に裏腹である。この相即相対の原理に立って、苦に居て、楽の日の近い事を、愛の日々が、憎の時にならない様、発想出来る人間訓練が望まれる。

智慧とは、知識とは異なる流動的な生の流れの真っ只中で行なわれる人格的総合判断である。

多難の人生、毎日が決断の日々であるが、決断に戸惑う暗黒の日もないとは言えまい。そんな時は、動かずじっと希望を捨てず、祈る事である。祈りは、危機に臨んで最高のエネルギーを分与してくれる。祈り、希望しない処には何も生まれて来ないからである。

仏語の智慧とはもっと高次元のものだが、我々も常にこの人生を切り開いてゆく智慧を養いたいものである。

## 誓 願

綱領及び年間目標は、創始者初代理事長遠藤光静氏が描いた熱き思いである。

私たちは、永遠の課題としてこの基本理念を尊重し、誠心努力することを誓願する。

## 理 念

綱領「合掌深敬の心」を基本理念とする。

合掌深敬とは「感謝して深く敬う」との言葉であるが、狭義では人間尊重や個性尊重を意味している。しかし、課題として捉えるには漠然としている。故に、これを「人権を守る」と定義し、以下のとおり解釈する。

- ① あなたのことを知っています
- ② あなたに関心があります
- ③ あなたを必要としています

これらを具現化するために、次のとおり実践する。これらが、私たちのめざす「自立支援」の基本です。

- (1) 「あなたのことを知っています」とは、その基本は名前を知っているということです。必ず名前を呼ぶようにします。
- (2) 「あなたに関心があります」とは、人間関係を示唆し、その基本はあいさつすることにあります。常に明るくあいさつすることを心掛けます。
- (3) 「あなたを必要としています」とは、「ありがとう」と言葉でいえることです。私たちは福祉を志し、奉仕やボランティアのこころを強く持っているため、常々「ありがとう」と言われる立場にあります。しかし、福祉の専門職としては、私たちが「ありがとう」と言える環境を造ることが求められています。子ども達の行事の参加や常々のお手伝いの中で「ありがとう」と言える場面を沢山造っていきます。

## 法人の求める職員像

職員は常に自律の心を持ち、他人の為に働く喜びを忘れず、物事に柔軟に対応できることを基本とする。

職員は常に理想を描き、その実現のため他人と協調し、積極的に行動するように努める。

職員は常に法人理念及び年間目標を理解し、正しい判断ができるように研鑽に努める。

- 人事規程第9条
  - 1 人格見識に優れていること
  - 2 常に精進努力を心がけること
  - 3 法人の綱領及び年間目標を理解し、実践できること
  - 4 他と協調し又は共同して業務の推進を図れること
  - 5 情報の収集と分析ができること
  - 6 将来を先見し目標達成のため努力できること
  - 7 安全への配慮と適切な対応ができること

# 経営基本方針

社会福祉法人同仁会は、専ら児童福祉に関する事業を実施することを宣言し、法人の経営及び事業の実施にあたっては、次の事項を遵守してまいります。

## 1 人権の尊重

- (1) 法人綱領及び理念の理解と実践に努める。
- (2) 利用者（以下「児童」という。）の権利を尊重したサービスの提供、発展に努める。
- (3) 児童や家族からの苦情、相談に対して誠意を持って対応するとともに、第三者委員制度の活用などにより、適切な是正、改善に努める。
- (4) 児童や家族のプライバシーや個人情報の保護に努める。
- (5) 人権の尊重や個人の尊厳への配慮意識を高める研修を定期的実施する。

## 2 サービスの質の向上

- (1) 児童の個性や特性に応じ、児童自身が自主的、主体的に活動できるように支援する。
- (2) 家庭との連携及び相互理解を図りながら、早期に家庭復帰ができるように家庭環境の整備に努める。
- (3) 施設ごとにサービス提供方針、業務手順や必要なマニュアルを策定し、職員に浸透させる。
- (4) 施設ごとにリスクマネージャーを置くとともに、共通理解を図るためリスクマネージャー会議を定期的開催する。
- (5) 第三者評価の受審により、客観的な視点でサービスの質をチェックする。
- (6) 学校教育との連携協力体制を構築し、一体とした支援に努める。

## 3 地域との連携協力

- (1) ボランティアの受入を積極的に行い、住民参加による福祉の実践に努める。
- (2) 地域の関係機関、団体とのネットワークの構築に主体的に関わり、福祉ニーズを抱える住民への適切な支援の基点となるように努める。
- (3) 地域の再生又は活性化に向け、町おこしや雇用の創出に積極的に関わるとともに、人の集う場の提供等に努める。

## 4 コンプライアンス（法令及び法人倫理遵守）の徹底

- (1) 法令及び法人倫理の遵守の徹底に向けた管理体制や規定を整備し、公共的、公益的かつ信頼性の高い経営に努める。
- (2) コンプライアンスの適切な理解と啓発に努める。

## 5 説明責任の徹底

- (1) 法人事業や財務に関する情報を積極的に公開し、透明性の高い経営を実現する。
- (2) サービス提供に関する適切な記録と保管を行う。
- (3) 児童との信頼関係の構築及び地域とのコミュニケーションに努める。

## 6 関係業者との適正な契約関係の構築

- (1) 関係業者との公正、透明かつ自由な取引に努めるとともに、適正な契約関係の構築を行う。
- (2) 反社会的勢力や団体に対する対応マニュアルを策定する。

## 7 行政との連携・協力の促進

- (1) 行政との連携及び協働により、地域の課題への積極的な対応に努める。
- (2) 行政との透明性の高い関係を構築する。

## 8 人材育成、適切な人事・労務管理の実践

- (1) 人材育成に関する方針を明確にし、研修体系の整備等、人間性の向上や必要な能力開発に努める。
- (2) 職員の自己研鑽を支援する。
- (3) 職員の自己実現に配慮し、多様な人材が個々の能力を発揮できる職場づくりに努める。
- (4) 労働関係法令の遵守と適切な労務管理を実施するとともに、適正な人事制度を構築する。また、高齢者、障害者の働く場の確保に努める。
- (5) 安全で健康的な職場環境を確保し、快適な働く場の実現に努める。
- (6) 福祉職員養成における実習及び教員養成課程における介護等実習を積極的に受入、質の高い人材育成に資する。

## 9 公共的・公益的取組の推進

- (1) 地域の児童福祉ニーズを幅広くかつ迅速に把握するように努め、先駆的、開拓性のある事業経営を実践する。
- (2) 地域において児童の支援を要する者に対して、既存制度の枠組みにとらわれずに支援の実施に努める。

## 10 組織統治の確立

- (1) 経営に対する適切なチェック・牽制機能の強化を意図した組織作りに努める。
- (2) 外部監査を実施し、事業、財務に関するチェックを行う。
- (3) 公益通報者保護法に基づく相談・通報窓口を整備する。

## 11 財政基盤の安定化

- (1) 業務分掌及び職務権限を明確にし、適正な会計処理が行える体制を整備する。
- (2) 施設の長及び会計担当職員は、会計処理に必要な知識の習得に努める。
- (3) 法人の経営状況及び財務状況をホームページや広報誌等により積極的に公表し、透明性の高い財務管理に努める。
- (4) 施設整備など長期的計画に基づき、積立等の資金管理を実施する。
- (5) 職員全員のコスト意識の醸成を図る。

## 12 経営責任の明確化

- (1) 事件事故が発生した場合は、理事長又は施設の長が率先して対応に当たり、原因の究明、被害の拡大の防止、再発防止策の明確化等、責任ある対応に努める。
- (2) 理事長又は施設の長は、事実関係や再発防止策を公表するなど、迅速な説明責任を果たす。
- (3) 施設の長は、日常的にリスクマネジメント及び危機管理の具体的な取組を行う。

# 1 施設の概要 (同仁会ホームページ : <http://www.doujinkai.or.jp/>)

## 1) 同仁会子どもセンター

所在地 〒318-0011 茨城県高萩市肥前町 1-80  
敷地 3,449.93 m<sup>2</sup>  
建物 鉄骨造 4階建 (一部地下1階) 3,160.15 m<sup>2</sup>  
児童養護施設 臨海学園 (定員 30名)  
TEL 0293-22-2357 FAX 0293-23-3224 E-mail rinkai@doujinkai.or.jp  
施設長 塩澤 幸一

乳児院 同仁会乳児院 (定員 20名)  
TEL 0293-23-6251 FAX 0293-23-3224 E-mail baby@doujinkai.or.jp  
施設長 谷 由紀子

同仁会児童家庭支援センター  
TEL 0293-22-2471 FAX 0293-22-0337 E-mail kodomo@doujinkai.or.jp  
TEL 0293-22-0318 (相談専用電話)  
センター長 芳賀 英友 (兼務)

法人事務局  
TEL 0293-23-3245 FAX 0293-22-4260 E-mail mail@doujinkai.or.jp  
事務長 遠藤 雅明

## 2) 保育所 同仁東保育園 (定員 120名)

所在地 〒318-0013 茨城県高萩市高浜町 2-35  
敷地 1,944.01 m<sup>2</sup> (内借地 906.01 m<sup>2</sup>)  
建物 鉄骨・木造コンクリート屋根スレートかわらぶき陸屋根2階建 993.36 m<sup>2</sup>  
TEL 0293-23-6121 FAX 0293-23-2413 E-mail higashi@doujinkai.or.jp  
施設長 今橋 優子

## 3) ゆうゆう館

所在地 〒318-0012 茨城県高萩市有明町 1-144  
敷地 506.36 m<sup>2</sup>  
建物 鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根2階建 399.74 m<sup>2</sup>  
放課後児童健全育成事業 ゆうゆうクラブ (定員 40名)  
TEL 0293-23-7643 FAX 0293-20-5103 E-mail club@doujinkai.or.jp  
子育て支援拠点事業 同仁会地域子育て支援センター  
TEL 0293-20-5559 FAX 0293-20-5103 E-mail kosodate@doujinkai.or.jp  
館長 伊藤 ミサ子

## 4) 児童養護施設 同仁会子どもホーム (定員 25名)

所在地 〒318-0024 茨城県高萩市秋山 712-1  
敷地 1,736.04 m<sup>2</sup> (借地)  
建物 本館 : 鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 494.74 m<sup>2</sup>  
ユニット棟 : 木造合金メッキ鋼板ぶき2階建 97.70 m<sup>2</sup>  
TEL 0293-23-3254 FAX 0293-20-5188 E-mail home@doujinkai.or.jp  
施設長 芳賀 英友

5) 障害児通所支援事業 くれよんクラブ高萩 (定員 10名)

所在地 〒318-0012 茨城県高萩市有明町 1-46

敷地 538.93 m<sup>2</sup>

建物 木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 111.79 m<sup>2</sup>

TEL 0293-44-7301 FAX 0293-23-7302 E-mail kureyon@doujinkai.or.jp

責任者 伊藤 ミサ子 (兼務)

6) 内原同仁会子どもセンター

所在地 〒319-0325 茨城県水戸市小林町 1186-84

敷地 14,125.26 m<sup>2</sup> / 4,139.11 m<sup>2</sup>

建物 和敬寮本館：鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建 648.10 m<sup>2</sup>

小規模ユニット棟：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 345.43 m<sup>2</sup>

管理棟：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 302.67 m<sup>2</sup>

深敬寮本館：鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建 1,751.91 m<sup>2</sup>

学校棟：鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建 739.18 m<sup>2</sup>

児童家庭支援センター：鉄骨造2階建 324.00 m<sup>2</sup>

児童養護施設 内原和敬寮 (定員40名)

TEL 029-212-5054 FAX 029-239-3083 E-mail wakei@doujinkai.or.jp

施設長 西野宮 由紀

児童心理治療施設 内原深敬寮 (定員入所40名・通所10名)

TEL 029-212-5053 FAX 029-239-3082 E-mail uchihara@doujinkai.or.jp

施設長 渡邊 孝幸

内原同仁会事務局

TEL 029-257-5501 FAX 029-259-6688

児童家庭支援センター あいびー

TEL 029-291-3770 FAX 029-291-3772

センター長 西野宮 由紀 (兼務)

7) つくば同仁会子どもセンター

所在地 〒300-1245 茨城県つくば市高崎 802-1

敷地 6,152.00 m<sup>2</sup> / 1,856.21 m<sup>2</sup>

建物 つくば香風寮本館：鉄骨造陸屋根2階建 1,074.92 m<sup>2</sup>

さくらの森乳児院本館：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 457.95 m<sup>2</sup>

管理棟：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 323.30 m<sup>2</sup>

COLORS棟：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 159.35 m<sup>2</sup>

児童養護施設 つくば香風寮 (定員30名)

TEL 029-875-3451 FAX 029-875-3460 E-mail tukuba@doujinkai.or.jp

施設長 江原 勝久

乳児院 さくらの森乳児院 (定員20名)

TEL 029-875-3452 FAX 029-875-3460 E-mail sakura@doujinkai.or.jp

施設長 小林 亮一

発達障害者支援センター COLORSつくば

TEL 029-875-3485 FAX 029-875-3486 E-mail colors@doujinkai.or.jp

センター長 江原 勝久 (兼務)

## 2 法人の沿革

設立発起人 遠藤光静  
大高新一郎  
今川三九郎  
鈴木藤雄  
滝宗作

年 月	種 別	概 要
昭和25年 4月	(同仁会)	創立者 遠藤光静氏、自坊にて里子3名を養育
10月	(同仁会乳児院)	日立市助川町2-15を市より無料貸与
		恩賜財団同胞援護会日立支会「日立乳児預かり所」認可 定員9名(10月7日)
昭和27年 1月	(臨海学園)	建設中の施設建物焼失、焼失時竣工率80%(1月12日)
6月	(臨海学園)	秋山小学校廢材にて竣工、「高萩臨海学園」認可 定員40名(6月24日)
昭和28年 4月	(同仁会乳児院)	保育棟増築(共同募金会・日立市補助)
昭和30年 4月	(臨海学園)	定員50名に増員
昭和32年 3月	(同仁会乳児院)	恩賜財団同胞援護会日立支会解散、私立日立乳児院となる
昭和37年 11月	(同仁会)	社会福祉法人設立認可、「高萩臨海学園」と称す
11月	(同仁会)	遠藤光静氏、初代理事長に就任
昭和38年 3月	(臨海学園)	児童小舎寮新築(お年玉付年賀はがき寄付金補助事業)
4月	(臨海学園)	御下賜金拝受
8月	(臨海学園)	調理室改築
昭和39年 4月	(同仁会乳児院)	御下賜金拝受
7月	(臨海学園)	臨海学園本館全面改築(日本自転車振興会補助事業)
昭和41年 11月	同仁会	法人名称変更 「同仁会」と改称
昭和42年 4月	臨海学園	「臨海学園」と改称
4月	(同仁会乳児院)	創設者院長 立花 寿氏 物故 社会福祉法人同仁会帰属
9月	同仁東保育園	建物竣工、臨時開園(日本自転車振興会補助事業)
10月	(同仁会乳児院)	施設増築、「日立乳児院」認可、定員13名
昭和43年 4月	同仁東保育園	「同仁東保育園」認可、定員60名
昭和44年 4月	同仁東保育園	定員70名に増員
昭和45年 4月	同仁東保育園	定員90名に増員
昭和51年 2月	(同仁会乳児院)	高萩市に施設建物竣工及び移転(日本船舶振興会補助事業・2月5日)
4月	同仁会乳児院	「同仁会乳児院」と改称、定員24名
昭和53年 12月	臨海学園	児童ホール新築(日本自転車振興会補助事業)
昭和54年 12月	臨海学園	調理棟改築(日本馬主協会補助事業)
昭和56年 4月	同仁東保育園	乳幼児室増築、0才児保育開始
11月	同仁会	施設設立30周年記念祝賀会開催

年 月	種 別	概 要
昭和62年 12月	同仁東保育園	幼児室及び遊戯室の増改築（日本自転車振興会補助事業）、障害児保育開始
平成4年 4月	同仁会	施設設立40周年記念
平成6年 5月	同仁会	創設者理事長 遠藤光静氏 逝去
6月	同仁会	遠藤光洋氏 第二代理事長就任
平成7年 4月	同仁会乳児院	定員30名に増員
平成9年 4月	同仁会	法人事務局、高萩市有明町に移転（ゆうゆうクラブ2F）
4月	同仁東保育園	延長保育開始（午後8時まで）
4月	ゆうゆうクラブ	放課後児童健全育成事業「ゆうゆうクラブ」開設、定員40名
平成11年 12月	臨海学園	臨海学園全面改築「同仁会子どもセンター」竣工（国・県補助事業）
平成12年 1月	臨海学園	定員70名に増員
4月	臨海学園	「同仁会児童家庭支援センター」の付置
4月	同仁会乳児院	同仁会子どもセンターに移転合築、定員35名に増員
4月	同仁会乳児院	「同仁会子育て支援センター」の付置
平成13年 4月	臨海学園	定員80名に増員
4月	同仁会乳児院	定員40名に増員
4月	同仁東保育園	一時保育開始
4月	同仁会子どもホーム	児童養護施設「同仁会子どもホーム」設置認可、定員26名（旧乳児院跡地）
平成14年 5月	同仁会	評議員会設置
5月	同仁会乳児院	乳児室増築のための確認申請完了（事業の実施は延期）
10月	同仁東保育園	保育園舎増改築（高萩市補助事業）
平成15年 2月	同仁会	施設設立50周年記念祝賀会開催
3月	同仁会	児童情報管理システム導入（臨海学園・子どもホーム）
3月	同仁会乳児院	乳児室内部改装工事実施
3月	同仁東保育園	保育園舎増改築工事完了
4月	同仁会乳児院	同仁会子育て支援センターの廃止
4月	同仁東保育園	「同仁会地域子育て支援センター」の付置
7月	内原深敬寮	情緒障害児短期治療施設「内原深敬寮」設置認可 計法定員30名（通所10名・入所20名）
7月	内原和敬寮	児童養護施設「内原和敬寮」設置認可、定員30名
平成16年 3月	同仁会	法人事務局、高萩市肥前町に移転（同仁会子どもセンター内）
3月	同仁東保育園	同仁会地域子育て支援センター、ゆうゆうクラブ2Fに移転
4月	臨海学園	ユニットケア推進のため小規模改修
4月	同仁東保育園	定員120名に増員
4月	内原深敬寮	計法定員40名（通所10名・入所30名）
4月	内原和敬寮	定員40名に増員
4月	内原同仁会	第二期内原同仁会大規模改修工事（国・県補助）
平成17年 3月	内原和敬寮	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）
4月	臨海学園	定員70名に減員
4月	内原深敬寮	計法定員35名（通所5名・入所30名）
7月	内原同仁会	従たる事務所設置
10月	同仁東保育園	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）
10月	同仁会子どもホーム	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）
平成18年 11月	臨海学園	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）

年 月	種 別	概 要
平成19年 4月	内原深敬寮	計法定員40名（通所5名・入所35名）
平成20年 3月	同仁会	法人中長期経営計画策定
平成21年 4月	同仁会	地域子育て支援拠点事業独立
4月	同仁会	一時預かり保育事業独立
平成23年 4月	臨海学園	定員40名に減員
4月	同仁会乳児院	定員20名に減員
4月	同仁会子どもホーム	ユニット棟竣工・開設
4月	つくば香風寮	児童養護施設「つくば香風寮」開所、定員30名
4月	さくらの森乳児院	乳児院「さくらの森乳児院」開所、定員20名
4月	同仁会	一時預かり保育事業を保育園に統合
平成24年 5月	内原深敬寮	施設建物改築のため体育館解体撤去
平成25年 3月	内原深敬寮	内原深敬寮全面改築・竣工（県補助事業） 旧深敬寮建物解体撤去
4月	内原深敬寮	高校生の措置受入開始
平成26年 2月	内原和敬寮	内原和敬寮全面改築・竣工（県補助事業）
3月	内原和敬寮	旧和敬寮建物解体撤去
4月	臨海学園	定員30名に減員
4月	内原和敬寮	定員42名に増員
平成27年 4月	臨海学園	定員29名に減員
4月	内原和敬寮	定員40名に減員
平成28年 4月	同仁会子どもホーム	定員25名に減員
平成29年 4月	臨海学園	定員30名に増員
11月	内原和敬寮	児童養護施設退所者等アフターケア事業を茨城県から受託
平成30年 3月	同仁会	第二期法人中長期経営計画策定
4月	同仁会子どもホーム	「同仁会児童家庭支援センター」の付置
平成31年 1月	COLORSつくば	発達障害者支援センター事業を茨城県から受託
平成31年 3月	くれよんクラブ高萩	くれよんクラブ高萩事業所新築・竣工（高萩市補助事業）
4月	くれよんクラブ高萩	障害児通所支援事業「くれよんクラブ高萩」開所・定員10名
令和元年 6月	同仁会	塩澤幸一 第三代理事長就任
11月	内原和敬寮	里親リクルート事業を茨城県から受託
11月	つくば香風寮	里親リクルート事業を茨城県から受託
11月	COLORSつくば	COLORSつくば事業所新築・竣工（自主財源）
12月	内原深敬寮	内原深敬寮学校棟全面改築・竣工（自主財源）
令和2年 6月	内原和敬寮	「児童家庭支援センター あいびー」の付置

### 3 令和3年度経営計画

昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大によって生活様式が大きく変容するなど、これまでにはない運営となりました。ワクチン接種が始まりつつありますが、令和3年度もこのウイルスとの共存状態は依然として続くことと思われます。

本年は「同仁会子どもセンター」の大規模修繕が着工の予定で、資金面で一時的に厳しい状況が予想されますが、この機会に一層の財務管理の強化を図ります。

一方で、持続可能な法人運営を進める上で重要な課題である福祉人材の確保と職員の待遇改善にも取り組んでまいります。

これらのことを踏まえ、令和3年度は以下の項目について計画をいたします。

#### 1 事業の方向

- (1) 同仁会子どもセンター大規模修繕工事
- (2) 茨城県社会的養育推進計画に基づく中長期経営・運営計画の見直し
- (3) 保有地の在り方の検討

#### 2 組織の強化

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策の強化
- (2) 専門家（弁護士、公認会計士、社会保険労務士）の活用
- (3) リスクマネジメント及び危機管理の強化

#### 3 人材の確保・育成・定着

- (1) 人材確保に向けた取り組みの強化
- (2) 法人実施の職員研修の継続
- (3) 人事考課制度の継続実施

#### 4 財政基盤の強化

- (1) 予算管理の徹底による財務管理の強化
- (2) 各種加算の確保などによる収入増と無駄の排除による経費削減の徹底

### 4 役員、評議員及び施設長等

(イ) 役員（任期：令和3年6月10日～令和4年会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会議の終結のときまで）

理事長	塩澤 幸一	理事	草間 吉夫
理事	仲田 靖夫	理事	遠藤 雅明
理事	西野宮 由紀	理事	江原 勝久
監事	大部 忠則	監事	岡田 豊和 運営

(ロ) 評議員（任期：令和3年6月10日～令和6年会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会議の終結の時まで）

大橋 正男	渡邊 操
大平 敏明	大高 達也
安藤 みゆき	鈴木 教予
川口 啓予	

(ハ) 評議員選任・解任委員会（任期：令和3年6月10日～令和6年会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会議の終結の時まで）

監事代表	岡田 豊和	外部委員	宮田 哲郎
事務局	高島 早苗	外部委員	三國 省治

(ニ) 常任役員

理事長	塩澤 幸一	高萩地区入所施設及びつくば地区施設代表経営役員
事務長	遠藤 雅明	
代表経営役員	今橋 優子	高萩地区在宅支援施設代表経営役員
〃	西野宮 由紀	内原地区施設代表経営役員
〃	江原 勝久	つくば地区施設代表経営役員
理事	草間 吉夫	学識経験者

(ホ) 施設経営役員

1) 高萩地区入所施設経営役員

参事	塩澤 幸一	副参事	谷 由紀子
副参事	芳賀 英友	参事補	野田 潤一郎



## (3) 職員の職層

令和3年4月1日現在

施設名		参事	副参事	参事補	主査	副主査	企画員	企画 研修員	研修員	合計
本部事務局	男性	1								1
	女性					1				1
	計	1				1				2
臨海学園	男性	1		1			1	2	3	8
	女性						1	3	15	19
	計	1		1			2	5	18	27
同仁会乳児院	男性									0
	女性		1		1		4	5	19	30
	計		1		1		4	5	19	30
同仁東保育園	男性							1	1	2
	女性		1		1		3	2	19	26
	計		1		1		3	3	20	28
ゆうゆう館	男性									0
	女性					1		1	1	3
	計					1		1	1	3
同仁会児童家庭支援センター	男性							1	1	2
	女性							1	3	4
	計							2	4	6
同仁会子どもホーム	男性		1			1	1	2	2	7
	女性					1	1	3	11	16
	計		1			2	2	5	13	23
くれよんクラブ高萩	男性									0
	女性							1	4	5
	計							1	4	5
内原和敬寮	男性							3	5	8
	女性	1					2	4	15	22
	計	1					2	7	20	30
児家セン あいびー	男性								3	3
	女性						1	1	4	6
	計						1	1	7	9
内原深敬寮	男性		1			1	3	4	4	13
	女性						1	6	16	23
	計		1			1	4	10	20	36
つくば香風寮	男性		1			2		1	4	8
	女性						3	2	19	24
	計		1			2	3	3	23	32
COLORSつくば	男性				1			1		2
	女性								2	2
	計				1			1	2	4
さくらの森乳児院	男性		1							1
	女性						3	3	22	28
	計		1				3	3	22	29
合計	男性	2	4	1	1	4	5	15	23	55
	女性	1	2	0	2	3	19	32	150	209
	計	3	6	1	3	7	24	47	173	264

## 6 法人の運営

### 1) 評議員会

＜令和3年度事業計画＞

第63回評議員会《令和3年6月10日予定》

- 第1号議案 令和3年度事業報告(案)について
- 第2号議案 令和3年度決算報告(案)について
- 第3号議案 理事・監事の改選について

第64回評議員会《令和3年11月25日予定》

- 第1号議案 令和3年度第1回補正予算(案)について

第65回評議員会《令和3年3月24日予定》

- 第1号議案 令和3年度最終補正予算(案)について
- 第2号議案 令和4年度経営・運営計画(案)について
- 第3号議案 令和4年度当初予算(案)について

### 2) 評議員選任・解任委員会

＜令和3年度事業計画＞

《令和3年6月10日予定》

- 第1号議案 評議員の改選について

### 3) 理事会

＜令和3年度事業計画＞

第247回理事会《令和3年5月25日予定》

- 第1号報告 令和2年度第三者評価事業受審結果及び自己評価の結果について
- 第2号報告 理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について
- 第1号議案 令和2年度事業報告(案)について
- 第2号議案 令和2年度決算報告(案)について
- 第3号議案 評議員選任・解任委員会委員の改選について
- 第4号議案 評議員候補者の推薦について
- 第5号議案 理事・監事候補者の推薦について
- 第6号議案 評議員会の開催について

第248回理事会《令和3年6月10日予定》

- 第1号議案 理事長の選任について

第249回理事会《令和3年11月16日予定》

- 第1号議案 令和3年度第1回補正予算(案)について
- 第2号議案 評議員会の開催について

第250回理事会《令和4年3月15日予定》

- 第1号議案 令和3年度最終補正予算(案)について
- 第2号議案 令和4年度経営・運営計画(案)について
- 第3号議案 令和4年度当初予算(案)について
- 第4号議案 評議員会の開催について

＜令和2年度事業報告＞

第59回評議員会《令和2年6月13日》

※感染拡大防止のため書面決議

- 第1号議案 2019年度事業報告(案)について
- 第2号議案 2019年度決算報告(案)について

第60回評議員会《令和2年8月1日》

- 第1号議案 定款の変更について

第61回評議員会《令和2年11月28日》

- 第1号議案 令和2年度第1回補正予算(案)について

第62回評議員会《令和3年3月27日》

- 第1号議案 令和2年度最終補正予算(案)について
- 第2号議案 令和3年度経営・運営計画(案)について
- 第3号議案 令和3年度当初予算(案)について
- 第4号議案 基本財産担保提供について

＜令和2年度事業報告＞

開催なし

＜令和2年度事業報告＞

第243回理事会《令和2年5月26日》

※感染拡大防止のため書面決議

- 第1号報告 2019年度第三者評価事業受審結果及び自己評価の結果について
- 第2号報告 (仮称)同仁会内原児童家庭支援センターの設置認可に係る理事長専決について
- 第1号議案 2019年度事業報告(案)について
- 第2号議案 2019年度決算報告(案)について
- 第3号議案 諸規則の一部改正について
- 第4号議案 評議員会の開催について

第244回理事会《令和2年7月21日》

- 第1号報告 理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について
- 第1号議案 定款の変更について
- 第2号議案 経理規則の一部改正について
- 第3号議案 評議員会の開催について

第245回理事会《令和2年11月17日》

- 第1号報告 理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について
- 第1号議案 令和2年度第1回補正予算(案)について
- 第2号議案 給与規則の一部改正について
- 第3号議案 評議員会の開催日時及び審議事項について

第246回理事会《令和3年3月16日》

- 第1号報告 県実地検査の結果及び改善処理状況について
- 第1号議案 令和2年度最終補正予算(案)について
- 第2号議案 令和3年度経営・運営計画(案)について

- 第3号議案 令和3年度当初予算(案)について
- 第4号議案 諸規則等の一部改正について
- 第5号議案 評議員会の開催について
- 第6号議案 基本財産担保提供について

4) 監事会

＜令和3年度事業計画＞  
《令和3年5月開催予定》

＜令和2年度事業報告＞  
《令和2年5月18日開催》

5) サービス向上委員会(苦情解決委員会)

(地区ごとに設置：苦情解決責任者・苦情受付担当・第三者委員2名)  
法人の職員・児童及びその父兄、利用者等からの意見提案を広く集め、対応にあたる。

(1) 高萩地区

受付件数 2件

内 容

(同仁東保育園) 退職した職員が入所児童の保護者の個人情報を漏えいしたこと。

対 応

管理者と当該職員で謝罪。また、退職後の個人情報管理について例規を改定した。

(子どもホーム) 入所児童の保護者へ状況報告が遅いこと、着せる服に季節感がないこと、支援について要望が受け入れられなかったこと。

対 応

対応を確認し謝罪。文書にて保護者に報告した。

(2) 内原地区

受付件数 1件

内 容

(内原和敬寮) 入所児の学校内での暴力。その場に職員がいたが止めに入らなかったこと。

対 応

学校等と事実関係を確認して対応した。

(3) つくば地区

受付件数 0件

6) 法人運営・連絡会議等

(1) 定期開催会議等

イ) 常任役員会

年1回(理事長、理事)

ロ) 施設経営役員会

原則毎月(施設を4グループに分けて設置)

ハ) 管理職員会議

原則奇数月第3火曜日

ニ) 家庭支援会議

原則隔月(家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、児童家庭支援センター相談員等)

ホ) リスクマネージャー会議

全体会議年3回、高萩地区会議年3回、水戸地区会議年2回、つくば地区会議年2回

ヘ) 栄養士会議

年2回

ト) 心理職会議

年4回

(2) 随時開催会議等

イ) 処遇システム管理者会議

ロ) 事務職員会議

その他

7) 法人委員会の事業

＜令和3年度事業計画＞

研修委員会(委員8名)

委員会 …… 4回予定

講演会 …… 3回予定

研究発表会 …… 1回予定

※内容は未定

＜令和2年度事業報告＞

研修委員会(委員8名)

委員会 …… 4回

講演会 …… 3回

研究発表会 …… 1回

○講演会

第1回 令和2年7月～9月

テーマ 「理事長講話」

講 師 同仁会理事長 塩澤幸一

会 場 各施設(動画視聴)

情報公開委員会（委員9名）  
委員会 … 7回予定  
広報誌発行 … 2回  
第51号 令和3年8月 発行予定  
第52号 令和4年1月 発行予定

8) 法人職員研修

<令和3年度事業計画>

イ) 新規採用職員研修 : 参加職員予定32名

第1回 期日 令和3年4月1日～2日

会場 同仁会子どもセンター多目的ホール

内容

「同仁会の理念について」 塩澤理事長  
「組織、就業規則、給与規則について」 遠藤事務長  
「先輩からのアドバイス」 赤塚保育士・生井保育士  
「福祉職員の生活と職場のマナーについて」 谷施設長  
「児童に対する支援について」 荘司主任  
「児童の権利擁護について」 野田副施設長  
「求められること」 草間理事

第2回 期日 令和3年10月8日予定

会場 つくば同仁会子どもセンター

内容

「講話」 小林施設長  
「リスクマネジメントについて」 西野主任  
「先輩からのアドバイス」 先輩職員2名  
「3分間スピーチ」 参加職員発表

第3回 期日 令和4年2月4日予定

会場 内原同仁会子どもセンター

内容

「自己管理とメンタルヘルス」 佐名手セラピスト  
「子どもの病気と対応について」 白澤看護師  
「先輩からのアドバイス」 先輩職員2名  
「3分間スピーチ」 参加職員発表

ロ) 3年次職員研修 : 参加予定職員28名

期日 令和3年6月4日予定

会場 同仁会子どもセンター（高萩地区職員）

つくば同仁会子どもセンター

（水戸・つくば地区職員）

第2回 令和2年9月4日日

テーマ 「今、知らなきゃいけないLGBT」  
～今日から当たり前が変わる～

講師

会場 内原同仁会子どもセンターよりWEB配信

第3回 令和2年10月8日

テーマ 「より良い組織作りを目指して」

講師 株式会社Remember 代表取締役  
前川 航太郎 氏

会場 同仁会子どもセンターよりWEB配信

○研究発表会

期日 令和3年2月26日

会場 同仁会子どもセンターよりWEB配信

テーマ 「切れ目のない地域支援を目指して」  
～家族と機関をつなぐ～

情報公開委員会（委員9名）

委員会 …… 8回

広報誌発行 … 2回

第45号 令和2年8月 発行部数 1,500部

第46号 令和3年1月 発行部数 1,500部

法人パンフレット発行 … 1回

令和2年12月 発行部数 3,000部

<令和2年度事業報告>

イ) 新規採用職員研修 : 参加職員33名

第1回

録画オンデマンド配信（感染症対策のため）

内容

「同仁会の理念について」 塩澤理事長  
「組織、就業規則、給与規則について」 遠藤事務長  
「先輩からのアドバイス」 植木保育士・海老澤指導員  
「福祉職員の生活と職場のマナーについて」 西野宮施設長  
「児童の権利擁護について」 飯村主任  
「児童に対する支援について」 益子主任  
「子どもの病気と対応について」 白澤看護師  
「人事考課について」 野原事務員

第2回 期日 令和2年10月9日

会場 つくば同仁会子どもセンター

内容

「講話」 江原施設長  
「施設でのリスクマネジメント」 篠原主任  
「先輩からのアドバイス」 黒田保育士・小澤保育士  
「3分間スピーチ」 参加職員発表

第3回 期日 2020年2月5日

会場 オンライン研修（リアルタイム・3地区別）

内容

「自己管理とメンタルヘルス」 佐名手セラピスト  
「第三者評価事業について」 澤野指導員  
「先輩からのアドバイス」 益子指導員・藏淵指導員  
「3分間スピーチ」 参加職員発表

ロ) 3年次職員研修 : 参加職員21名

録画オンデマンド配信（感染症対策のため）

内容

「講話」 小林施設長

内 容  
「講話」 (高萩) 今橋施設長  
(つくば) 江原施設長  
「リスクマネジメントについて」 (高萩) 加藤主任  
(つくば) 佐々木主任  
「3分間スピーチ」 参加職員発表

ハ) 5年次職員研修：参加職員予定12名  
期 日 令和3年7月9日  
会 場 同仁会子どもセンター  
内 容  
「講話」 芳賀施設長  
「後輩への教え方・育て方」 根本主任  
「チームワークについて」 佐藤主任  
「3分間スピーチ」 参加職員発表

ニ) 副グループ長及び企画研修員研修  
：参加職員予定19名  
期 日 令和3年5月21日  
会 場 内原同仁会子どもセンター  
内 容  
「副グループ長・企画研修員に求めること」 渡辺施設長  
「予算管理について」 井手事務員  
「同仁会が目指すものについて」 塩澤理事長  
「3分間スピーチ」 参加職員発表

ホ) グループ長及び企画員研修研修  
：参加職員予定12名  
期 日 令和3年9月17日  
会 場 同仁会子どもセンター  
内 容  
「同仁会が目指すものについて」 塩澤理事長  
「人事考課における一次考課者の留意点について」 高島事務次長

ヘ) 主任並びに主査及び副主査研修  
：参加職員予定14名  
期 日 令和3年12月17日  
会 場 同仁会子どもセンター  
内 容  
「法人の未来と求めるリーダー像について」 塩澤理事長  
「講話」 西野宮施設長  
「労務管理について」 遠藤事務長

9) 県主管課等実地検査の状況  
<令和3年度事業計画>

茨城県一般検査  
令和3年10月予定  
茨城県保健福祉部 福祉指導課 福祉監査室

「リスクマネジメントについて」 西野副主任

ハ) 5年次職員研修：参加職員16名  
期日 令和2年7月10日  
会場 つくば同仁会子どもセンター  
内 容  
「講話」 江原施設長  
「後輩への教え方・育て方」 塚本指導員  
「チーム支援について」 佐々木主任  
「3分間スピーチ」 参加職員発表

ニ) 副グループ長及び企画研修員研修  
：参加職員28名  
録画オンデマンド配信（感染症対策のため）  
内 容  
「予算管理について」 高島事務次長  
「副グループ長・企画研修員に求めること」 芳賀施設長  
「同仁会が目指すものについて」 塩澤施設長

ホ) グループ長及び企画員研修：参加職員18名  
期 日 2019年9月18日  
会 場 内原同仁会子どもセンター  
内 容  
「同仁会が目指すものについて」 塩澤施設長  
「人事考課における一次考課者の留意点について」 野原事務員

ヘ) 主任並びに主査及び副主査研修  
：参加職員14名  
期 日 令和2年12月18日  
会 場 オンライン研修（リアルタイム・3地区別）  
内 容  
「同仁会が目指すものについて」 塩澤施設長  
「次世代育成行動計画について」 西澤事務員  
「労務管理について」 遠藤事務長

<令和2年度事業報告>

茨城県一般検査  
茨城県保健福祉部 福祉指導課 福祉監査室  
令和2年10月13日～15日  
(1) 実地検査  
法人本部・臨海学園・同仁会乳児院・同仁会子どもホーム・同仁会児童家庭支援センター・内原和敬寮・内原深敬寮・つくば香風寮・さくらの森乳児院  
(2) 書面検査  
同仁東保育園  
・是正又は改善を要する事項  
<法人本部>  
・令和元年9月13日付 金銭消費貸借に基づく抵当権を基本財産に設定しているが、所轄庁の承認を得ずに行っているため、すみやかに所轄庁と協議する

こと。また、このようなことは誠に遺憾であり、今後厳に行わないこと。

10) 職員の採用及び退職の状況  
 <令和3年度事業計画>

○採用面接選考会  
 令和3年10月予定

<令和2年度事業報告>

○採用選考会  
 面接選考会

令和2年9月30日・10月10日(第1次募集)

応募者数 20名 採用内定者数 19名  
 (うち内定辞退 3名)

令和2年11月7日(第2次募集)

応募者数 6名 採用内定者数 5名  
 (うち内定辞退 2名)

○採用の状況(正規職員)

・令和2年 5月 1日付 1名 ・令和2年 6月 1日付 1名  
 ・令和2年 6月12日付 1名 ・令和2年 9月 1日付 1名  
 ・令和2年10月 1日付 1名 ・令和2年12月 1日付 1名  
 ・令和3年 1月 1日付 1名 ・令和3年 3月 1日付 1名  
 ・令和3年 4月 1日付 26名

○退職の状況(正規職員)

・令和2年 5月14日付 1名 ・令和2年 6月30日付 4名  
 ・令和2年 8月31日付 1名 ・令和2年 9月30日付 1名  
 ・令和2年10月10日付 1名 ・令和2年12月 7日付 1名  
 ・令和2年12月22日付 1名 ・令和2年12月31日付 2名  
 ・令和3年 2月28日付 1名 ・令和3年 3月31日付15名  
 (うち定年退職 2名)

11) 令和2年度職員福利厚生状況

1. 退職共済制度への加入(独立行政法人福祉医療機構及び茨城県民間施設退職共済会)

令和2年度実績

加入者数 267名  
 加入掛金 独立行政法人福祉医療機構 12,059,500円  
 茨城県民間施設退職共済会 8,771,820円

2. 茨城県社会福祉施設職員互助会加入

加入者数 276名  
 加入掛金 1,869,600円(同額を職員も負担)

3. 職員親睦会厚生委託事業

1. 高萩

1. 会員数/会費 124名/1,491,000円(月額1,000円)

2. 決算

収入	4,243,734円	支出	3,861,571円
会費収入	1,491,000円	会費還元記念品	394,650円
補助金収入	2,433,786円	サークル活動事業	315,000円
雑収入	817円	グループ別事業	1,118,250円
繰越金収入	318,131円	慶弔費	135,492円
		事務費	22,393円
		退会金積立	124,000円
		卒園者等支援事業費積立	1,751,786円
次年度繰越金	382,163円		

3. 事業

・親睦会総会 2020年8月31日 参加121名(書面表決による)  
 ・福利厚生事業  
 (春の懇親会、役職員懇親会) 実施なし  
 ・研修・サークル活動事業  
 親睦会研修 実施なし  
 サークル活動  
 お取り寄せサークル 会員19名 年3回開催 参加延 57名

B級グルメと映画サークル	会員13名	年3回開催	参加延	27名
お取り寄せを楽しむサークル	会員8名	年3回開催	参加延	13名
珈琲サークル	会員30名	年4回開催	参加延	85名
グルメサークル	会員20名	年3回開催	参加延	45名
手芸サークル	会員12名	年3回開催	参加延	34名

・慶弔(結婚2名 出産5名 退会6名 家族弔意7名 傷病見舞0名)

・役員会 年12回開催

・卒園者等支援事業 3名

#### 4. 令和3年度事業計画

・令和3年度親睦会総会 令和3年6月(書面表決)

※コロナウィルスの影響を考慮し年度前半の福利厚生事業は見送り

※年度内の親睦会主催の研修実施を見送り

・役職員懇親会 1月(コロナウィルスの状況を考慮して検討)

・サークル活動事業

・グループ別事業

・職員の慶弔

・卒園者等支援事業

・役員会 毎月開催

## 2. 内原

1. 会員数/会費 76名/844,000円(月額1,000円)

### 2. 決算

収入	2,518,451円	支出	1,787,564円
会費収入	844,000円	新年懇親会	895,952円
補助金収入	853,315円	年度末懇親会	504,840円
雑収入	13円	研修に関する事業	18,000円
繰越金収入	821,123円	忘年会	213,000円
		その他(慶弔費・退会積立金等)	155,772円
次年度繰越金	730,887円		

## 3. 事業

・2021年度親睦会総会 2021年6月24日

・サークル活動

「子育て中の食育を考える会」 会員6名 年6回開催 参加者 16名

・忘年会 2020年12月28日 感染予防のため代替品を支給 71名

・新年懇親会 2021年1月27日 感染予防のため代替品を支給 71名

・年度末反省会 2021年3月17日 感染予防のため代替品を支給 70名

・役員会 1回

・慶弔(結婚2名 出産4名 香典3名 退会餞別金7名)

#### 4. 令和3年度事業計画

・令和3年親睦会総会(日時未定)

・新年懇親会(日時未定)

・春期懇親会・職員歓迎会(日時未定)

・年度末反省会(日時未定)

・スポーツレクリエーション(日時未定)

・映画鑑賞会(日時未定)

・忘年会

・役員会(年6回)

## 3. つくば

1. 会員数/会費 63名/751,000円(月額1,000円)

### 2. 決算

収入	2,175,100円	支出	1,072,536円
会費収入	751,000円	年度初めの懇親会(歓迎会)	330,000円
補助金収入	625,000円	暑気払い	130,000円
雑収入	8円	新年懇親会	244,100円
繰越金収入	799,092円	忘年会	180,000円
		年度末懇親会(送別会)	32,334円
		その他(慶弔費)	55,000円
		研修に関する事業(映画、スポーツ)	35,662円
		消耗品	440円
		退会金積立	65,000円
次年度繰越金	1,102,564円		

### 3. 事業

・親睦会総会	令和2年4月23日	各施設代表者のみ参加にて実施
・年度初めの懇親会（歓迎会）	令和2年5月10日	感染予防のため代替品を支給 66名
・暑気払い	令和2年9月21日	感染予防のため代替品を支給 65名
・忘年会	令和3年1月26日	感染予防のため代替品を支給 60名
・新年会懇親会	令和3年2月19日	感染予防のため代替品を支給 61名
・年度末懇親会（送別会）	令和3年3月23日	各施設にて記念品贈呈のみ実施
・研修事業		
映画鑑賞会	令和2年11月6日	参加者9名 つくば同仁会子どもセンター
スポーツ大会		感染予防のため未実施
・役員会	年6回開催（4/13、6/10、8/10、10/8、12/14、2/15）	
・慶弔（結婚4名 出産2名 香典1名 退会餞別金10名）		

### 4. 令和3年度事業計画

・令和3年度親睦会総会	令和3年5月27日	つくば同仁会子どもセンター
・年度初めの懇親会（歓迎会）		感染予防のため代替品を支給 新採職員への記念品贈呈
・暑気払い	日時未定	
・忘年会	日時未定	
・新年懇親会	日時未定	
・年度末懇親会	日時未定	
・ボーリング大会	日時未定	
・研修事業 年2回実施予定	日時未定	
・役員会（年6回）		

### 4. 職員表彰

#### ・茨城県知事

今橋 優子	高星 裕美	野田潤一郎	横山 知恵	菊地久美子
佐々木律子	鈴木 尚子	高梨 綾	園部智佳子	鈴木 紀子
芳賀 英友	荘司 貴代	小林 亮一		

#### ・茨城県社会福祉協議会

益子由香理	佐々木郁代	梅澤 摩耶	矢部 裕子	西野宮由紀
飯村 謙司	後藤 信	佐川 寿英	渡邊 希美	佐藤 公子
遠藤 雅明	高島 早苗	谷 由紀子	坂本 順子	小溝 学
下山田奈央子				

#### ・高萩市社会福祉協議会

山口 信子	小松なぎさ	佐藤 珠美	篠原千栄子	川波沙耶加
富岡 美香	加藤 弘樹	星野 知実	田中 恵子	

#### ・全国乳児福祉協議会

加藤 温子

#### ・茨城県保育協議会

佐川 寿英 海老澤暁子 渡邊 希美

#### ・法人内表彰(R3. 4. 1)

勤続40年…1名 30年…2名 20年…7名 15年…7名  
10年…9名 5年…15名

### 13) 令和2年度寄付受託の状況

#### 現金

##### ・法人本部

大橋 正男 様	80,000 円	大谷 節子 様	300,000 円
今川 恭子 様	30,000 円	霊友会 様	800,000 円
今川 博之 様	30,000 円	渡邊 孝幸 様	37,646 円
加賀 美江 様	5,000 円	ブーケライオンズクラブ 様	100,000 円
高島 早苗 様	39,140 円	成島 信之 様	60,000 円

##### ・臨海学園

カラトラ・デイビット・トーマス 様	32,350 円	(株)アンテックス 様	100,000 円
大平 敏明 様	200,000 円	高萩市社会福祉協議会 様	130,000 円
茨城県信用組合従業員組合	54,020 円	日本児童養護施設財団	40,000 円

・同仁会乳児院				
勝俣 明	100,000 円	高萩市社会福祉協議会 様	90,000 円	
谷 由紀子 様	200,000 円			
・同仁東保育園				
2020 年度卒園児保護者 様	42,000 円	森永牛乳高萩販売所 様	10,000 円	
遠藤 雅明 様	10,000 円			
・児童家庭支援センターあいびー				
茨城乳配株式会社 様	200,000 円			
・同仁会子どもホーム				
高萩市社会福祉協議会 様	85,000 円	(株)アンティクス 様	100,000 円	
・つくば香風寮				
中村 純裕 様	50,000 円	沼尻産業(株) 様	500,000 円	
バンタ 桜 様	80,000 円	つくばアウルライオンズクラブ 様	52,842 円	
ヴァンドーン シリル 様	192,750 円	匿名 様	50,000 円	
西野 玲子 様	5,000 円	匿名 様	50,000 円	
匿名 様	2,500 円	匿名 様	50,000 円	
匿名 様	50,000 円			
・さくらの森乳児院				
酒井 洋 様	60,000 円	木村 泰徳 様	60,000 円	
中村 純裕 様	50,000 円	つくばアウルライオンズクラブ 様	52,842 円	
ヴァンドーン シリル 様	192,750 円	西野 玲子 様	5,000 円	
匿名 様	2,500 円	匿名 様	50,000 円	
匿名 様	50,000 円	匿名 様	50,000 円	
匿名 様	50,000 円			

## 物 品

・臨海学園				
(株)Konea トイボックス 様	玩具	柴田 様	野菜	
(株)日本レカム 様	マスク	堤 様	食品・雑貨・衣類・菓子	
(株)アンテックス 様	マスク	桐木田福祉作業所	味噌	
茨城県青少年司法書士協議会 様		高萩給食センター	食品	
法律ハンドブック・マスク		作間 様	野菜	
クララオンライン・タイガーマスク基金 様		リスカ株式会社 様	菓子	
マスク・テレホンカード		鈴木 様	野菜	
みらいこども財団・大西 様	玩具	美容室PU-BU 様	菓子	
コストコ 様	玩具・文具・菓子	蓬田 様	食品	
流通経済大学 様	菓子	永寿堂 様	菓子	
松本 様	ボトル飲料	菊地青果店 様	果物	
第一生命保険(株)日立中央営業オフィス 様		ヤマサエコネットサービス 様	菓子	
キャラクター雑貨・絵本		鈴木藤雄商店 様	ワイン	
鹿野 様	ボトル飲料・葉書	常磐開発 様	缶飲料	
人間力大学・加藤 様	書籍	自生園山中 様	果物	
佐川急便 様	カップ麺	園部 様	菓子	
菅野 様	玩具	屋久島茶生産組合 様	緑茶	
クロスワイズ 様	絵本	三木 様	菓子・カップ麺	
Hotto Motto 様	DVD	(株)エーベン農耕事業部 様	玄米	
イオンファンタジー 様	DVD・玩具	森永牛乳 様	食品	
木村 様	鞆・文具	芳賀 様	野菜	
ユニクロファーストリテイリング 様	マスク	フィリップモリスジャパン 様	缶飲料・クリスマスケーキ	
毎日新聞東京社会事業団 様		全国シャンメリー協同組合 様	シャンメリー	
スポーツ用品・玩具・DVD		高萩市社会福祉協議会 様	もち米・調味料・缶詰	
門司 様	グリーティングカード	るんびにー 様	果物	
ありさんプロ株式会社 様	紙芝居・DVD	麻生 様	菓子	

善方 様	絵本
アステラス製薬(株)高萩事業場 様	タオル・文具
(株)ケイジェイシー 様	工作アート
J A I F A茨城県協会 様	卒業記念品
(株)ダスカジャパン 様	チョコレート
ヨークベニマル 様	米
カープス 様	菓子・食品・日用品

日興建設安 様	果物
日本鏡餅協会 様	鏡餅
畠山 様	菓子
茨城ケータリングカー協会須藤 様	菓子
全国環境対策機構 様	ボトル飲料
イガラシ綜	クリスマスケーキ
仲西 様	菓子・米

・同仁会乳児院

横浜幸銀信用組合 様	絵本
高萩市 様	ハンドソープ
杉村伸一 様	スイカ みかん
日本ベビーフード協議会 様	ベビーフード
母子保健推進会議様、P&G 様	オムツ
APバンク 様	マスク
(株) マグマスパジャパン 様	次亜塩素酸水
柴田礼子 様	野菜
NPO法人グリーン 様	イチゴ、お節料理
クロズワイズ 様	絵本
株式会社モリサワ 様	絵本
100万人のクラッシュライブ 様	マスク
東タクシー 西野 様	絵本
(株) 日本誠和 劉 様	マスク
(株) ロングフィールド 宮本 様	マスク

山田博元 様	クリスマスプレゼント
勝俣明、栄子 様	食品
門司一徹 様	カード
株式会社明治 様	液体ミルク
前澤サンタ 様	クリスマスプレゼント
芳賀洋子 様	お菓子、おむつ
(株) フレーベル館 様	絵本
茨城コープ 様	紙おむつ
(株) ジェイ・ストーム様	七五三祝い
大谷節子 様	お菓子
松本貴道 様	マスク
松浦英次 様	マスク
内田さく 様	湯たんぽ、菓子
佐藤香緒利 様	スタイ
山崎紘子 様	粉ミルク
志賀智子 様	米

・同仁東保育園

川内 様	野菜
佐藤 様	野菜
高原 様	紙パンツ
今橋 様	マスク、消毒液
鈴木 様	子供用マスク
鈴木美奈子(たかはぎ眼科) 様	米40kg
小林 様	菓子、お茶
佐藤 様	菓子、お茶
豊田 恵美子(パネル) エプロンシアター用本、材料	
安齋 様	菓子

大友 様	菓子
堤 様	絵本
熊田(超禅)	みかん
渡辺(中郷保育園) 様	菓子、お茶
金成観光 様	マスク、消毒液
小池(大津保育園) 様	菓子
小池 様	菓子
佐藤 様	菓子
小林 様	菓子
竹林 様	菓子

・ゆうゆうクラブ

蛭田 様	マスク・手芸品
白土 様	菓子・本
坪 様	色鉛筆・工具
山田 様	野菜
加藤 様	菓子
手塚 様	花・昆虫
小笠原 様	レジ袋
遠山 様	菓子

中森 様	菓子
高島 様	珈琲
佐川 様	飲み物
高萩市 様	マスク・消毒液・ハンドソープ
崔 様	菓子
松井 様	菓子
小池 様	手作り玩具
小川 様	菓子

・同仁会地域子育て支援センター

黒木 様	菓子
長谷部 様	玩具
ハグヘアー 様	雑誌

沼田 様	玩具
佐藤 様	玩具

・同仁会子どもホーム

谷由紀子 様	食品等
川波誉代 様	食品、手作りマスク
宮田よし子 様	食品
守屋直美 様	紙オムツ、学用品
高瀬恵美 様	食品

NPO法人ブリッジフォースマイル 様	洗顔フォーム
リスカ(株) 様	菓子
全国シャンメリー協同組合 様	シャンメリー
佐川急便(株)東京本社 様	食品
筑波銀行高萩支店 様	マスク

小野瀬凧子 様	DVD
澤田晴菜 様	菓子
石川恭規 様	チョコレート
阿部正勝 様	卵
助川香織・阿部卓・久保田朋生 様	玩具・雑貨
荘司恒夫 様	マスク、食品
大内忠男 様	寝具
マリオ・キリノ 様	食品
富岡美香 様	食品
加藤昌人 様	書籍
神永好夫様	食品
鈴木一行 様	食品
豊田恵里香 様	衣類
八木政一 様	マスク、食品
芳賀西次 様	食品・衣類
島田農園 様	イチゴ
小野崎廣喜 様	寝具
一澤ユアナス 様	米
関口光恵 様	食品
甲斐ゆかり 様	衣類
大谷節子 様	食品
北方そばの会	そば
(株) たかくら新産業 様	消毒スプレー
(株) アンテックス	マスク
屋久島東部茶生産組合	茶葉
おいしい元気村 様	昼食招待

JA茨城常陸高萩地区女性部高萩支部 様	もち米
日本鏡餅組合 様	鏡餅
サンコー(株)ほっともつと茨城 様	DVD
(株)チュチュアンナ 様	靴下
毎日新聞東京社会事業団 様	玩具
茨城県退職公務員連盟高萩支部 様	タオル
茨城青年司法書士協議会	マスク、リーフレット
(株) フレーベル館出版本部 様	書籍
(公財) 日本漢字能力検定協会 様	書籍
(一財) みらいこども財団 様	マスク
(株) イオンファンタジー 様	玩具
高萩市 様	ハンドソープ
フクダヤ 様	マスク
ダスカジャパン クアウテモック様	チョコレート
(株) ユニクロ 様	マスク
コバヤシ花店 様	花
(公財) 全国環境対策機構 様	食品
マルト磯原店 様	食品
(株) 龍角散 様	食品
ありさんプロ(株) 様	CD、絵本
(公財) 生命保険ファイナンシャル アドバイザー協会茨城県協会 様	時計
(一社) ぐるーん 様	イチゴ
アニバーサリースタジオANGE 様	七五三写真撮影
アステラス製薬(株) 高萩事業所 様	日用品
(株) ワイティージェス 様	マスク

・内原和敬寮

KMM Entertainment t-Ace 様	衣類
茨城乳配(株) 様	玩具
ゆうちょ銀行 様	カレンダー
バイクサント 様	玩具、雑貨等
フードバンク 様	食品
日本教文社 様	書籍
フィリップモリス 様	食品
東海DOS 様	食品
(株)チュチュアンナ 様	靴下
ユニクロ 様	マスク
日本鏡餅組合 様	鏡餅
斉藤正紀 様	キッチンカー
鹿野光春 様	食品
大槻義光 様	食品
朴明俊・朝子 様	食品
林 和男 様	玩具
(株)リスカ 様	食品
やくらいフーズ 様	食品
(株) マルユウ 様	食品
株式会社サンヨー 様	食品
ホリカフーズ株式会社 様	食品
茨城県信用農業協同組合連合会 様	日用品他
株式会社里美 様	食品
東京電力労働組合 様	食品
株式会社たかくら新三丁 様	日用品
株式会社フレーベル館 様	書籍

全国シャンメリー協同組合 様	食品
コストコひたちなか店 様	おもちゃ、菓子等
ほっともつと 様	DVD
ありさんプロ株式会社 様	教材
川商フーズ株式会社	食品
J A I F A 様	時計
内原電機株式会社 様	マスク
ダスカジャパン クアウモテック 様	食品
八戸協和水産株式会社 様	食品
三育フーズ 様	食品
丸善食品工業株式会社様	食品
公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団 様	玩具・スポーツ用品
ハウス食品グループ本社(株) 様	食品
漢字能力検定協会 様	書籍
アサヒ飲料株式会社 様	食品
岩手缶詰株式会社 様	食品
キューピー株式会社 様	食品
気仙沼ほてい株式会社 様	食品
株式会社ナガノトマト 様	食品
株式会社トータルステップ 様	玩具
株式会社ワイティージェス 様	マスク
ジェイストーム 様	タオル他
水戸ケアセンターそよ風 様	マスク
茨城県青年司法書士協議会	マスク
みらいこども財団 様	マスク

・内原深敬寮

内原電機 様	マスク
岩永 様	南瓜
(株)リスカ 様	菓子
茂木 様	さつまいも
フジノ食品 様	肉じゃが
分教室 様	ジュース
ダスキン小久保 様	伸し餅

鴨川 様	人参
楢崎 様	梨
いこま 様	バナナ
佐久間 様	トウモロコシ
ダスキン小久保 様	麩菓子
サンミルク友部 様	ジュース
フードバンク水戸 様	食品

・つくば同仁会子どもセンター (つくば香風寮、さくらの森乳児院)

有限会社ダスカジャパン クアウテモック 様  
 チョコレート

(有)ハート企画 吉倉 尚希 様  
 マスク

流通経済大学 学長 野尻 俊明 様  
 お菓子

介援隊 会長 印南 光子 様  
 お米

ニューオークラ 店長 広瀬 孝行 様  
 お菓子

池野 美恵子 様  
 クリスマスケーキ

エーシーティジェネレーター株式会社  
 代表取締役 川島 睦美 様  
 ひな人形一式・五月人形一式

門内 愛 様  
 洋服・洗剤・石鹸

杉山 恵子 様  
 お米・文房具・タオル 他

鹿野 光春 様  
 カルピスセット・缶ジュース

関口 光治 様  
 お米・文房具・食器

・つくば香風寮

リスカ株式会社 代表取締役社長 武藤 則夫 様  
 お菓子

茨城青年司法書士協議会 様  
 マスク・ハンドブック

株式会社 フレーベル館 様  
 書籍

つくばアウルライオンズクラブ 会長 高野 和直 様  
 消毒液

(有)ハート企画 吉倉 尚希 様  
 お菓子

屋久島東部茶生産組合 藤山 武彦 様  
 茶葉

佐川急便株式会社東京本社 CSR推進部  
 リスクマネジメント課 田部 泰弘 様  
 カップ麺

全国シャンメリー協同組合 様  
 シャンメリー

ヴァンシキケル トム 様  
 アイス

榊原 ふみ子 様  
 洋服・色用紙

安藤 聡彦 様  
 トトログッズ

中公 一 様  
 お米

田上 正美 様  
 栗

高橋 万里子 様  
 洋服

稲川 誠一 様  
 さつまいも

諸藤 清 様  
 りんご

安藤 聡彦 様・菅井 大輔 様  
 お米・野菜

清水 顕 様  
 マスク・ランドセル

コストコホールセールジャパン つくば倉庫店

(有)柳田設備工業 様  
 キーホルダー・ステッカー

ほっともっと 様  
 DVD

日本鏡餅組合 理事長 樋口 元剛 様  
 鏡餅

日本出版販売株式会社 日本児童図書出版協会  
 児童図書

毎日新聞東京社会事業団 様  
 玩具・ボール・文房具

徳力建設工業株式会社 鳥越 雅人 様  
 お菓子

内海産業株式会社 東京第二支店 様  
 お菓子

岸 真由美 様  
 パズル・お菓子

関 善継 様  
 お菓子

成島 信之 様  
 クリスマスケーキ

渡邊 力 様・裕美子 様  
 書籍・彩画用紙・コピー用紙

大矢 直子 様  
 書籍・衣類・玩具

株式会社ファーストリテイリング 様  
 エアリズムマスク

西村 幸子 様  
 マスク

株式会社ワイティイーエス 様  
 マスク

株式会社ケイジェイシー 崔 鍾植 様  
 玩具用品

株式会社カープスジャパン フードドライブ 様  
 食品

・さくらの森乳児院

(株)あけぼの印刷社 平賀 様  
 自由帳

(株)いーぼる 様  
 洋服・タオル・膝掛け

一般財団法人100万人のクラシックライブ  
 代表理事 蓑田 秀策 様  
 使い捨てマスク

(株)マグマスバジャパン 小泉 正太 様  
 マグマのちから (消毒液)

日本コカ・コーラ株式会社 工場長 梶原 隆雄 様  
 アルコール消毒液

株式会社フレーベル館 出版部 様  
 絵本

株式会社モリサワダイバーシティ推進室 様  
 絵本

いばらきコープ生活協同組合 様  
 紙おむつ

株式会社明治 様  
 液体ミルク

特定非営利活動法人 クロスワイズ 様  
 絵本

P&G 様  
 紙オムツ

株式会社カープスジャパン フードドライブ 様  
 食品

坂本 典子 様  
 洋服

阿部 万理絵 様  
 洋服・人形

関谷 千絵 様  
 ベビー用品

後藤 友希乃 様  
 玩具・洋服 他

小嶋 まゆみ 様  
 洋服 他

小山 剛 様  
 洋服・玩具 他

日本ベビーフード協議会 事務局長 浅見 太一 様  
 ベビーフード

横浜幸銀信用組合  
 絵本

鶴見 徹 様  
 ギフトカード

坂本 和章 様  
 ベビー体重計

相本 亮 様・みさき 様  
 衣類

小山 絵里子 様  
 衣類・靴

江崎グリコ (株) 様  
 液体ミルク

(株)ロングフィールド 宮本 美和子 様  
 マスク

日本誠和 (株) 劉 様  
 マスク

14) 令和2年度ボランティア活動受入の状況

- ・ 同仁東保育園
  - ・ 読み聞かせ …………… レインボーお話の会 様 田中 宏 様
  - ・ エプロンシアター … 豊田 様
- ・ ゆうゆうクラブ
  - 一般 1名様 (木曜日)
  - 読み聞かせ
  - お話の会様 5名様
- ・ 同仁会地域子育て支援センター
  - ・ 子育て支援事業サポーター 主婦 3名様
  - ・ エプロンシアター 1名様
- ・ 内原和敬寮
  - ・ 学習指導 …………… 常磐大学生 1名様
- ・ さくらの森乳児院
  - ・ 園芸ボランティア 1名

15) 令和2年度保育実習等受入の状況

- ・ 臨海学園
  - 保育 (入所施設) ・ 社会福祉援助技術現場実習等
  - 常 磐 短 期 大 学 3 名 (10日間) 茨 城 キ リ ス ト 教 大 学 4 名 (12日間)
  - 筑波研究学園専門学校 4名 (10日間) 茨 城 キ リ ス ト 教 大 学 1 名 (24日間)
  - 茨 城 女 子 短 期 大 学 4 名 (10日間) 流 通 経 済 大 学 2 名 (12日間)
  - リリーこども&スポーツ専門学校 2名 (12日間)
- ・ 同仁会乳児院
  - 保育 (入所施設) ・ 社会福祉援助技術現場実習等
  - 茨 城 女 子 短 期 大 学 2 名 (2日間)
- ・ 同仁東保育園
  - 保育 (入所施設) ・ 社会福祉援助技術現場実習等
  - 茨 城 キ リ ス ト 教 大 学 1 名 (11日間) 常 磐 短 期 大 学 2 名 (10日間)
  - 茨 城 短 期 大 学 1 名 (11日間)
- ・ 同仁会子どもホーム
  - 保育 (入所施設) ・ 社会福祉援助技術現場実習等
  - 茨 城 キ リ ス ト 教 大 学 1 名 (12日間) 常 磐 短 期 大 学 4 名 (10日間)
- ・ 内原和敬寮
  - 保育 (入所施設) ・ 社会福祉援助技術現場実習等
  - リリーこども&スポーツ専門学校 1名 (12日間) 常 磐 短 期 大 学 4 名 (10日間)
  - 茨 城 女 子 短 期 大 学 4 名 (10日間) 茨 城 キ リ ス ト 教 大 学 1 名 (23日間)
  - 茨 城 キ リ ス ト 教 大 学 4 名 (12日間) 筑 波 研 究 学 園 専 門 学 校 3 名 (10日間)
  - 介護等体験
  - なし
- ・ 内原深敬寮
  - 保育 (入所施設) ・ 社会福祉援助技術現場実習等 臨床心理実習
  - 常 磐 短 期 大 学 2 名 (10日間) 茨 城 大 学 大 学 院 4 名 (5日間)
  - 茨 城 女 子 短 期 大 学 2 名 (10日間) 常 磐 大 学 大 学 院 8 名 (5日間)
  - りりーこども&スポーツ専門学校 1名 (12日間)
- ・ つくば香風寮
  - 保育 (入所施設) ・ 社会福祉援助技術現場実習等
  - 筑波研究学園専門学校 2名 (10日間) リリーこども&スポーツ専門学校 1名 (12日間)
  - 筑波研究学園専門学校 2名 (10日間) 茨城キリスト教大学 2名 (12日間)
  - 茨城女子短期大学 2名 (10日間) 茨城キリスト教大学 2名 (12日間)
  - リリーこども&スポーツ専門学校 2名 (12日間) 流通経済大学 1名 (12日間)

## 7 部門別運営計画及び令和2年度の状況

### 1. 同仁会児童家庭支援センター

#### 1) 令和3年度運営計画

児童家庭支援センターの事業運営についても、コロナウィルスの感染拡大の影響は大きく、各関係機関との連携や要保護児童対策地域協議会などの開催のみならず、当センターが実施する個別相談援助なども、実施形態の変更や中断を余儀なくされました。

その一方で、オンラインを利用した新たな事業実施も体験し、新たな形態の支援実施をイメージさせる、まさに新時代への過渡期を感じさせる1年でもありました。

近隣市町村では北茨城市に子ども家庭支援総合拠点事業が設置され、地域事情に変化も見られます。そのような中で、新たな協力要請などもあり、地域実践のニーズも徐々に高まっています。入所施設における家庭復帰への協力など、新たに強化を要するものや、県内3カ所となった児童家庭支援センター間の連携など、引き続き活発な活動を続けて参ります。

#### 1 福祉サービスの向上

- (1) 多様な連携支援の強化とその維持
- (2) 新しい時代の支援実践
- (3) 児童相談所指導委託の獲得

#### 2 組織体制の強化

- (1) 児童家庭支援センターあいびーとの連携体制の維持
- (2) 本体施設機能との連携体制強化
- (3) 茨城県児童家庭支援センター連絡協議会（仮名）の設置の模索
- (4) 市区町村子ども家庭総合拠点との連携・一部受託の模索

#### 3 人材育成

- (1) 通所施設間における研修連携
- (2) 専門研修および一般研修への計画的参加
- (3) 本体施設との会議および研修連携

#### 4 施設・環境の整備

- (1) 援助記録のデータ化
- (2) 職場環境の整備

#### 5 適正財源の確保

- (1) 地域子育て支援や要保護児童等の支援に関する県及び市町村事業受託の継続
- (2) 児童相談所指導委託の強化
- (3) 新たな事業を見据えた市町村等との事業の模索

#### 2) 事業の概況

昨年度はコロナウィルスの影響を受け、児童家庭支援センターも来所や訪問など、一部の事業を自粛せざるを得ない期間がありました。変化が多く不安定な一年となりましたが、オンラインでの面談等、新たな形での事業を積極的に推進し、相談件数としては例年と同様の状態を維持することができました。

地域の現況は、複雑な背景の中、児童の対応のみならず、家庭への対応に関係機関が困窮し、当センターに支援が求められる状況が続いております。極端に単純化されてしまうと、発達障害等個人の傾向にのみ原因追及されてしまうこともしばしば見られ、各機関が連携し、より広い視点での家庭支援が求められていることと存じます。

また、当法人内部の研究発表では、社会的養育が必要とされる家庭に、施設を利用する前後から切れ目のない支援の実践が課題と考えられました。コロナウィルスの影響も含め、機関との連携の重要性や、連携先を拡大する必要性を感じた1年でした。地域機関が相互理解した連携支援を実践できるよう尽力したいと考えております。

### 3) 令和2年度実績

#### 1 福祉サービスの向上

- (1) 要保護児童対策地域協議会等との連携支援強化とその維持
  - ・月に一度高萩市子育て支援課と定例会議を実施。(令和2年度12回実施。延べ118件)
  - ・研修啓発、視察、専門的支援に関する委託事業の継続
- (2) 児童相談所指導委託件数の増加模索
  - ・個別相談援助の件数を維持(目標値1,600件)
  - ・児童相談所から指導委託による個別相談援助件数の増加模索

◎月別相談延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	26	27	33	20	21	75	34	45	39	52	50	30	452
来所相談	6	5	9	29	13	22	23	23	21	3	1	15	170
訪問相談	18	14	51	33	57	26	62	61	41	4	6	61	434
心理療法等	26	18	49	49	37	56	66	58	69	44	44	64	580
メール相談	1	3	2	2	1	0	0	0	1	2	4	1	17
手紙相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(FAX等)	4	2	0	0	0	0	0	0	0	17	25	0	48
月別延べ件数	81	69	144	133	129	179	185	187	171	122	130	171	1,701

◎相談・指導内容の種別延件数

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	しつけ				
810	322	210	329	36	229	52	27	3	0	0	5	1,701

◎児童相談所からの委託による指導

#### < 対応延べ数 >

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	0	1	1	3	8	14	11	12	50
											実人数	2人

#### < 指導内容の種別(実人数) >

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	しつけ				
0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2

#### (3) 里親支援事業へのさらなる展開

- ・里親サロン、里親支援連絡会議等への継続参加  
令和2年度里親サロン：1回実施、1回参加。  
里親支援連絡会議および里親支援専門相談員連絡会議：計8回参加  
里親登録前研修、養育里親基礎研修への講師派遣：3回
- ・専門的援助を必要とする里親家庭について、個別相談援助件数の維持、及び増加  
里親応援ミーティング：1回参加  
個別相談援助：実件数2件。延相談援助50件(心理療法等含む)
- ・里親会、乳児院等との連携強化  
個別相談援助に乳児院里親支援専門相談員と連携し支援を実施。  
茨城児童福祉施設協議会里親専門委員会：1回参加

#### 2 組織体制の強化

- (1) 内原同仁会児童家庭支援センターとの連絡会議の実施
  - ・月に一度ケースカンファレンスを実施：令和2年度 5回実施
- (2) 本体施設の会議へ参加、連携した支援の模索
  - ・同仁会子どもホーム運営会議：計12回
  - ・同仁会子どもホームまるなか会議(性教育)：12回参加
  - ・同仁会子どもホーム入所児童対象アサーショントレーニング：計3回実施
  - ・同仁会子どもホーム入所児童対象個別心理療法：1ケース、延件数14件

### 3 人材育成

- (1) 個別SV体制の維持、施設内研修会議の定例開催
  - ・ 個別SV体制の維持：毎月1回実施
  - ・ 施設内研修の定例開催：隔月実施。計6回実施。
- (2) 年間の研修計画の作成および参加
  - ・ 専門研修への参加：計16回
- (3) 本体施設の会議、研修への参加
  - ・ 同仁会子どもホーム園内研修：計7回参加
  - ・ 同仁会子どもホーム支援検討会議：計2回参加

### 4 施設・環境の整備

- (1) 記録システムの継続利用
  - ・ 継続利用を実施。
- (2) 職場環境の整備
  - ・ 会議録、相談記録など職員全体が情報を共有できる方法を模索  
記録システムの活用により可能。
  - ・ 相談室の物品整理、書庫の整備など  
物品の整理実施。新たに書庫を整備。
  - ・ 検査用具のリスト化、検査所見の整理、及び購入  
検査用具のリスト化を実施。検査所のファイル化を実施。
  - ・ 業務に係るマニュアル作成の継続  
継続実施。コロナウイルス対策マニュアル整備済み。BCP草案作成。
  - ・ 連携機関など、社会資源のリスト化  
実施。年度末に修正するよう習慣化を試みている。

### 5 適正財源の確保

- (1) 地域子育て支援や要保護児童等の支援に関する県及び市町村事業受託の継続
  - ・ 茨城県児童緊急対応事業の受託：延べ 5584件（無言、間違い、その他問い合わせ含む）

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育 成					DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	いじめ	しつけ			
1214	797	13	16	46	183	4	3	1	40	0	1063	2,583

#### 緊急時対応件数

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育 成					DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	いじめ	しつけ			
229	171	0	5	13	11					0	195	453

- ・ 高萩市要保護児童対策地域協議会研修・啓発、専門的支援事業受託  
実務者会議構成機関対象研修会：1回実施。1回中止。  
先駆的な取り組みを行う行政機関等への視察見学：1回。資料配布シアンケート調査実施。  
オレンジリボンキャンペーン（市内保育園、小学校から児童へ配布）：1500部（グッズ含む）  
専門的支援事業：150ケース 1074件（内心理療法 60ケース 289件）
  - ・ 児童相談所指導委託ケース増加の模索  
里子の個別心理療法において、2件の指導委託を受託。
- (2) 市町村からの求めに応じ、ニーズを把握し新規事業模索
    - ・ 子育て支援課が主催する未就学児連絡協議会への専門家派遣依頼に応じる。
    - ・ 高萩市男女共同参画推進計画策定会議への専門家派遣依頼に応じる。
    - ・ 北茨城市社会福祉協議会より、地域ケアシステムサービス調整会議への専門家派遣依頼に応じる。

## 2. 児童家庭支援センター あいびー

### 1) 令和3年度運営計画

昨年、令和2年6月1日に法人内2か所目となる児童家庭支援センターあいびーが内原同仁会こどもセンター内に開設され、1年が経ちました。

児童家庭支援センターあいびー内には、児童家庭支援センター業務に併せ、児童養護施設退所者等アフターケア事業と里親制度等普及促進・リクルート事業を行っています。

児童家庭支援センターでは、地域の子育て家庭や関係機関への周知が進んできたことで、養育における相談支援や児童相談所からの指導委託によるペアレントトレーニング等を継続実施しています。

今後も虐待発生予防やよりよい親子関係構築のための支援等、同仁会児童家庭支援センターと連携を図りながら地域における相談支援体制を整えて参ります。

アフターケア事業においてはこれまで実施してきた活動の充実を図ると共に、今後は退所を控えた児童へ事業の周知が図れるような企画を検討したいと考えています。

リクルート事業においては今後も里親支援専門相談員との協働と役割を分担した活動の幅を広げ、里親制度の普及啓発・開拓を進めていきたいと思ひます。また、児童相談所と協働しての制度説明やSNSを活用した広報活動も積極的に取り組んでいきたいと思ひます。

#### 1 福祉サービスの向上

(1) 市町村や各事業所、児童相談所等との連携強化と支援体制の構築

(2) 来所、訪問等、個別相談援助の強化

#### 2 組織体制の強化

(1) 本体施設との連携体制強化

(2) 報告、連絡、相談の徹底

(3) 専門研修の計画的実施

(3) 三事業相互理解の促進と連携強化

#### 3 人材育成

(1) 人事考課の実施

(2) 各種研修、法人研修への積極的な参加

#### 4 施設・環境の整備

(1) 職場環境の整備と管理の徹底

### 2) 事業の概況

#### 《児童家庭支援センター》

令和2年度は開設初年度ということもあり、児童家庭支援センターが地域の身近な相談機関のひとつとなるよう主に関係機関を通して広報活動を進めてきました。

相談件数や指導委託件数から、広報活動の成果や地域ニーズの高さを感じています。特にペアレントトレーニング受講の希望が多くあり、養育技術向上に関心の高い地域性が窺えます。

市町村との連携では、要保護児童対策地域協議会への参加要請があり、子ども家庭支援への専門性が求められていると感じます。児童家庭支援センターあいびーの特色を活かし、里親リクルート事業やアフターケア事業とも連携し、様々な形で子ども家庭支援に関わる方策を模索すると共に、本体施設との連携を強化し幅広い地域ニーズに応えていけるよう努めて参ります。

#### 《アフターケア事業》

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での支援や行事の開催、職場体験等について実施が難しい状況にありました。直接的な支援ができない分、電話やSNSを利用し、相談にのったり様子伺いをして対応してきました。

行事については、今まで会場で実施していましたが感染症予防の観点から合同企業説明会や面接指導法律セミナーについてはオンラインで実施しました。成人式写真撮影は、協力企業と感染症対策について綿密に計画し、無事に実施することができました。

今年度は感染症により就職困難や生活面での不安等が予想されるため、対象者目線の支援を心がけていきたいと思ひます。

#### 《里親リクルート事業》

令和2年度は関係機関との基盤作りの段階であったことから、各関係機関との協働・連携を十分に図りながら活動を進めて参りました。広報啓発活動の場においては感染症の影響を受けることが多く、このような状況下でどのような媒体が主な情報源となるのかを検討しながらインターネットを活用した情報発信や里親制度の周知・理解を目的とした広報啓発動画を作成しました。また、市町村役所に里親制度に関するパネル展示を行いました。マスメディアやスポーツ団体、民間企業の開拓にも力を入れ、多くの方々にご尽力いただきながら里親制度の周知や広報啓発物の設置・配置も行いました。

今後も里親制度の認識や理解につなげる普及啓発活動及び、里親登録に向けその担い手をリクルートすべく、広報活動の充実に努めて参ります。

### 3) 運営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、会議・研修に積極的に参加し自己研鑽に努める。

#### 1. 職員会議

- (1) 同仁会子どもセンター職員会議・・・月1回
- (2) 各部署会議（児家セン、アフターケア、リクルート）・・・月1回
- (3) 同仁会児童家庭支援センターとのケースカンファレンス・・・月1回
- (4) 里親リクルーター  
日立、中央、鉾田児相管内会議・・・随時
- (5) 法人リスクマネージャー会議・・・隔月1回
- (6) 法人家庭支援会議・・・隔月1回
- (7) 連絡会議・・・毎朝

#### 2. 安全管理及び保健衛生

- (1) 安全点検・・・月1回
- (2) 非常時避難訓練・・・月1回
- (3) 健康診断・・・年2回
- (4) 保菌検査・・・年2回

### 4) 令和2年度実績

《児童家庭支援センター》

◎月別相談延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談			2	7	23	17	11	19	26	13	41	68	227
来所相談			2	5	14	11	11	12	17	11	17	19	119
訪問相談				2	6	3	6	11	18	3	7	15	71
心理療法等				1	5	6	9	9	10	4	11	7	72
メール相談					6	5	6		1	14	1		19
手紙相談													
その他(FAX等)													
月別延べ件数			4	15	54	42	43	51	72	41	77	109	508

◎相談・指導内容の種別延べ件数

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	しつけ				
76	36	7	100	1	91	146	0	51	0	0	0	508

《アフターケア事業》

◎実績表（延べ件数）

退所前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
公園・生活技能	0	0	10	19	52	24	25	28	25	29	34	30	276
不安・悩み	68	93	62	72	29	22	22	13	20	49	16	21	487
退学者	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	6
自助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	24	25	43	53	58	34	41	25	40	41	31	70	485
退所後	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活	64	39	62	94	18	27	24	21	31	17	11	27	435
就職	97	20	43	10	19	44	31	34	34	52	43	14	441
自助	0	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	6
その他	60	35	20	12	12	4	9	17	6	8	4	12	199
合計	313	214	240	262	190	155	152	138	161	197	139	174	2335

《リクルート事業》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談／電話	0	1	3	2	1	5	3	2	4	2	2	4	29
相談／メール	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
相談／訪問	0	1	2	0	0	3	3	1	1	0	3	2	16
外部向け制度説明	0	0	0	0	4	1	2	2	3	0	1	0	13
ガイダンス	1	0	7	0	0	2	3	1	0	0	6	5	25
合計	1	2	12	2	6	11	11	6	8	2	12	12	85

### 3. 発達障害者支援センター COLORS つくば

#### 1) 令和3年度運営計画

発達障害者支援センターCOLORS（カラーズ）つくばが開設してから、早くも2年が経過しました。昨年度は新型コロナウイルスの影響もあり、感染予防対策をした上での支援活動となりました。年度当初は様々な研修や会議等が延期、中止となることが多くありましたが、現在は研修や会議もオンラインで繋がるものも多くなりました。

令和3年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染予防対策をしっかりと実施しながら、茨城県障害福祉課、茨城県発達障害者支援センター「あい」と協力し、発達障害児（者）の方々とその家族や支援者の方たちの力になれるよう、以下のとおり運営を計画いたします。

##### 1 施設提供サービスの向上

- (1) 市町村、各種事業所、医療機関等との連携強化および支援ネットワーク体制の構築
- (2) 相談支援・発達支援・就労支援におけるアセスメントやソーシャルワークの強化
- (3) 地域住民及び各事業所への講演会や研修等、発達障害に関する普及・啓発活動の強化
- (4) 地域支援や機関コンサルテーション等、間接支援機能の強化

##### 2 人材育成

- (1) 外部研修参加による専門性の向上
- (2) 人事考課の実施
- (3) 茨城県発達障害者支援センター「あい」との連携によるスキルアップ

##### 3 組織強化

- (1) スーパーバイザーの導入
- (2) 会議の在り方等、組織システムの構築・強化
- (3) 報告・連絡・相談の徹底
- (4) リスクマネジメント意識の徹底
- (5) 人材定着のための業務改善と職場環境作り

##### 4 財政基盤強化

- (1) コスト意識、節約意識の徹底

#### 2) 事業の概況

開設から2年を経過し、相談業務や他機関との連携支援の実績を積む中で、相談員ひとりひとりが専門性と対応力の向上に努めてまいりました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策をした上での相談活動となりました。年度当初はコロナウイルスの影響で相談件数も少なくなりましたが、徐々に例年のペースに戻ってきました。

センター主催研修についても、オンライン研修やオンラインセミナーを実施し、その利便性もあり例年よりも多くの参加者を迎えることができ、内容についても高い評価を頂くことができました。

今年度も、相談業務はもちろん、発達障害の正しい理解のための普及啓発活動に活発に取り組んでいくと共に、専門的な対応が必要とされるケースに対するコンサルテーションや対応力向上のための研修といった、地域支援機能のさらなる拡充を目指していきたいと考えております。

##### 1 相談援助機能

- ・電話、来所等による第一義的な相談支援
- ・市町村が行う支援のバックアップ
- ・各種地域支援機関との連携による支援

##### 2 普及・啓発活動

- ・地域住民向けの講演会の開催
- ・関係機関向けの研修の開催
- ・外部機関が開催する研修への講師派遣

### 3) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、サービス規程に従い勤務すると共に、会議、研修に積極的に参加し、自己研鑽に努める。

1. 職員会議
  - (1) 職員会議 … 月 2 回
  - (2) 運営会議 … 月 1 回
  - (3) 法人リスクマネージャー会議 … 隔月 1 回
  - (4) 「あい」との合同連絡会議 … 月 1 回
2. 安全管理
  - (1) 安全管理の点検 … 月 1 回
  - (2) ヒヤリハットによるリスク管理 … 月 1 回

### 4) 令和2年度実績

事業内容		実績	
1. 相談支援・発達支援	実支援件数	518	
	延支援件数	2243	
	心理学的判定	2	
2. 就労支援	実支援件数	42	
	延支援件数	368	
3. 関係施設及び関係機関への普及啓発及び研修	(1) センター主催または共催の研修	実施回数	2
	(2) 外部機関への講師派遣	実施回数	5
4. 関係機関等との連携	(1) 連絡協議会の開催状況	実施回数	2
	(2) 他の協議会への参加状況	参加回数	6

相談内訳		実績
1. 年齢別内訳	0～6歳	33
	7～12歳（小学生）	56
	13～15歳（中学生）	34
	16～18歳	54
	19～39歳	200
	40歳以上	54
	不明	129
	合計	560
2. 障害名別内訳	自閉スペクトラム症（ASD）	139
	注意欠如多動症（AD/HD）	66
	限局性学習症（LD）	6
	その他（発達性言語障害・協調性運動障害等）	1
	不明（未診断含む）	348
	合計	560

## 4. 同仁会地域子育て支援センター（子育て支援室「カムカム」）

### 1) 令和3年度運営計画

近年、少子化や核家族化など様々な社会状況の変化に伴い、家庭や地域における子育て機能が低下してきています。子育て支援は、子どもの発達や、子どもの立場に沿った親としての向き合い方について、或いは子どもと親が共に育つ道筋を丁寧に辿りながら、親が本来備えている子育て力を促進できるような支援を提供できるよう次の事項を推進して参ります。

- 1 子育て支援事業の強化
  - (1) 育児不安や親自身の悩みに対する支援などの相談機能の強化
  - (2) 年齢発達に合う適切な生活習慣についての情報発信による親支援
  - (3) 看護師や児童家庭支援センター職員による子育て講座の実施
  - (4) 周産期にあたる家族への支援
  - (5) 幅広い親支援の継続的实施
  - (6) 集団療育の実施
- 2 食育への推進
  - (1) 食に関する情報の発信
  - (2) 栄養士による手作りおやつ教室、離乳食教室、子育て講座の実施
  - (3) 食に関する紙芝居、絵本、パネルシアター等の実施
- 3 環境問題への取り組み
  - (1) 節電、節水など省エネの実践
  - (2) エコ指導と情報発信
  - (3) 家庭だけでなく、公共の施設に対するエコ活動の推進
- 4 感染症・アレルギーの対策
  - (1) 手洗い、うがい、手指の消毒、来所時検温の施行
  - (2) 提供おやつのパッケージの表示
  - (3) 感染についての情報発信
  - (4) 室温、換気、湿度の調整
- 5 職員の資質向上
  - (1) 研修会への積極的参加
  - (2) ペアレントトレーニングの導入と実践
  - (3) ペアレントトレーニングプログラムリーダーの養成と実践
- 6 財政基盤の強化
  - (1) 計画的な予算の執行
  - (2) 職員の節約意識の徹底と経費削減の推進

### 2) 事業の概況

地域の子育て支援事業が充実してきた今、KiFT・ちびっこ広場など、それぞれの事業の特性（目的）をお伝えし、利用者の方々のニーズに応えられるようにしてまいりました。

親子でゆっくりして頂くがコンセプトのKiFTには、赤ちゃんを連れた方の参加が目立つようになりました。また、平成25年度より始めた、くれよんKiFT(小集団療育)では、落ち着きがなく、じっとしているのが苦手、人見知り、場所見知りがある、偏食がある、こだわりが強い、言葉が遅いなどの心配があり、お子さんとどう関わっていったらよいかわからないという方々に対して、関係機関との連携を密にし、内容の充実を図ってきました。また、就園後も継続して支援していけるように、くれよん開放日には就園児の母親のみの参加も受け入れています。

子育て支援事業の延長に位置づけられていること、利用者への周知が広がってきたことで、不安や悩みを親が一人で抱え込まずに、気軽に相談して下さるようになったのは大きな成果です。

これからも、母親向けの子育て講座や毎月発行の「カムカム」でも、ペアレントトレーニングを基とした、具体的で効果的な対応の仕方を伝えることで「ほめて、のばして、ラクラク子育て」を実感してもらえるようにし、子どもたちの健やかな成長と発達に繋げていきたいと思っております。

#### 事業計画

1. 育児等、主に妊産婦、乳幼児のいる家庭への相談事業
2. 乳幼児の成長につながる遊びの実践と主体性を発揮できる場の提供
3. くれよんクラブ、児童家庭支援センターと連携した 集団療育事業の開催
4. 子育てサークルの育成・支援
5. 同仁東保育園と連携し、一時保育等の特別保育事業の実施
6. 子育て情報の収集・提供・発信
7. 子育て支援のための講座の開催

## 事業内容

- 1 「K i F T (キフト)」 (Kids Forum Talky=「ちびっこ広場」の造語) の開催
  - \* 毎月第1木曜日に「K i F T」 (2歳以上の未就園児とその親)
  - 毎月第2木曜日に「赤ちゃんK i F T」 (0歳から1歳未満の未就園児とその親)
  - 毎月第3木曜日に「K i F T」 (1歳の未就園児とその親)
  - 母親のリフレッシュ、仲間づくりの支援。気軽に身近な子育ての共有空間・育児相談の場の提供。
  - \* 毎月第3水曜日に「くれよんK i F T」 (おおむね2歳～未就学児とその親)
  - 歌やリトミック、体を動かす遊びなど、親子で遊びながら子どもの発達をはぐくむ関わりを支援。
  - \* 毎月第2水曜日にくれよんK i F T開放日 くれよんK i F T利用親子に共有空間を提供
- 2 「ちびっこ広場」の開催
  - \* 毎月第1・2火曜日に「ちびっこ広場」を同仁東保育園で開催。
  - \* 保育園保育メニューを地域の未就園児とその親に提供し、保育園児との交流も図る。
  - 年に2回程度、遠足を設定。保育園運動会や夕涼み会に参加。触れ合い遊びやコミュニケーションゲームなど親子の交流を図る。
- 3 ゆうゆうK i F Tの開催
  - \* ゆうゆうクラブを利用児童のいない午前中などに地域の親子に開放し、自由に安全に遊べる空間を提供する。年に数回、親子おやつ作り、母親リフレッシュのための趣味の講座を開催。
- 4 「M a F T (マフト)」 (Maternity Forum Talky=「マタニティの広場」の造語) の開催
  - \* 周産期にある家族 (特に初妊婦) への支援。母親のリフレッシュ・仲間づくりの支援。気軽に身近な子育ての共有空間と育児情報の提供。(予約制)
- 5 外部との連携
  - \* 高萩市健康づくり課との連携 (「すこやかランド」に職員派遣)
  - \* 高萩市生涯学習課との連携
  - 市内小学校・幼稚園・保育園向け「子育て講座」に職員派遣
- 6 子育て情報の発信
  - \* KiFTなど支援事業の参加者に配布する機関紙 (「Co.me Com.e(かむ かむ)」) の作成・発行。
  - \* インターネット・メール (パソコン・携帯電話) による育児情報を地域の親子に発信。
  - \* ブログによる最新情報の発信
- 7 特別保育事業の実施
  - \* 乳幼児の母親のリフレッシュを含む一時預かり保育を保育園と連携して行う。
- 8 子育てサークルの支援
  - \* 育児の情報交換の場として、「カムカムのおへや」 (サークル支援室) を子育てサークルに開放し利用を促す。
  - \* ゆうゆうクラブを利用児童のいない午前中などに、地域の未就園児の親子サークルに開放し、自由に安全に遊べる空間を提供する。
- 9 子育て講座 (お話し会) の開催
  - \* 子育てに関する講演会、講座等を開催する。
  - KiFT、ちびっこ広場で、子育て講座「ほめ方のコツ、上手な注目の外し方、指示の出し方」等を実施。
- 10 その他
  - \* 育児の情報の入手手段を持たない家庭への情報発信、育児ストレスの軽減、仲間づくりの促進を図る。

## 3) 令和2年度実績

- 1 職員の研修  
市関係 0名 法人・施設 11名 その他 0名 計11名

2 子育て支援室相談状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
育児	2	0	3	19	1	10	15	5	2	1	2	14	74
しつけ	2	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	5
健康	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	3	7
食事	1	1	0	3	0	2	4	3	1	0	0	2	17
発達	0	0	0	4	0	2	2	1	1	1	0	4	15
電話問い合わせ	0	0	6	3	2	3	5	2	2	2	1	2	28
問い合わせ	2	2	0	5	0	3	1	2	3	2	1	3	24
その他	0	0	0	6	0	3	5	1	0	1	2	6	24
合計	7	3	9	43	3	24	34	14	10	7	6	34	194

3-1 赤ちゃんK i F T開催状況（1歳未満の未就園児）

開催日	参加者（組）	人数	開催日	参加者（組）	人数
4月 16	実施せず		10月 8	15	34
5月 14	実施せず		11月 12	6	12
6月 11	実施せず		12月 10	21	45
7月 9	7	16	1月 21	自粛要請があり実施せず	
8月	実施せず		2月 18	自粛要請があり実施せず	
9月 10	6	13	3月 11	11	25
計			66		145

3-2 K i F T開催状況（1歳の未就園児）

開催日	参加者（組）	人数	開催日	参加者（組）	人数
4月 23	実施せず		10月 15	10	21
5月 21	実施せず		11月 19	3	7
6月 18	実施せず		12月 17	17	36
7月 16	12	24	1月 28	自粛要請があり実施せず	
8月	実施せず		2月	自粛要請があり実施せず	
9月 17	7	16	3月 18	15	36
計			64		140

3-3 K i F T開催状況（2歳以上の未就園児）

開催日	参加者（組）	人数	開催日	参加者（組）	人数
4月 9	実施せず		10月 1	11	26
5月 7	実施せず		11月 5	8	19
6月 4	実施せず		12月 3	14	32
7月 2	12	26	1月 14	自粛要請があり実施せず	
8月	実施せず		2月 4	自粛要請があり実施せず	
9月 3	9	22	3月 4	12	28
計			66		153

3-4 くれよんK i F T開催状況（おおむね2歳以上の未就学児）

開催日	参加者（組）	人数	開催日	参加者（組）	人数
4月 22	実施せず		10月 14	2	4
5月 20	実施せず		11月 18	2	4
6月 17	実施せず		12月 16	3	6
7月 15	2	4	1月 20	自粛要請があり実施せず	
8月	実施せず		2月 17	自粛要請があり実施せず	
9月 16	1	2	3月 17	1	2
計			11		22

4 ゆうゆうK i F T

開催日	参加者（組）	人数	開催日	参加者（組）	人数
5月 15	実施せず		11月 20	9	19
7月 10	1	2	1月 22	自粛要請があり実施せず	
9月 18	3	7	3月 12	7	14
計			20		42

5 ちびっこ広場開催状況

開催日		参加者(組)	人数	開催日		参加者(組)	人数
4月	14	実施せず		10月	13	4	8
	21	"			20	7	16
					27	4	10
5月	12	実施せず		11月	10	4	10
	19	"			17	4	9
	26	"					
6月	2	実施せず		12月	1	6	13
	9	"			15	5	11
7月	14	10	21	1月	12	自粛要請があり実施せず	
					19	"	
8月	実施せず			2月	2	自粛要請があり実施せず	
					9	"	
9月	1	4	8	3月	2	1	3
	8	4	9		9	5	11
計						58	129

※ 5/26、10/27遠足

6 MaFT開催状況

開催日		参加者(組)	人数	開催日		参加者(組)	人数
4月	17	実施せず		10月	16	0	0
6月	14	実施せず		12月	11	0	0
				2月	19	自粛要請があり実施せず	
計						0	0

7 サークル支援室利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開放日	19	16	20	19	18	18	19	17	19	17	15	21	202
利用日	0	0	1	3	2	3	1	2	2	0	0	2	16
キャンセル	1	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	2	7
合計	1	0	1	3	2	3	2	2	3	2	0	4	11%

8 育児相談会

同仁会児童家庭支援センター相談員、臨海学園・乳児院・同仁会子どもホーム・同仁東保育園  
栄養士・看護師を交えての相談会

令和 2年 5月29日 「手作りおやつと育児相談会」

講師 同仁会子どもホーム栄養士 坂本 和代

参加者 組 (新型コロナウイルスによる感染症予防のため中止)

令和 2年11月20日 「手作りおやつ作りと育児相談会」

講師 同仁東保育園栄養士 海老沢 暁子

参加者 9組

令和 2年12月15日 「新型コロナウイルスによる感染症予防と乳幼児の事故やケガ防止について」

講師 同仁東保育園看護師 大串千恵子

参加者 5組

令和 3年 1月21日 「離乳食の大切さについて」

講師 臨海学園栄養士 横山 知恵

参加者 組 (新型コロナウイルスによる感染症予防のため中止)

令和 3年 3月 4日 「子どもの心理について」

講師 吉沢 望美

参加者 8組

9 令和2年度 子育てサークル(母親クラブ)

1. 暴れん坊将軍 7家族
2. アンパンマン 5家族
3. 田川家ファミリー 8家族
4. おおひらさん 5家族
5. ゆかいな仲間達 17家族

## 5. 保育所 同仁東保育園

### 1) 令和3年度運営計画

都市部では待機児童対策が急がれる一方、人口減少地域での定員割れ、利用児童の減少が気になるところですが、令和3年度は、119名スタートとなる予定です。

異年齢児保育を始めて7年になりますが、年中、年長の縦割りにより、考える力、思いやりの心、表現する力が子ども同士の関係性のなかで着実に成長しているのを感じます。

子どもの育ちで大切な親や保育士との愛着形成の確立をベースに、月齢によって大きく差がある発達に合わせたきめ細やかな保育や、子ども力に対する受容と対話を大切にする当園ならではの丁寧な継続的支援に心がけ、職員のスキルの標準化に努めてまいります。

#### 1 福祉サービスの質の向上

##### (1) 保護者支援

- ア 子育てに関する情報の提供（健康・安全・育児・食育等）
- イ 子育てに関する相談への対応
- ウ 子育ての仲間づくりの推進支援（親子遠足、保護者懇談会、給食試食会等）
- エ 親子参加型行事の開催（運動会、親子遠足、参加保育、給食試食会等）
- オ 食育（食に関する情報の提供、給食試食会の開催等）

##### (2) 保育の質の向上

- ア 様々な活動を通して、豊かな感性を育む。
- イ 異年齢での関わりを増やし、様々な集団を体験する。
- ウ 運動習慣の確立による体力づくり
- エ 認定子ども園への移行の検討
- オ 自己評価の結果検討と改善

#### 2 人材の育成

- (1) 園内研修（学習会）の充実
- (2) 法人目標の実践による人間性の向上
- (3) 各種研修への積極的参加

#### 3 地域との連携

- (1) ゆうゆうクラブとの交流
- (2) 東幼稚園との交流
- (3) 高萩市主催によるイベントへの積極的な参加
- (4) 中学生による職場体験の積極的な受け入れ

#### 4 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行
- (2) 職員の節約意識の徹底と経費削減の推進
- (3) 保育の充実による利用児童の安定した確保

### 2) 運営の概況

コロナ感染対策に追われた1年でしたが、これまで以上に消毒、手洗いの徹底、マスクの着用、保育室入室の制限など、様々な対応をしてきたことで、コロナ以外の感染症も押さえ込むことができ、また、大きな怪我、事故もなく過ごすことができました。コロナ禍での行事の開催においては、保育参観の中止を余儀なくされましたが、内容を縮小化したものの保育発表会、保育懇談会をリモートで実施、卒園式は、保護者、職員の人数制限と卒園児のみ参列とし、リアルタイム配信するなど新たな試みをしてきました。このようななかでも子どもたちは動じることなく子ども力を発揮してくれました。

- 1. 休園日 … 12月30日～1月3日
- 2. 開園時間 … 午前7時～午後8時まで  
(日祝日 休日保育実施)
- 3. 対象児童 … 産休明け（第8週）より就学前まで

### 3) 保育の内容

#### 1. 基本方針

保育指針・法人目標に沿った保育計画を基に保育を展開し、心豊かに生きる力や望ましい未来を創り出す力の基礎を培います。

自立 … 自分で考え行動する。

協調 … 思いやりの心、優しい心、仲間と力を合わせて物事を成し遂げ、喜びを共感する。

創造 … 感じたこと、思ったことなどをいろいろな形で表現する。

味覚・聴覚・視覚・嗅覚・触覚などの五感を大切に、豊かな感性と創造性を育む。

#### 2. 基本目標

保育園の主人公は子どもたちです。

その子どもたちの命を守り、未来へつなげていくことが、私たちの仕事です。

・明るい挨拶を心がけ、一人ひとりを大切に、きちんと目を見て、丁寧な言葉で「ありがとう」を伝えます。

・お子さんの個性は良い方に、ポジティブに捉え、一人ひとりが安心して、夢中になって遊べる環境に配慮します。

・子どもを中心に、保護者の方と保育者が互いに理解し合い、一緒に子育てや保育ができるように努めます。

・お子さんの様子・成長を把握しながら、自然とふれ合う機会を多く作り、五感を育める保育を計画します。

・職員は保育の専門職として研鑽を心掛け、常に向上心を持って、お子さんの命を守ります。

#### 3. 保育目標

0歳児…家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりの生理的欲求が満たされた情緒の安定のもと、人への基本的信頼感を形成できるように保育を行います。

1歳児…自分ですることの楽しさを知り、自発性や探索意欲を高められるように保育を行います。

2歳児…基本的な生活習慣がほぼ身につく、人や物への興味を広げ、社会性が育めるよう、保育を行います。

3歳児…友達との関わりの中で、自己肯定感や他者を受容する感情が育めるよう、支援します。

4歳児…集団で生活することを楽しむ中で、決まりを守る大切さを知り、更に自主性や自律性が育めるよう、支援します。

5歳児…様々な経験・体験を通して自立性を高め、目標に向かって努力したり、協力して達成する喜びを味わえるよう、支援します。

#### 4. 活動内容

① 養護（生命の保持・情緒の安定）教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）食育の実践

② 健康への支援（異常が認められた時の適切な対応、保健指導計画の策定）

③ 環境・衛生の管理（清潔保持・清掃・消毒・点検）

④ 事故防止の徹底（避難訓練の実施、蘇生法研修、遊具等の点検、交通安全活動）

⑤ 保護者・地域への支援（休日保育、延長保育、育児講座の開催、説明責任）

⑥ 特色のある保育

・異年齢児保育（4・5歳は混合クラス） ・砂浜を利用した保育 ・ちびっこ広場（園庭の開放）

・音楽指導…専門講師（日本音楽総合研究所）の指導による鼓笛隊指導（4・5歳児）

・リトミック…専門講師（日本音楽総合研究所）によるリトミック（2・3歳児）

・体育指導…専門講師（ITレボリューション）による体育指導

・そろばん教室…専門講師（のぞみそろばん塾）による算数とそろばんの指導

・英語教育…専門外国人講師（超禅イングリッシュスクール）による英語指導

・東幼稚園との交流

### 4) 運 営

#### イ) 会 議

- |            |                               |        |
|------------|-------------------------------|--------|
| 1. 保育職員会議  | (管理・園運営全般 ……………)              | 月 1 回) |
| 2. 運営会議    | (管理・運営・保育全般 ……………)            | 月 1 回) |
| 3. ケース検討会議 | (保育内容の検討・ケース検討 ……………)         | 月 1 回) |
| 4. 保育連絡会議  | (主任・グループリーダー・企画研修員による保育会議 ……) | 月 1 回) |
| 5. グループ会議  | (年長児・中間児・年少児グループ毎 ……………)      | 月 1 回) |
| 6. 献立会議    | (献立内容の検討 ……………)               | 月 1 回) |

ロ) 日 課

時間	生活のプログラム	時間	生活のプログラム
7:00	早朝保育 (絵本、玩具遊び)	13:00	午睡 (4,5才児はクラス別保育)
8:00	登園・挨拶・健康視診・自由遊び	15:00	起床・おやつ (全児)
9:20	片付け・朝のお集まり (0,1,2才児)	15:30	お集り
9:40	おやつ (0,1,2才児)	16:00	降園開始
10:00	片付け・朝のお集まり (3,4,5才児)		自由遊び (絵本・戸外遊び・玩具等)
	クラス別保育		製作遊び (粘土・折り紙等)
	造形製作・音楽リズム・体育遊び	17:30	延長保育 (テレビ・ビデオ視聴・絵本・玩具遊び)
	自然観察・散歩等	18:30	補食
11:30	昼食	20:00	降園終了
12:30	食後の片付け・歯磨き・午睡準備 (0~3才児)		

5) 保健衛生及び安全管理

1. 定期検診の実施
  - ア. 園児蟻虫検査 …………… 年2回 (江藤微生物研究所)
  - イ. 園児健康診断 …………… 年2回 (囑託医 内田さく先生)
  - ウ. 園児歯科検診 (3,4,5才児のみ) …………… 年2回 (滝川歯科医院 滝靖宗先生)
  - エ. 園児尿検査 …………… 年2回 (田尻ヶ丘臨床検査センター)
2. 身体計測の実施 (毎月 … 身長・体重 年2回 … 胸囲)
3. 調理担当者の衛生管理の徹底 …………… 保菌検査の実施・消毒・白衣の着用
4. 調理室の整理整頓と衛生管理の徹底
5. 環境衛生 (トイレ清掃消毒・寝具消毒・下水道消毒等)
6. 園内外の危険個所の把握と安全管理点検 … 毎月10日
7. 園庭の遊具施設の安全管理と点検 …………… 毎月10日 (変更有り)
8. 玩具等の安全管理と点検消毒 …………… 毎日
9. 交通安全指導 …………… 年1回(6月)
10. 閉園後は柵総合警備保障に管理委託契約

6) 令和2年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	23	入園・進級を祝う会	2	3	節分集会
5	1	こいのぼり集会 親子遠足 (4,5才児) 中止		6・13	26
6		保育参観、保護者会 中止 交通安全教室 中止	3	2	お別れ遠足 (あか組)
7	7	七夕集会		3	ひなまつり会
	17	お泊り保育 (5才児) キラキラデイに変更		4	お別れ会
8	1	夕涼み会		8	お別れ遠足 (みどり組)
				27	卒園を祝う会
10	10	運動会 (3歳~5歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全の日 毎週木曜日</li> <li>・室内外消毒 毎日</li> <li>・高齢者クラブとの交流 ※中止</li> <li>・地域の子育て支援サービス (ちびっこ広場) 毎月3回実施</li> <li>・ゆうゆうクラブとの交流 (異年令児交流) 年3回実施 ※中止</li> <li>・東幼稚園との交流 ※中止</li> </ul>		
	14	秋の遠足 (0,1才児) 観劇 (4,5才児) 中止			
	16	秋の遠足 (2才児)			
	22	秋の遠足 (3歳児)			
	27	秋の遠足 (みどり組)			
	30	秋の遠足 (あか組)			
11	4	秋の遠足 (あお組)			
12	12	保育発表会 (無観客リモート)			
	25	クリスマス会			

7) 令和2年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
調理担当者検便	27	25	22	27	24	28	26	24	21	25	22	22
室内外の消毒	毎日											
非常時避難訓練	22	27	11 24	28	3 25	実施なし	15 28	24	23	13 27	25	17
安全点検	10	10	10	10	11	10	10	10	10	8	10	10
健康診断(児童)			16					10				
歯科検診(児童)			17					11				
健康診断(職員)						4						
児童尿検査			8・22					9・24				
火災報知器点検						18			26			
交通安全指導			実施なし									

8) 令和2年度資料

1. 職員の研修

	園長	保育士	調理員等	計
県又は社協等	1	12	3	16
法人及び施設独自		40	5	45
計	1	52	8	61

2. 各月初日在籍園児数(入園時年齢による)

月 年令	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0才	8	9	10	10	12	13	14	16	16	16	16	16	156
1才	22	22	21	21	21	21	21	21	21	20	20	20	251
2才	16	16	18	18	19	19	19	19	19	19	19	19	220
3才	25	25	25	25	26	26	26	26	26	26	26	26	308
4才	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	26	323
5才	27	27	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	334
計	125	126	129	129	133	134	135	137	137	136	136	135	1,592
前年度	120	127	129	129	128	131	131	134	135	135	136	137	1,572

3. 出身地区別表(R3.4.1現在)

地 区	高 浜 町	有 明 町	東 本 町	肥 前 町	本 萩 町	高 安 川	上 手 網	下 手 網	高 戸	島 名	中 戸 川	秋 山	石 滝	日 立	北 茨 城	春 日 町	赤 浜	合計	
人数	20	10	1	6	7	6	19	5	10	5	16	1	2	2	4	2	2	1	119

4. 在園期間(R3.4.1現在)

期 間	1年未満	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上	計
人 数	43	13	20	23	12	8	119

5. 一時預かり保育

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人 数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6	17	24

6. 日曜・祭日保育

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人 数	2	1	14	21	22	24	20	27	16	16	31	25	219

7. 体調不良児型保育

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人 数	8	2	6	5	0	6	6	7	18	2	3	3	66

8. 栄養投与状況

3才未満児	熱量	462 Kcal(食事摂取基準 428 Kcal)
	たん白質	15.3 g(食事摂取基準 17.6 g)
3～5歳児	熱量	634Kcal(食事摂取基準 589 Kcal)
	たん白質	21.2 g(食事摂取基準 24.2 g)

## 6. 放課後児童健全育成事業 ゆうゆうクラブ

### 1) 令和3年度運営計画

昨今、少子化に歯止めがかからない状況でも、子育て世代の就業率が高く、学童保育の必要性を感じています。また、地域とのつながりが希薄になってきている社会状況の中、子どもたちや、保護者の方に親しみやすい地域のコミュニティとして、心のよりどころになればと考えています。

そして、学習ボランティアの方や地域の諸団体の方との交流を通して、子どもの健全育成と保護者支援に努めてまいります。

今年度も、以下の目標を掲げ、運営の計画といたします。

1) 児童が充実した生活ができる環境づくり、2) 保護者サポートシステムの構築、3) 子育てネットワークづくり、4) 食育の推進、5) 職員の資質向上、6) 財政基盤の強化を掲げ、次代を担う子どもたちが健やかに育つための環境づくりを目指します。

#### 1 児童が充実した生活が出来る環境づくり

- (1) 自然を生かした親子体験活動の実施
- (2) 日本古来の風習に親しむ行事への参加
- (3) 学年別（グループ別）活動の実施（会議室の活用）
- (4) アサーショントレーニングの導入
- (5) 異年齢交流の拡充（くれよんクラブ・保育園との交流）
- (6) そろばん教室の開催

#### 2 保護者サポートシステムの構築

- (1) 保護者同士の交流強化による子育て支援
- (2) ペアレントトレーニングを導入した保護者支援
- (3) 掲示物による食育・健康・安全・子育て情報の発信

#### 3 子育てネットワークづくり

- (1) 保護者、学校、関係機関との連携の強化
- (2) 児童家庭支援センターとの連携による家庭支援の実施
- (3) 地域諸団体、ボランティア、地域住民との交流連携の取り組み

#### 4 食育の推進

- (1) 栽培、収穫、調理の体験
- (2) 手作りおやつの実施と試食会や掲示等による保護者への発信

#### 5 職員の資質向上

- (1) 法人内外の研修への積極的参加
- (2) ペアレントトレーニングの継続と職員派遣によるスキルアップ

#### 6 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行と節約意識の徹底

### 2) 運営の概況

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策の為、ほとんどの行事が中止となってしまいましたが、ソーシャルディスタンスが図れた活動は、人数や時間を制限しながら行ってきました。今年度も同じような対応で、できるだけ中止は避け現在の状況に応じた活動を続けていきたいと考えています。

また、児童や保護者中には、ストレスを抱えている様子がうかがえる方もいらして、丁寧な関わりを続けていきたいと思っています。

今年度も他方面の関係機関と連携しながら、より良い保育につなげていきたいと思っております。

### 3) 運 営

#### 1 開園の状況

1. 開園日 年間291日
2. 休園日  
日・祭日  
お盆休暇 8月13日～8月15日

年末年始休暇 12月30日～1月3日

3. 開園時間  
 学校登校日 下校より午後7時まで  
 学校休日 午前7時30分より午後7時まで

- 2 活動内容  
 1. 児童の健康管理、安全確保、情緒の安定  
 2. 遊びの活動への意欲と態度の形成  
 3. 遊びを通しての自主性、社会性、創造性の向上  
 4. 児童の遊びの活動状況の把握と家庭への連絡  
 5. 学習支援と読み聞かせによる学習向上と充実  
 6. 家庭や地域での遊びの環境づくりへの支援  
 7. その他児童の健全育成上必要な活動

- 3 会議  
 1. 職員会議（子育て支援と合同） 月1回  
 2. 連絡会議（引き継ぎ・連絡） 毎日  
 3. 運営委員会 年1回  
 4. 児童家庭支援センターとの会議 毎月

4) 保健衛生及び安全管理

- 1 給食（おやつ、土曜日や長期休業期間の昼食）  
 1. 季節感、栄養バランスのある食事  
 2. 担当者の衛生管理の徹底（検便、消毒、着衣）  
 3. 調理室の整理整頓と衛生管理の徹底  
 2 安全指導  
 1. クラブ内外危険箇所の点検指導及び保安全管理点検の実施（毎月）  
 2. 交通安全指導の徹底  
 3. 閉館後は、（株）総合警備保障に管理委託契約  
 4. 非常時避難訓練（年3回）

5) 異年齢時交流

- ・ 同仁東保育園との交流
- ・ 中学生・高校生・大学生・学習ボランティアとの交流

○ボランティア受け入れ人数（2020年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	0	0	0	1	1	1	5	5	5	0	0	5

6) 令和2年度保菌検査実施日記録 月1回 3名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	20	25	22	20	24	28	26	16	21	25	22	22

7) 令和2年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	1	入会歓迎会	10	12	保育園運動会（台風のため延期）
	27	花まつり（保育園児との交流）中止	11	13	保育園交流（宝探し）
5	25	総合避難訓練 中止			総合避難訓練（消火訓練・通報訓練）実施
6	24	引き渡し訓練参加 中止	12	26	親子餅つき会 中止
				24	クリスマス会 実施
7	26	水遊び 中止			
8	6	館外学習 中止	1	4	初詣・避難訓練（津波）
	12	サバイバル飯炊き 中止		5	100円おやつごっこ（保育園交流）中止
	28	ゆうゆうフレンドパーク バザーに変更し実施	2	3	豆まき 実施
9			3	27	お別れ遠足（願成寺・高戸海岸）実施
				31	お別れ会 実施

※ 毎月の行事 ・誕生会 ・手作りおやつ ・100円おやつ

## 8) 令和2年度資料

### 1. 職員の研修

	回数	参加者数	計
法人研修	4	3	12
高萩市子育てサポーター研修会	2	1	2
支援に携わる人材養成のための研修	2	1	2

### 2. 各月初日在籍児童数

学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1年生	10	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	98
2年生	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	113
3年生	8	8	8	7	6	6	5	5	5	5	5	5	73
高学年	15	16	15	11	8	10	3	6	6	6	4	4	104
計	43	42	41	36	32	33	25	28	28	28	26	26	388

### 3. 特別入会・短期利用児童数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別入会													0
短期利用													0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

\* 特別入会は、夏休みなどの長期期間に入会する場合を言う。

\* 短期利用は、保護者の都合により、1日単位で利用する場合を言う。

### 4. 出身地区別表 (R3.3.1現在)

地区	高浜町	有明町	肥前町	東本町	石滝	高萩	安良川	本町	下手綱	上手綱	高戸	赤浜	合計
男	4	2	2				1		1	1	1	1	13
女	1	7							1	1	1		11
計	5	9	2	0	0	0	1	0	2	2	2	1	24

### 5. 日課表

時間	平日	土曜日及び長期休校日
8:00	学 校	受入れ
9:00		学習
10:00		自由時間
11:00		自由時間
12:00		昼食
13:00	受入れ 宿題 自由時間	休 息 自由時間
14:00	自由時間	
15:00	自由時間	
16:00	おやつ	
17:00	清掃 自由時間	
18:00	延長保育	延長保育
19:00	(帰宅準備) 帰宅 延長保育・帰宅	(帰宅準備) 帰宅 延長保育・帰宅

## 7. 障害児通所支援事業 くれよんクラブ高萩

### 1) 令和3年度運営計画

児童発達支援、放課後等デイサービス事業は近年、地域子育て支援において、そのニーズが増えているように感じています。対象児童が、障害の有無に関わらず子どもの生涯にわたる人間形成にとって、極めて重要な時期の幼児から、心身の変化の大きい小学校や特別支援高等部までの子どもであるため、その発達過程や特性、適応行動の状況を理解した上で、一人ひとりの状態に即した支援をしていくと共に、保護者の子育て悩みや家庭内での養育等、関係機関との連携も密にし支援を行います。また、多様な人材を配置し質の高い支援事業を展開して参ります。

#### 1 専門職的サービスの強化と専門職性向上

- (1) 児童家庭支援センターとの連携による専門性強化
- (2) 内部カンファレンス体制の整備
- (3) 人事交流による専門的人事配置の強化
- (4) 個別支援、家族支援の充実

#### 2 安定した事業運営を可能とする組織体制の確立

- (1) 組織体制の構造化
- (2) 関係機関連携強化
- (3) 人材育成強化

#### 3 安定した財政基盤の確立

- (1) 多様な人材配置
- (2) サービスの充実による利用児童の安定した確保

### 2) 運営の概況

平成31年4月に事業が始まり2年が経過し、児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業の契約数が37件となりました。今後契約を控えている方もいることを考えると、障害福祉におけるニーズの高さが伺えることを感じています。また、通所している児童の障害は様々で、それぞれの特性を理解し寄り添うことで、丁寧なサービス提供ができると改めて感じています。特に、サービスの中の一つに個別療育を実施することで、児童の1年を通した成長が保護者の方とともに感じることができました。保護者や他事業所、関係機関との連携を図ったことで、情報の共有や支援体制など構築することができました。今後は、支援体制をさらに密に行い質の高い支援を提供できるよう考えています。また、保護者からの養育相談も増え、寄り添って対応を継続していくとともに、それに応えられる職員の知識や対応力を身に付けられる研修等にも積極的に参加したいと考えています。

### 3) 運営

#### 1 営業時間及びサービス提供時間

- |           |   |
|-----------|---|
| ・営業時間     | 9時00分から18時00分                                       |
| ・サービス提供時間 |   |
| 月～金       | 9時00分から17時30分                                       |
| 土（学校休業日）  | 9時00分から17時00分（延長支援①8：30～9：00）<br>（延長支援②17：00～17：30） |

#### 2 定休日

- ・日曜日、祝日、お盆休暇（8月13日～8月15日）、年末年始（12月30日～1月3日）

#### 3 活動内容

- ・心身の成長や発達が気になる子、身体に障がいを抱える子の日常生活や社会生活をスムーズに送る為の支援活動の提供
- ・保護者支援を含む親子支援
- ・基本的生活動作の支援：着席支援・衣類の着脱・偏食への取り組み・食事のマナー・トイレトレーニング
- ・集団生活への適応訓練：〈児童発達支援〉運動遊び・感覚遊び・ルール遊び・音楽遊び  
季節遊び…小集団活動内容  
〈放課後等デイサービス〉ソーシャルスキルトレーニングを用いた活動内容
- ・知的技能の付与：個別の療育・小集団療育・生活の中で個々にあった知識の定着を図る

#### 4 会議

- |                          |        |
|--------------------------|--------|
| ・支援・職員会議                 | 月1回    |
| ・連絡会議（振り返り・引き継ぎ・連絡）      | 毎日     |
| ・担当者会議（保護者・相談支援事業所・他事業所） | 必要に応じて |
| ・幼稚園、保育園カンファレンス          | 必要に応じて |

5 日 課

時 間	児童発達支援	時 間	放デイ（平日）	時 間	放デイ（休日）
9:00	受け入れ・送迎 荷物支度準備・個別療育	14:30	受け入れ・送迎	8:30	延長支援
10:00	朝の会	15:30	おやつ	9:00	受け入れ・送迎
10:15	小 集 団 活 動	15:45	SST活動	10:00	朝の会
11:30	設 定 遊 び			11:30	SST活動
	給 食	16:15	余暇活動		給 食
	リラックスタイム	17:15	パソコン	12:30	個別活動
12:30	余 暇 時 間		帰りの準備	14:00	パソコン
13:00	自 由 遊 び	17:30	迎え引き渡し・送迎	15:00	おやつ
13:50	帰りの会			15:15	余暇活動
14:00	迎え引き渡し・送迎			17:00	迎え引き渡し・送迎
				17:30	延長支援

6 保健衛生及び安全管理

- ・調理担当者の衛生管理の徹底（保菌検査の実施（年12回）・消毒・白衣の着用）
- ・キッチンの整理整頓と衛生管理の徹底
- ・食材搬入時の衛生管理の徹底
- ・食物アレルギーの徹底管理
- ・環境衛生（室内清掃消毒の実施）
- ・園内外危険箇所の把握と安全管理と点検（月1回）
- ・玩具等の安全管理と点検消毒
- ・営業終了後は（株）総合警備保障に管理委託
- ・自動ドアの解錠カードキーによる防犯対策及び利用児の飛び出し防止
- ・AEDの設置

令和2年度保菌検査実施日記録 月1回

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	27	25	22	27	24	28	26	24	21	25	22	4

7 令和2年度利用実績

区 分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
児童発達支援		25	27	35	46	56	44	51
放課後等デイサービス		88	74	107	103	93	108	115
計		113	101	142	149	149	152	166
区 分	月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
児童発達支援		55	58	62	55	74	588	
放課後等デイサービス		106	119	98	92	121	1,224	
計		161	177	160	147	195	1,812	

8 出身地区別

	高萩市	日立市	北茨城市	その他	合計
児童発達支援事業	7	5	0	1	13
放課後等デイサービス事業	16	8	0	0	24

9 職員研修等

- ・法人内職員研修
- ・児童発達支援管理責任者取得研修
- ・社会福祉施設等新任研修
- ・はじめてのリーダー研修

## 8. 児童養護施設 臨海学園

### 1) 令和3年度運営計画

昨年度は新型コロナウイルスの流行により、これまでにない心配や不便と向き合う生活となりました。その中でも年度末には自立や家庭引き取りに繋がるケースが多くあり、今年度は入所率75%からのスタートとなっています。

今年は新しい社会的養育ビジョンを踏まえ、数年来検討してきた子どもセンターの大規模改修工事が着工になります。改修中は子どもたちには不便な生活をしてもらわねばならず、職員も負担の多い勤務状態が続くかと思われまます。その中で生活や労働の環境を如何に保ち、負担を軽減するかを大きな課題とし、支援について改善を重ねていきたいと考えています。

また、来年の改修工事終了後に始まる新しい生活についても十分な検討と準備を行い、子どもたちが安心して暮らし、職員も共に成長できる環境づくりに努めていきます。

#### 1 提供するサービス向上と生活環境の改善

- (1) オールユニット化・個室化のための改築工事の実施
- (2) 新しい生活スタイルの確立に向けた情報収集と検討・児童の意見への傾聴
- (3) 児童・職員が抱える改築中の不便や不満・ストレスの把握と軽減
- (4) 新たな支援体制・勤務体制の確立と職員の専門性を活かせる環境づくり
- (5) 計画的な自立支援とリービングケア・アフターケアの強化
- (6) 食育の推進(改築工事中の調理機会の確保と工夫)

#### 2 組織体制の強化

- (1) 職員間のチームワーク・グループ相互の連携強化と共通理解の推進
- (2) 地域や関係機関(学校・児童相談所等)との連携と情報共有
- (3) 職員間の連携・親睦のための福利厚生工夫
- (4) 自己評価の実施と公表

#### 3 人材育成

- (1) 小規模ケアに向けた職員の資質・意識の向上とOJT強化
- (2) 職員個別の研修目標の設定と定期的な評価
- (3) WEBを利用した研修環境の充実化
- (4) 相談体制の強化による職員の意欲向上と定着
- (5) ブログやSNSの積極的な活用による人材確保のための取り組み
- (6) 実習生やボランティアの積極的な受け入れ
- (7) 人事考課の実施

#### 4 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行
- (2) コスト意識の強化と節約の実践
- (3) 改築に向けた物品の整理と備蓄品のスリム化

### 2) 運営の概況

令和2年度は児童の入退所が多くあり、また年度の途中で職員の入替わりもあったため、変化の多い一年でした。コロナウイルス感染症への予防対策のため、生活や行事の実施などにも大きな影響が出ることになり、計画的な予算の執行も困難な状況が続きました。職員間のコミュニケーションや連携の課題については、引き続き改善を目指した取り組みが必要です。

児童の生活面では、上述の理由で環境の変化が大きかったにも関わらず、全体としては比較的落ち着いた生活が送れていました。正しく判断する力の不足から、問題行動に繋がる児童もいましたが、学校や児童相談所、保護者とも連携を取りながら対処をしてきました。

今年度は改築工事などにより負担の大きい年となりますが、その中でも児童の安心安全な生活環境を整え、職員一人ひとりの資質とチームワークの向上を目指して努力をしていく所存です。

### 3) 児童支援の状況

#### イ) 基本方針

支援の基本は、子どもの目線に立ち、子どもの意思を尊重して自立を促すこととし、家庭的な支援の実現を目指している。具体的には、子どもの生活基盤と生活を支援する職員のグループを男子、女子、幼児の3つに分け、少人数のグループによる支援を行う。また、生活上の決まりや約束事を子どもと職員と一緒に話し合ったりするなど、より密接な関係づくりを心がけ、子どもたちの安定した生活につなげている。

一方、学習面では多くの学習ボランティアを活用し、小中学生の基礎学力の向上、高校受験に

向けての学習支援を行う。その他、地域行事への参加など、地域の中での運営・支援していくことを基本方針とする。

## ロ) 基本的目標

○法人理念・綱領を実践し、子どもが将来社会的に自立できるよう援助・支援する。

### 1. 布 施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 他と協調する中で社会性を育てる。

### 2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)

- (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
- (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
- (3) 将来、社会的自立ができる。

### 3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)

- (1) 目標に向かって努力する。
- (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
- (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

○「子どもの人権を守る」という権利擁護の意識を持ちながら、対人援助サービスの基本である S・G・N・T を実践し、子どもが豊かな感性を涵養できるよう援助・支援する。

### 1. S (Smile) 笑顔

常に笑顔で接する。 (和顔愛語)

### 2. G (Greeting) 挨拶

常に明るくあいさつをする。 (あなたに関心があります)

### 3. N (Name) 名前

必ず子どもの名前を呼ぶ。 (あなたのことを知っています)

### 4. T (Thanks) 感謝

子どもに「ありがとう」が言える場面を作る。 (あなたを必要としています)

## ハ) 支援目標

### 1. 生活支援の向上

- (1) 児童の安定 (安心して落ち着いた生活が送れる)
- (2) 日常生活の援助 (規則正しい生活リズムを作る)
- (3) 個性の尊重 (個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする)
- (4) 学習相談の強化 (基礎学力の向上と進路相談)
- (5) 自立支援 (自立支援計画に基づいた援助)
- (6) 家庭との連携 (保護者会・家庭通信・帰省・面会・行事への参加)
- (7) 自治会活動の推進 (子ども会議の開催、各種実行委員会)
- (8) 食育の推進 (買い物体験と食事づくり)

## ニ) 学習支援

### (1) 目 的

・学習意欲を高める。基礎学力を養成する。進路相談。

### (2) 内 容

- ・落ち着いて学習する習慣(準備、意欲、集中力)を養う。
- ・基礎学力を養成し、学習効果を高める。高校受験の特別支援。
- ・計画的な進路相談を実践する。(面談、学習支援、進路相談)
- ・情操教育(図工、手芸、料理、音楽)の実施。
- ・意欲のある中学生は通塾により学力向上を目指す。
- ・学習ボランティアの活用。

## ホ) 環境(安全・保健・環境)

### (1) 目 的

・子どもが安全に落ち着いて生活できる習慣を作る。

### (2) 内 容

- ・手洗い・消毒の習慣化、清潔感を養う。(服装、身体)
- ・新型インフルエンザ対策の徹底。
- ・衛生検査の実施。(身体、頭髪、爪、耳垢等)
- ・入浴支援。

- ・健康診断（年2回）
- ・定期保菌検査の実施。（年2回 6月 1月）
- ・年齢による段階的な洗濯の習慣化。
- ・環境整備（施錠、補修、整備、整理整頓）
- ・愛園デー（子ども自身が安全面に配慮する・環境美化）毎月第1土曜日
- ・安全点検日（職員が安全面の定期点検を実施） 各グループ会議の日
- ・非常時（火災、地震、津波、風水害）対策、訓練の実施。
- ・交通安全の徹底（自転車点検、補修、通学路の確認、交通安全教室）

#### 4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、会議、研修に積極的に参加し、自己研鑽に努める。

##### 1. 職 員 会 議

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| (1) 全体会議       | … 月1回              |
| (2) グループ会議     | … 月1回（男子・女子）       |
| (3) 園内研修       | … 月1回              |
| (4) 運営会議       | … 月1回              |
| (5) 献立会議       | … 月1回              |
| (7) 栄養士・調理員等会議 | … 月1回              |
| (8) 生活向上部会     | … 月1回              |
| (9) 生教育部会      | … 月1回              |
| (10) 連絡会       | … 毎日（8:50 / 13:00） |

##### 2. 保健衛生及び安全管理

###### (1) 環 境 衛 生

- |                 |       |
|-----------------|-------|
| ア. 室内外の消毒（オスバン） | … 週1回 |
| イ. 便所消毒         | … 週1回 |
| ウ. 寝具消毒（日光消毒）   | … 毎日  |
| エ. 浴場消毒（オスバン）   | … 週1回 |
| オ. 食器消毒（熱 風）    | … 毎日  |
| カ. 残留塩素調査       | … 毎日  |

###### (2) 身 体 衛 生

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| ア. 健康診断（学校保健法に準じ当該学校にて） | … 4月・5月・6月（診療科目別） |
| （本園嘱託医により）              | … 10月19日          |
| イ. 身体測定                 | … 月1回             |
| ウ. 散髪                   | … 月1回             |
| エ. つめ切り                 | … 週1回             |
| オ. 下着交換                 | … 毎日              |
| カ. 入浴                   | … 毎日              |
| キ. 児童・職員保菌検査            | … 年2回             |
| ク. 調理員保菌検査              | … 月1回             |

###### (3) 安 全 管 理

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| ア. 非常時、株総合警備保障に通報契約  |                |
| イ. 電気設備検査（日本テクノ株式会社） | … 月1回          |
| ウ. 自動火災報知器の検査（作業検査）  | … 年2回          |
| エ. 非常通報装置の点検（業務委託）   | … 年2回          |
| オ. エレベーターの点検（ 〃 ）    | … 月1回（目視点検：随時） |
| カ. ガス湯沸器清掃点検（ 〃 ）    | … 年2回          |

###### (4) 安全管理の点検（毎月第1水-木曜日）

###### (5) 児 童 の 安 全

- |                         |
|-------------------------|
| ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施（月1回） |
| イ. 登下校の通学路指定            |
| ウ. 交通規則の徹底              |
| エ. 河川、海岸等の事故防止          |
| オ. 愛園デー（毎月第1土曜日）        |

## 5) 週間予定及び日課

### 1. 週間支援目標

日	・衛生検査(頭髪、爪、耳) こども会議(第1日曜日)
月	・登校確認(ハンカチ、ティッシュ、胸章)
火	・入浴支援
水	・室内消毒
木	・安全確認(施錠、交通安全、危険物)
金	・レクリエーション(東小体育館 19:00~21:00) ・上履、靴洗い
土	・基礎学力養成 ・環境整備(寝具日光消毒、室内外清掃) ・屋外活動

### 2. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:30	起床 洗面 清掃	起床 洗面 清掃 朝食 学習 環境整備 昼 食 自由遊び	15:00	おやつ	おやつ
7:00	朝食		15:30	小学生帰園 学習	
7:30			17:30	片付け	片付け
7:45	登校(小中)		18:00	夕食 お知らせ会	夕食 学習(中・高)
8:00	幼稚園生登園		19:00	学習(中・高) 入浴	入浴 テレビ視聴
9:00			20:00	テレビ視聴 幼児就寝	幼児就寝
10:00			21:00	小学生就寝	小学生就寝
12:00	昼 食		22:00	中高生就寝	中高生就寝
13:00	未満児午睡				
13:30	幼稚園生降園				
	帰園				

## 6) 令和2年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
室内外の消毒	22	20	17	15	19	16	21	18	16	20	17	17
身体測定	30	31	30	30	31	30	31	30	28	31	28	31
保菌検査(児童・職員)			6-10							10-14		
保菌検査(調理員)	11-15	9-13	6-10	11-15	9-13	12-16	10-14	7-11	5-9	10-14	6-10	6-10
安全管理点検	2,9	7,13	3,4	1,2	5,6	2,3	7,8	4,5	2,3	13,14	3,4	3,4
非常時避難訓練	29	24	14	12	9	13	4	23	20	10	28	13

## 7) 令和2年度行事内容

月	日	行 事
4	6	始業式
	7	入学式
	29	花まつり・進学進級祝
5	10	母の日祝い
6	20	父の日祝い
7	10	小学生レクリエーション
	24	夏休み開始
8	25	幼児レクリエーション
	11	キャンプ
9	22	元気村ボランティア
	2	始業式
	22	十五夜月見

月	日	行 事
10	29	十三夜月見
11	11	学童レクリエーション
	10	七五三
12	25	クリスマス会
	28	餅つき
	29	大掃除
2	3	豆まき
3	7	卒業を祝う会

その他 帰 省(実施せず)  
趣味の教室 月1回

## 8) 令和2年度資料

### 1. 職員の研修

	園長	指導員 保育士	F S W 里専	心理士	事務員	栄養士 調理員	計
県・社 協	0	5	1	0	1	0	7
団 体	0	6	3	1	1	0	11
法人・施設	3	188	25	12	3	7	238
計	3	199	29	13	5	7	256

2. 児童構成 (R3.3.31現在)

区分 年令・学年	未就学児						小学生						中学生			高校生			他	計		
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3				
男		1	2	1			1	2	1	1		1	1	2		2	3					18
女									1			1		1	1							4
計	0	1	2	1	0	0	1	2	2	1	0	2	1	3	1	2	3	0	0			22

3. 各月初日在籍及び入退園児童

[ ]内は停止

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	28	30	29	29	29	29	26	26	28	29	29	26	338
入所 うち( )は初日入所		2 (2)						2	1			1	6
退所 うち( )は初日退所			1 (1)			3						8 (3)	12
月末在籍	28	30	29	29	29	26	26	28	29	29	29	22	

4. 入園理由別表

入院理由	男	女	計
1. 父又は母の死亡		1	1
2. " 行方不明		2	2
3. " 離婚			
4. " 不和	1		1
5. " 拘禁		3	3
6. " 入院	1		1
7. " 就労	8	2	10
8. " 精神疾患等	6	2	8
9. " 放任・怠惰	4	1	5
10. " 虐待・酷使	1	1	2
11. 棄児			
12. 養育拒否			
13. 破産等の経済的理由	1		1
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他			
16. 不詳			
合計	22	12	34

5. 退園理由別表

退園理由	男	女	計
1. 自立(就職)	1		1
2. 進学		1	1
3. 措置変更(GHを含む)	1		1
4. 里親委託			
5. 家庭引取り	2	7	9
合計	4	8	12

6. 在園期間 (R3.3.31現在)

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
4	5	2	8	3	22

7. ショートステイ受入状況

ひたちなか市 2名 笠間市 1名 延べ 17日

8. 一時保護の受入状況

2名 延べ32日

9. 栄養摂取状況

◎嗜好調査 …………… アンケート調査実施（年2回）

1. 食費 1日当り 800円（原材料費）

2. エネルギー 幼児（3～5歳） 1,442 Kcal（基準 1,188 Kcal）

学童（6～18歳） 2,354 Kcal（基準 2,254 Kcal）

3. たん白質 幼児（3～5歳） 47.2 g（基準 39.0～59.4 g）

学童（6～18歳） 77.0 g（基準 73.3～112.7 g）

入園児童の出身地別の推移（臨海学園）

児相年	度	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	年度	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	合計														
中	北茨城市	7	6	6	2	5	4	4	4	4	4	4	3	3	2	3	1	1	3	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	124													
	高萩市	2	1	1	3	1	3	3	4	5	4	4	4	4	5	6	7	6	7	8	7	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	173												
	日立市	7	8	8	9	11	10	8	7	7	10	9	7	6	9	6	6	6	6	6	7	10	9	12	10	12	15	15	23	20	21	20	18	15	11	13	12	9	423											
	ひたちなか市	1	2	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	22												
	常陸太田市	2	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	47												
	笠間市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	35													
	多賀郡	2	2	2	2	2	2	2	3	4	4	4	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	70													
	久慈郡	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	36													
	東茨城郡	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	125													
	西茨城郡	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	138													
那珂郡	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11														
鹿島郡	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	200														
行方郡	4	3	10	7	4	6	5	1	1	1	1	1	2	2	2	7	5	5	7	8	6	8	5	5	3	2	2	2	2	4	2	3	1	1	1	1	4													
水戸市																																																		
鹿嶋市																																																		
埼玉県																																																		
所	小	35	28	36	35	34	32	32	31	37	45	45	40	38	40	39	33	33	37	44	42	52	46	42	42	41	42	44	52	46	46	46	46	47	42	42	44	56	66	62	56	50	1,658							
土浦市	7	3	3	1																																														
石岡市																																																		
龍ヶ崎市																																																		
取手市																																																		
牛久市																																																		
つくば市																																																		
稲敷郡	1	1	1	1	1	2	2	3	3	3	3	5	5	6	4	2	2	2	2	1	1																													
新治郡	1	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	1	1	1																																				
筑波郡	1	3	4	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	44								
北相馬郡	1	1	1																																															
神奈川県																																																		
千葉県																																																		
所	小	10	10	11	7	7	9	7	6	7	7	7	8	8	6	4	4	4	4	5	4	3	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	5	17	22	20	16	15	13	253						
水海道市																																																		
下館市																																																		
古河市	2	2	5	5	5	5	4	3	4	3	4	1	1	1	1																																			
結城市																																																		
下妻市																																																		
岩井市																																																		
真壁郡																																																		
結城郡	2	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1																																							
猿島郡	1	3	3																																															
埼玉県																																																		
所	小	5	8	13	9	11	10	6	9	9	8	6	7	8	8	9	8	7	7	7	6	6	6	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
合計	50	46	60	51	52	51	51	45																																										





## 9. 児童養護施設 同仁会子どもホーム

### 1) 令和3年度運営計画

令和2年度は、1年を通してまさにコロナウイルスに翻弄された年でした。子どもたちの行事もその多くは中止または規模の縮小を強いられ、最高学年の児童については修学旅行等実施されず、大変残念な結果となってしまいました。職員の人材育成においても、従来の研修が維持されることは難しく、オンラインという新時代の形式による研修受講が多くなり、動画視聴などによってその機会は確保されたものの、自由な情報交換や横の繋がりは、法人内においても難しくなりました。また子どもたちと大いに楽しんできた行事も変更・中止と、大変苦勞しました。そんな中でも出来る事業を継続し職員が力を合わせて変化に対応してくれたことに、感謝の念を抱かずにはいられません。

混乱の中でも、子どもたちはよく頑張ってくれ、窮屈な生活の中でも大きな問題を呈することなく生活し、自立退所、高校受験での合格と目標を達成しました。面会交流も再開して絆強化を改めて実践しているところです。令和3年度も落ち着いた日が続きますが、新時代のシステムも導入しながら、来る小規模養育に向けた準備と、丁寧な人材育成、個別ケアの充実を図って参りたいと存じます。

#### 1 福祉サービスの向上

- (1) 子ども間における権利侵害の防止と予防的援助の徹底
- (2) 治療的個別ケアの充実
- (3) 里親養育支援の維持と地域支援への参画
- (4) カンファレンスの充実

#### 2 組織体制の強化

- (1) グループ担当体制とチームケアの充実
- (2) 児童家庭支援センターとの連携強化
- (3) 地域小規模化の模索

#### 3 人材育成

- (1) 職員研修の計画的実践の継続
- (2) 3グループ化に向けた人材育成
- (3) 実習プログラムの充実

#### 4 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行とコスト意識の徹底
- (2) 省エネの実践とエコロジーの推進

### 2) 運営の概況

令和2年度も、2名の高校受験生が無事に希望高校への進学を決めました。志望校の選定には悩みましたが、職員もその不安に丁寧に寄り添い、その結果兩名とも希望校への合格を果たしました。また、年度末には5歳児が入所し、幼児5名で新年度を迎えています。令和2年度中の入所は6名中3名が幼児の入所となりました。しかしその一方で、ここ3年の充足率は低迷し、24名の暫定定員で迎えることになりました。同仁会子どもホームにおける児童居室数は10室ですが、ケアの観点から個室化が推奨される現在、定員分の人数の受け入れを実践していくには設備上の整備も課題となっています。開設より丁寧に続けてきた小規模養育のあり様は、ソフト面において現代のニーズに充分応え得るものであり、来る地域分散化に向けてさらに人材育成と具体的な運営の計画を進めなければなりません。

児童養護施設の将来像としては地域分散化と同時に、里親家庭を含めた地域における子ども家庭への支援機関として、その一翼を担うべく地域支援機能の充実を求められています。その意味でこの3年で進めてきた児童家庭支援センターとの連携・協働は今後も非常に重要な取り組みとなります。今年度はより一層の協働を図り、保護と支援の機能の充実化を進めて参ります。

同仁会子どもホームに暮らす子どもたちについては、今年もコロナウイルスの感染防止に細心の注意を払いながら、様々な制限と我慢を強いられることになりそうですが、同仁会子どもホームの強みである“職員のチームワークとエネルギー”そして“アイディア”で、楽しみを忘れない養育支援に励んで参りたいと存じます。

### 3) 児童処遇の状況

#### イ) 基本方針

子ども一人ひとりが安心して生活できる人間関係と安全な環境作りを目指し、子ども自らが主体的に生活に参加できるように支援していきます。

情緒の安定を図り、発達段階に応じた個別支援、自立に向けた生活力と学習の向上を図ります。また、子どもと保護者に寄り添いながら家庭支援を充実していきます。

#### ロ) 基本的目標

法人理念・綱領を実践し、児童が将来社会的自立できるよう援助・指導する。

##### 1. 布施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 将来社会的自立ができる。

##### 2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)

- (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
- (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
- (3) 他と協調する中で社会性を育てる。

##### 3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)

- (1) 目標に向かって努力する。
- (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
- (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

#### ハ) 処 遇 目 標

##### 1. 児童処遇の向上

- (1) 児童の安定 (安心して落ち着いた生活が送れる)
- (2) 日常生活の援助指導 (規則正しい生活リズムを作る)
- (3) 個性の尊重 (個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする)
- (4) 学習指導の強化 (基礎学力の向上と進路指導)
- (5) 自立支援 (自立計画に基づいた援助)
- (6) 家庭との連携 (定期的な連絡・面会・帰省)
- (7) 子ども会議

##### 2. 業務に関わる事務処理の構築

3. 安全・健康管理の徹底
4. 関係機関・団体・地域との連携強化
5. 職員の援助技術の向上

#### ニ) 学 習 指 導

##### (1) 目 的

- ・基礎学力を養成する。学習意欲を高め、自主的な学習習慣を身につける。

##### (2) 内 容

- ・基礎学力を養成し、学習効果を高める。
- ・児童と一緒に学習計画を作成し、自主的な学習につながるようにする。
- ・計画的な進路相談の実施
- ・生涯教育(書道・音楽等)の実施

#### ホ) 環 境

##### (1) 目 的

- ・子どもが安全に生活できる環境を作る。

##### (2) 内 容

- ・手洗い・うがいの習慣化
- ・入浴指導を行う。
- ・定期保菌検査の実施
- ・住環境を中心とした整理整頓、環境整備
- ・災害時対策及び訓練の実施
- ・交通安全指導

#### ヘ) 情 操

##### (1) 野菜の栽培

##### (2) 花木類の育成

##### (3) 趣味の教室(工作・フラワーアレンジメント・菓子作り、調理等)

#### 4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

##### 1. 職 員 会 議

- (1) 全体会議 … 月 1 回
- (2) 支援検討会議 … 月 1 回
- (3) 給食会議 … 月 1 回
- (4) 施設内研修会 … 月 1 回
- (5) グループ会議 … 月 2 回
- (6) 連絡会議 … 毎 日
- (7) まるなか会議（性教育） … 月 1 回
- (8) リービングケア会議 … 年 3 回
- (9) 運営会議 … 月 1 回

##### 2. 保健衛生及び安全管理

###### (1) 環 境 衛 生

- ア. 室内外の消毒 ……………… 月 1 回
- イ. 便所消毒 ……………… 週 1 回
- ウ. 寝具消毒 ……………… 随 時
- エ. 食器消毒 ……………… 毎 日
- オ. 残留塩素調査 ……………… 毎 日

###### (2) 身 体 衛 生

- ア. 健康診断
- イ. 身体測定
- ウ. 職員保菌検査 ……………… 月 1 回（0157含む）
- エ. 児童保菌検査 ……………… 年 2 回

###### (3) 安 全 管 理

- ア. 漏電検査
- イ. 自動火災報知器の検査 …… 令和2年9月14日、令和3年3月9日
- ウ. 火災通報装置の検査 …… 令和2年9月14日、令和3年3月9日
- エ. 特定小規模施設用自動火災報知設備検査 …… 令和3年3月9日

###### (4) 児 童 の 安 全

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施（月 1 回）
- イ. 登下校時見送り（小学生、学校指定箇所まで）
- ウ. 交通安全指導

#### 5) 児童処遇の計画

##### ◎学習支援について

###### 1. 学 習 時 間

小学生 （平日）基本的に帰園後。児童との話し合いで随時変更あり。  
（休日）午前中

中学生 基本的に1時間以上行う。学習時間については児童の自主性に任せ、その日の担当職員と決める。

###### 2. 場 所

食堂、学習室、居室、集会室

##### ◎生活支援について

生活を共に作るという基本方針に沿って、職員の側から押しつけるのではなく、子どもと話し合いを持ちながら生活プログラムを作成し、一人ひとりがかげがえのない存在であるということを自覚できるように支援する。

###### 1. 職 務 分 掌

- (1) 教育費関係 (2) 給 食 (3) 学用品 (4) 日用品 (5) 被服・寝具
- (6) 教養娯楽 (7) 保健衛生 (8) 保育材料 (9) 防災関係 (10) 家庭関係
- (11) 法人委員会 (12) 関係団体等委員 (13) 園車管理 (14) 安全・保守点検
- (15) 実習生、ボランティア受入

###### 2. 生活指導訓練費について

- ・毎月1日にお小遣いとして支給する。児童の自主性を損なわないように留意しながら、金銭の管理について年齢相応に経験させる。
- ・小遣い帳に記入し、金銭管理をする。（中・高生は各自、小学生は職員と一緒に）

3. 誕生日について
- ・誕生プレゼント
  - ・誕生会  
児童の誕生日の夕食時に行う。メニューは誕生者の希望をとり、ケーキを囲んでお祝いをする。
4. お年玉について
- ・全児童を対象に支給

5. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:30	起 床	起 床	14:00	帰 園	
7:00	洗 面・朝 食	洗 面	15:00	おやつ	おやつ
8:00	登 園・登 校	朝 食 学 習	16:00	学 習	
9:00			17:00		
10:00			18:00	夕 食	夕 食
11:00			19:00		
12:00	昼 食	昼 食	20:00	入 浴	入 浴
13:00			21:00	就 寝(小) 自主学習	就 寝(小) 自主学習
			22:00	就 寝(中・高)	就 寝(中・高)

6) 令和2年度行事内容

月	日	行 事
4	1	進級進学を祝う会
5	3	BBQ
8	1	流しそうめん
	6~8	キャンプ①(願成寺)
	8~10	〃 ②(〃)
	14	BBQ、スイカ割り
	23	おいしい元気村昼食招待
	28、30	個別レク
10	3、4、5、 10、11	個別レク
11	7	おさかなパーティー
12	25	クリスマス会
3	20	BBQ、巣立ちの会

7) 令和2年度資料

1. 職員の研修

	ホーム長	事 務	指 導 員	保 育 士	栄 養 士	心 理 士	計
県・社 協			5	4	0	0	9
団 体	1	1	8	4	0	1	15
法人・施設	4	5	35	21	4	4	73
計	5	6	48	29	4	5	97

2. 児 童 構 成 (R3.3.31現在)

区 分	未 就 学 児						小 学 生						中 学 生						高 校 生			他	計
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3					
男			1	1	1	1						1	1	1		2		1				10	
女				1	1		1				1	1		3	1							9	
計			1	2	2	1	1	0	0	1	2	1	4	1	2	0	1	0				19	

## 3. 各月初日在籍及び入退園児童

[ ]内は停止

区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	17	17	17	16	16	17	16	17	18	19	19	19	208
入 所 うち( )は初日入所					1		1	1	1			2	6
退 所 うち( )は初日退所				1 (1)		1						2	4
月末在籍	17	17	17	16	17	16	17	18	19	19	19	19	211

## 4. 入園理由別表 (R3.3.31)

入 院 理 由	男	女	計
1. 父又は母の 死亡			
2. // 行方不明			
3. // 離婚			
4. // 不和			
5. // 拘禁	2	2	4
6. // 入院	1	1	2
7. // 就労		1	1
8. // 精神疾患等	6		6
9. // 放任・怠惰	1	1	2
10. // 虐待・酷使	2	6	8
11. 棄児			
12. 養育拒否			
13. 破産等の経済的理由			
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他			
16. 不詳			
合 計	12	11	23

## 5. 退園理由別表

退 園 理 由	男	女	計
1. 自立(就職)	1		1
2. 進学			
3. 措置変更	1	1	2
4. 家庭引取り		1	1
合 計	2	2	4

## 6. 在 園 期 間(R3.3.31現在)

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
5	3	4	3	4	19

## 7. 栄養摂取状況

◎嗜好調査 …………… ・毎月、選択おやつや誕生月の児童に対し実施。また、普段より子どもの希望を取り入れたメニューを実施している。

・年1回、記述式アンケートの実施

1. 食 費 1日当たり 500円(原材料費)
2. 熱 量 1,966Kcal(基準 1,812Kcal)
3. たん白質 74.6 g(基準 51.4~77.1 g)

※学校給食の平均値を含む



入園	理由	平成13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	合計
父または母の死	死亡								1	1	1	1	1	5
"	行方不明	5	5											10
"	離婚・就労	3	3	2	3	1	2	5	3	1	1	1	1	26
"	傷病・入院	1	1				1	1	1					5
"	精神疾患	2	2	1	3	9	7	7	6	6	7	6	7	63
"	受刑	6	8	7	6	8	7	10	8	8	9	7	7	91
"	被虐待・被冷遇	2	11	11	12	12	9	9	11	10	11	10	9	117
その他		8	8	6	7	1								30
小計		27	38	27	31	31	26	32	30	26	29	25	25	347

入園	理由	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	合計
父または母の死	死亡	1	1							2
"	行方不明									-
"	離婚									-
"	不和									-
"	拘禁	8	8	3	2	2	2	4	4	39
"	入院								2	4
"	就労	1	1	1	1					4
"	精神障害	7	7	7	6	4	4	4	4	46
"	放任怠惰					1	1	1	2	5
"	虐待	6	6	7	14	14	12	10	7	76
棄児										-
養育拒否		2	2	1	1	2	2	3	1	14
破産等経済的理由										-
児童の監護困難								1		1
その他の					1	1	3		2	7
不詳										-
小計		25	25	24	27	26	24	25	22	198

※平成25年度より集計項目変更

## 10. 児童養護施設 内原和敬寮

### 1) 令和3年度運営計画

昨年度は年間7名の入所、8名の退所がありました。毎年10人前後の入退所があり、入所して2年以内の子どもたちが半分を占めています。職員と子どもたちとの関係構築を図るには時間を要しますが、職員間で情報の共有を図りながら丁寧な支援ができるよう資質の向上に務めたいと思います。また、子どもたちとの関わりだけでなく、生活する環境を整理整頓し心地よさが実感できる空間を提供していきたいと思います。

また、年間を通して児童相談所からの一時保護委託や市町村からのショートステイの依頼が多くあります。コロナ渦において地域で暮らす子どもたちを受け入れることに敏感になってはいますが、私たちの持つ専門性を還元していくため、感染症予防を徹底しながら受け入れをしていきたいと考えています。

最後に、今年度は中学3年生が8名います。各々が自分の希望する学校へ進学できるよう進路について話し合い、サポートしていきたいと思います。

今後も子どもたちが安心・安全の中で生活できるよう職員一丸となって支援して参ります。

#### 1 福祉サービスの質の向上

- (1) 感染症対策と行事の遂行
- (2) 自立支援計画における本人との振り返りと目標設定
- (3) 年齢に応じた性教育の実施
- (4) 家庭復帰と家族再統合に向けての家庭調整の充実
- (5) 里親支援の充実
- (6) 子育て支援短期利用事業の受け入れ

#### 2 組織体制の強化

- (1) 自己評価の実施
- (2) グループ相互の連携強化と職員間での報告、連絡、相談の徹底
- (3) 児童家庭支援センターあいびーとの連携体制強化

#### 3 人材育成と人材の確保

- (1) 定期的な面接を通しての職務目標の設定と振り返りの見直し
- (2) 法人内外の研修への積極的参加
- (3) 人事考課の実施
- (4) 実習生、ニーズに合ったボランティアの積極的受け入れ

#### 4 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算執行
- (2) コスト削減、節約意識の徹底
- (3) グループウェアの導入の推進

#### 5 食育の推進及び環境問題対策

- (1) 調理体験、作物栽培体験の充実
- (2) ゴミの分別と資源の有効利用の徹底

### 2) 運営の概況

昨年度は入所児童が7名、退所児童が5名で、退所した児童のうち4名が家庭復帰、1名が就職しました。

昨年度はコロナ渦において施設内の行事が殆どできず、日常生活においても制限せざるを得ない状況で窮屈な一年でしたが、子どもたちの理解もあられる範囲の中で計画し実施してきました。

また、入所して3年未満の子が半数以上という中で、子どもたちとの関係構築が図れるようまた、安心・安全が図られた環境で生活することができるよう、性と生の教育や大切にしてほしいこと（施設の目標・自立支援計画目標等）を個別に話す時間を継続的に持ってきました。

学校生活においては小学校での不適応があり、登校から下校するまで一日中つきそうということを経験してきました。刺激の多い集団生活の中で学校と連携を図りながら個人にあった支援をすることの難しさを改めて感じ、子どもたちへの共通理解をこれまで以上に図る必要性があると考えています。

職員においては、グループ長と職員が定期的に話し合いをもち職務目標の設定と振り返りを実施してきましたが、滞りうまく機能していない状況だったので、職員一人一人スキルアップにつながる取り組みができるよう改善していきたいと思います。

最後に、児童家庭支援センターあいびーとの連携強化を図りながら、地域のニーズに応えられる施設作りを目指していきたいと思っています。

### 3) 児童処遇の状況

#### イ) 基本方針

支援の基本は、子どもの目線に立ち、子どもの意思を尊重して自立を促すこととし、家庭的な支援の実現を目指しています。具体的には、子どもの生活基盤と生活を支援する職員のグループを3つに分け、更に6つのユニットに分けて兄弟関係を重視した少人数の縦割りグループによる支援を行います。また、生活上の約束事を子どもと職員が一緒に話し合ったりするなど、より密接な関係づくりを心がけて、子どもたちの安定した生活につなげています。

一方、学習面では学習ボランティアを活用し、小中学生の基礎学力の向上、高校受験に向けての学習支援を行います。希望する中学生は地域の塾へも通っています。その他、地域子ども会やスポーツ少年団への参加をするなど、地域の中での運営・支援を心がけています。

#### ロ) 基本的目標

○ 法人理念・綱領「合掌深敬の心」を実践し、子どもが将来社会的自立できるよう援助・支援する。

1. 布 施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 他と協調する中で社会性を育てる。

2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)

- (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
- (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
- (3) 将来社会的自立ができる。

3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)

- (1) 目標に向かって努力する。
- (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
- (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

○ 「子どもの人権を守る」という権利擁護の意識を常に持ちながら、対人援助サービスの基本であるS(笑顔)・G(挨拶)・N(名前)・T(感謝)を実践し、子どもが豊かな感性を涵養できるよう援助・支援する。

1. S (Smile) 笑顔

常に笑顔で接する。(和顔愛語)

2. G (Greeting) 挨拶

常に明るくあいさつをする。(あなたに関心があります)

3. N (Name) 名前

必ず子どもの名前を呼ぶ。(あなたのことを知っています)

4. T (Thanks) 感謝

子どもに「ありがとう」と言える場面を作る。(あなたを必要としています)

#### ハ) 処 遇 目 標

○ 児童処遇の向上

- (1) 安心して落ち着いた生活が送れるよう支援する。
- (2) 規則正しい生活リズムを作れるよう支援する。
- (3) 個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする。
- (4) 基礎学力の向上、高校進学等への進路の支援をする。
- (5) 自立支援計画に基づいた支援を行う。
- (6) 早期の家庭復帰を目指し、家庭との関係を密にするため、児童相談所と連携し定期的な連絡、面会、帰省等を行う。
- (7) 自治会活動の推進。

#### ニ) 学 習

##### (1) 目 的

・学習意欲を高める。基礎学力を養成する。就職・進学への支援。

##### (2) 内 容

- ・落ち着いて学習する習慣(準備、意欲、集中力)を養う。
- ・基礎学力を養成し、学習効果を高める。
- ・子ども一人ひとりの学力、適正に応じた、計画的な就職・進学への支援の実践。(個別面談、学習相談、進路相談)
- ・学習塾の活用(中高生の希望者を対象とする)
- ・学習ボランティアの活用

ホ) 環 境 (安全・保健・環境)

(1) 目 的

- ・子どもが安全に落ち着いて生活できる環境を作る。

(2) 内 容

- ・清潔感を養う (手洗い・歯磨きの習慣化。居室の整理整頓、清潔な服装、入浴の徹底等)
- ・定期保菌検査の実施
- ・毎日の清掃の徹底
- ・非常時 (火災、地震) 対策、訓練の実施
- ・交通安全の大切さを知る (自転車の乗り方の指導、通学路の確認等)
- ・草花の栽培

4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

1. 職 員 会 議

- (1) 全体職員・給食会議 …… 月 1 回
- (2) 食育会議 …………… 月 1 回
- (3) ケース・職員会議 …… 月 1 回
- (4) グループ長会議 …… 月 1 回
- (5) 連絡会議 …………… 毎日午前・午後

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環 境 衛 生

- ア. 室内の消毒 …………… 毎 日
- イ. 便所消毒 …………… 毎 日
- ウ. 寝具消毒 …………… 随 時

(2) 身 体 衛 生

- ア. 健康診断 …………… 学校保健法に準じて実施  
(本園嘱託医により) … 6月30日 (未就園児)、2月22日
- イ. 身体測定 …………… 月 1 回
- ウ. 散髪 …………… 随 時
- エ. つめ切り …………… 週 1 回
- オ. 下着交換 …………… 毎 日
- カ. 入浴 …………… 毎 日
- キ. 児童保菌検査 …………… 年 2 回
- ク. 職員保菌検査 …………… 月 1 回

(3) 安 全 管 理

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施 (月 1 回)
- イ. 火災報知器の検査 (水戸ホーチキ株) …………… 令和2年7月3日、令和3年1月13日

(4) 児 童 の 安 全

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施 (月 1 回)
- イ. 登下校時の送迎 (小学生)
- ウ. 交通安全指導
- エ. 環境整備 (毎月末の土曜日)

5) 児童処遇の計画

◎学習支援について

1. 平日 (日曜日なし)

小学生：帰園後

中学生：自主学習 (個人のレベルに合わせて)

中高生の希望者においては塾を利用する。

2. 場 所 …… 居室・ダイニング

3. 学校の準備、後片付けの徹底。

◎生活支援について

子どもたち一人ひとりの個性を大切に、生活の中に家庭的な雰囲気を感じられ、安心できる場所を与えられるよう、個別に月間生活目標を作成し、支援を行う。また、地域社会の一員として自立し、自信を持って生活ができるよう、長期計画的な視点で自立支援計画を作成する。

1. 児童の小遣いについて（毎月1日支給）
  - ・小遣い帳に記入し、金銭管理をする。
  - ・貯金の励行（通帳の作成）
  - ・用途は自主性を尊重し、計画的に自由に使えるよう配慮する。
2. 誕生日について
  - ・誕生日プレゼント  
当日に渡す。
  - ・誕生会  
各ユニットで誕生者のいる日にその都度行い、誕生者の希望するメニューを準備し祝う。
3. お年玉について
  - ・お年玉 支給対象：未帰省児とするが、その都度検討する。
4. 子ども会議の育成
  - ・児童の自主性や主体性を養うことを目的に、グループ毎に行う。
  - ・児童と職員と一緒に年間行事等の協議・検討を行う。
  - ・意見箱を設置する。
5. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:00	起床・洗面 朝食		16:00	帰園(小学生) 学習	
7:00		起床	18:00	夕食	夕食
8:00	登校(小学校7:10) 登園(幼稚園7:40) 登校(中学校7:40)	朝食	19:00	テレビ視聴 入浴	テレビ視聴 入浴
12:00	昼食 帰園(幼稚園)	昼食	20:00	就寝(幼児)	就寝(幼児)
14:00			21:00	就寝(小学生) 自主学習	就寝(小学生) 自主学習
15:00	おやつ	おやつ	22:00	就寝(中高生)	就寝(中高生)

6) 令和2年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身 体 測 定	5	3	3	11	12	5	4	13	6	9	10	18
保 菌 検 査 ( 児 童 )						3				7		
保 菌 検 査 ( 職 員 )	2	7	4	2	6	3	1	5	3	7	4	4
安 全 管 理 点 検	22	27	24	15	26	23	28	25	16	27	24	17
非 常 時 避 難 訓 練	26	23	27	18	29	26	24	28	19	30	27	13

7) 令和2年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	6	入園入学を祝う会	7	4. 5. 8. 20 24、25 25. 27	誕生会(大地, 青空) 大地外食 青空外食
	3. 5. 9. 22. 23	誕生会(太陽, 青空, 大地)			
10	母の日祝い				
5	12	誕生会(大地, 太陽)	8	18 20 26	夏のレク(球技会) 夏のレク(植物園, 森林公園) 誕生会(太陽)
6	20、27	太陽外食			
	21	父の日祝い			
	28	おやつ作り(パインケーキ)			

9	4, 20	誕生会 (大地, 青空)	1	4. 5. 6	初詣
10	3. 18. 27 25	太陽, 青空誕生会 おやつ作り (さつまいもケーキ)		2. 26. 28 30, 31	誕生会 (大地, 太陽, 青空) 太陽外食
11	6. 16. 23. 26 14 23 17, 19 22. 28	太陽, 青空誕生会 七五三 食事作り 青空外食 太陽外食	2	9, 14, 23 13 23, 26 27 28	大地, 太陽誕生会 大地レク (たこやき) 大地外食 卒業を祝う会 青空レク (バーベキュー)
12	8 12, 13 25 28	大地, 青空誕生会 大地外食 クリスマス会 餅つき	3	3 7 7, 14, 26 14 26, 27	ひなまつり 太陽レク (バーベキュー) 青空, 太陽誕生会 おやつ作り (ヨーグルトケーキ) 青空外食

8) 令和2年度資料

1. 職員の研修

	園長	事務	指導員	保育士	セラピスト	調理員等	計
県・社協							
団体			4	2			6
法人・施設	13	5	144	128	14	34	338
計	13	5	148	130	14	34	344

2. 児童構成 (R3. 3. 31現在)

区分 年令・学年	未就学児						小学生						中学生			高校生			他	計	
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3			
男			2		1	2	1		2		3	2		2		1	2				18
女				1			2	3	2	2		1	2	6					1		20
計			2	1	1	2	3	3	4	2	3	3	2	8		1	2	1			38

3. 各月初日在籍及び入退園児童

[ ]内は停止

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	36 [2]	36 [1]	36 [3]	37	37	37	39	39	39	39	39	39	452
入所 うち( )は初日入所	1		4			2							7
退所 うち( )は初日退所	1		3									1	5
月末在籍	36 [1]	36 [3]	37	37	37	39	39	39	39	39	39	38 [3]	455

4. 入園理由別表

入院理由	男	女	計
1. 父又は母の死亡			
2. // 行方不明			
3. // 離婚			
4. // 不和			
5. // 拘禁			
6. // 入院			
7. // 就労	1		1
8. // 精神疾患等	2	1	3
9. // 放任・怠惰	3	7	10
10. // 虐待・酷使	13	12	25
11. 棄児			
12. 養育拒否			
13. 破産等の経済的理由		2	2
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他	1	1	2
16. 不詳			
合計	20	23	43

5. 退園理由別表

退園理由	男	女	計
1. 自立(就職)		1	1
2. 進学(大学・専門学校)			
3. 措置変更			
4. 家庭引取り	2	2	4
合計	2	3	5

6. 在園期間 (R3.3.31現在)

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
7	15	5	8	3	38

7. 一時保護入所状況

実人数 5名  
延べ日数 226日

8. ショートステイ受入状況

実人数 12名  
延べ日数 82日

トワイライトステイ受け入れ状況

実人数 0人  
延べ日数 0日

9. レスパイト受け入れ状況

実人数 0名  
延べ日数 0日

10. 栄養投与状況

◎嗜好調査 …………… 毎月、誕生月の児童に対して実施  
年1回記述アンケートにより実施

1. 食費 1日当り 642円
2. 熱量 2,322 Kcal (基準 2,005 Kcal)
3. たん白質 80.8 g (基準 65.2g~100.2g)  
(学校給食の平均値含む)



入園理由別総計表（内原和敬寮）

入園理由	平成15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	合計
父または母の死亡			1	1	1					1	4
" 行方不明	4	9	7	8	2	2	2	2	2	2	40
" 離婚・就労					2	1	1				4
" 傷病・入院	2	10	8	6	7	6	7	4	3	2	55
" 精神疾患	4	2	3	4	2	4	8	12	9	8	56
" 受刑	5	15	9	8	7	7	5	1	1	1	59
" 被虐待・被冷遇	12	17	17	19	19	18	21	20	21	19	183
その他の	14	5	2	3	5	6	6	5	4	1	51
小計	41	58	47	49	45	44	50	44	40	34	452

入園理由	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	合計
父または母の死亡	1	1	1	2	2	1	1		9
" 行方不明	2	2	2	1	1				8
" 離婚									-
" 不和									-
" 拘禁	3	2		1	1	1	1		9
" 入院	2	2	2						6
" 就労	1	2	1	3	4	4	2	1	18
" 精神障害	8	7	7	7	6	5	3	3	46
" 放任怠惰	9	11	9	11	13	14	11	10	88
" 虐待	12	13	11	13	12	12	22	25	120
棄児									-
養育拒否	2	2	2	2					8
破産等経済的理由								2	2
児童の監護困難	1								1
その他の	1	4	10	7	6	3	2	2	35
不詳									-
小計	41	47	45	47	45	40	42	43	350

※平成25年度より集計項目変更

# 1 1. 児童養護施設 つくば香風寮

## 1) 令和3年度運営計画

昨年度は、28名の入所児童でスタートし、年間4名の入所がありました。新型コロナウイルスの流行により、コロナ対策を日々更新する一年となりました。子どもたちの生活もコロナの影響で行事がなくなったり、外食がテイクアウトになったりと制限の多いものとなり、子どもも職員も辛抱の一年だったと思います。コロナ禍の中、子どもたちの不安感が高まり、問題が顕在化したこともありました。そのような中、高校3年生の2名が大学進学を決めたことは、つくば香風寮にとって明るいニュースとなりました。

また、秋に受審した第三者評価を通して、つくば香風寮の課題と強みを整理し、確認することができました。特に課題となる、職員の定着と育成については、具体的な取り組みを立案・実行をしていきたいと考えております。

これらのことを踏まえ、以下のとおり令和3年度の運営を計画いたします。

### 1 施設提供サービスの向上

- (1) 新型コロナ対策とユニットケアにおける家庭的養育の進化
- (2) アセスメントの強化による子どもと家族の理解
- (3) ペアレントトレーニングを取り入れた養育技術の標準化
- (4) 施設の強みを活かした専門的地域貢献
- (5) 里親リクルーターと里親支援専門相談員の協働による里親支援活動
- (6) 調理の完全ユニット化を目指した取り組み

### 2 人材育成

- (1) 施設内外の研修の計画的参加（施設・職員の課題に即した研修計画）
- (2) 人事考課制度の継続実践（人事考課の意義を職員全体で共有する）
- (3) 人材育成のための中長期計画を作成
- (4) 実習生の積極的受け入れと実習プログラムの体系化に向けた検討
- (5) さくらの森乳児院との職員交換研修

### 3 組織強化

- (1) 職員のチームワーク強化
- (2) 施設内虐待に関する理解と予防への取り組み
- (3) 地域小規模化に向けた取り組み
- (4) 人材定着のための業務改善と職場環境づくり
- (5) 自己評価の実施と公表

### 4 財政基盤強化

- (1) 計画的予算執行と予算執行状況の正確な把握
- (2) コスト意識、節約意識の徹底
- (3) グループウェア導入の推進

## 2) 運営の概況

昨年度は入所が4名、退所が4名ありました。高校3年生の2名が大学に合格し、うち一人は一人暮らしをするために巣立っていき、また一人は措置延長してつくば香風寮から大学に通うことになりました。二人とも将来の夢に向けてスタートを切っています。4名の中学3年生も無事志望校に合格することができました。

また昨年度は、何に関しても新型コロナウイルスの影響が大きくありました。学校や寮の行事、日常生活についても、かなり制限のかかった生活でしたが、子どもと職員の頑張りで何とか乗り切ることができました。

つくば香風寮では以前から職員の定着に課題があり、昨年度も年度途中の退職が2名、年度末の退職が2名ありました。退職する理由は様々ですが、人材育成と人材定着は安定した運営と子どもの安心にとって最重要事項の一つとなります。職員が安心して働ける職場、長く働きたいと思える職場を組織として作っていくことを意識しながら施設を運営していきたいと考えております。

## 3) 児童処遇の状況

### イ) 基本方針

子ども達の生活支援において「受容・共感」「支持」「教示」を援助の基本とする。安心と安全の維持に最大限努力し、その子ども一人ひとりの健全な自己実現の助けとなる自立援助を目指す。また、子ども達の意思や選択が反映されたより家庭的な生活支援の実現を目指す。さらに、子ども達の生活支援を地域の暮らしの中で実践し、それらを通して権利擁護意識の啓発、地域児童福祉への専門性の還元を視野に入れながら、地域と一体となった施設運営を目指す。

具体的には、子どもの生活基盤を4つのユニットに分けた少人数の縦割りで支援し、生活を支援する職員のグループを2つとした支援を行う。また、生活上のきまりや約束事を子どもと職員と一緒に話し合ったりするなど、より密接な関係づくりを心がける。さらに地域子ども会やスポーツ少年団への参加など地域の中で運営・支援していく。

## ロ) 基本的目標

法人理念・綱領を実践し、子どもが将来、社会的自立ができるよう援助指導する。

### 1. 布 施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 他と協調する中で社会性を育てる。

### 2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)

- (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
- (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
- (3) 将来、社会的自立ができる。

### 3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)

- (1) 目標に向かって努力する。
- (2) 趣味やスポーツ活動に参加し、豊かな人間性を養う。
- (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

## ハ) 処遇目標

### 1. 児童支援の向上

- (1) 日常生活支援の徹底 (社会的、知的及び情緒的自立ができる子どもの育成)
- (2) 個性尊重 (その子の個性を尊重し、固有の良い面を伸ばす。)
- (3) 基本的生活習慣の獲得 (基本的生活習慣を獲得しその維持と自立を目指す。)
- (4) 落ち着いた生活維持 (寮内生活の基本ルールの遵守、自分を大切に他人の権利を侵害しない。)
- (5) 清潔な環境づくり (整理整頓や清掃、物を大切に扱う習慣を身に付けることができるよう支援する。)
- (6) 努力する心育成 (スポーツ指導や情操教育を通して努力する心、集中力、忍耐力、持続力を養う。)
- (7) 子ども自身の参画 (子ども自身が寮内生活を創っていく心を育てる。)
- (8) 潤いのある生活 (安全と衛生面に留意した、安心で潤いのある生活環境を整える。)

## ニ) 学 習

### (1) 目 的

- ・学習意欲を高める。基礎学力を養成する。その子の特性や固有の力に応じた進学適正、就業適正を網羅した知的自立支援を行う。

### (2) 内 容

- ・落ち着いた学習する習慣 (準備、意欲、集中力) を養う
- ・基礎学力を養成し学習効果を高める。高校受験の特別支援
- ・計画的な進路相談を実践する (面談、学習支援、進路相談)
- ・心理士の助言による進学適性、就業適性を踏まえて、学習支援と児童の発達状況に応じた支援を展開する

## ホ) 環 境 (安全・保健・環境)

### (1) 目 的

- ・子どもが安全に安心して明るく生活できる環境を作る

### (2) 内 容

- ・手洗い、消毒の習慣化、清潔感を養う (服装、身体)
- ・季節性感染症対策の徹底
- ・健康診断、定期保菌検査の実施
- ・環境整備 (施設、補修、整備、整理整頓、毎日の清掃)
- ・非常時 (火災、地震) 対策、訓練の実施
- ・交通安全の徹底 (自転車点検、補修、通学路の確認)
- ・環境美化活動 (子ども自身が安全面に配慮する、寮内外の環境美化、地域への奉仕活動)

## へ) 情 操

### (1) 目 的

- ・園芸や作物づくりなど土に触れる体験を通して、豊かな情緒を育む。

### (2) 内 容

- ・敷地内への樹木、草花の植栽
- ・農作物の栽培（じゃがいも、夏野菜など）

## 4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

### 1. 職 員 会 議

- (1) 職員会議 …………… 月 1 回
- (2) グループケース会議 …………… 月 1 回
- (3) 運営会議 …………… 月 1 回
- (4) 連絡会議 …………… 毎日 8:45及び13:15
- (5) 里親支援会議 …………… 月 1 回
- (6) 調理員会議 …………… 月 1 回
- (7) 施設内研修 …………… 月 1 回
- (8) 家庭支援会議 …………… 隔月 1 回：内原地区担当者との合同会議
- (9) リスクマネージャー会議 …… 隔月 1 回

### 2. 保健衛生及び安全管理

#### (1) 環 境 衛 生

- ア. 室内外の消毒 …………… 月 1 回
- イ. 寝具日光消毒 …………… 好天日随時
- ウ. 浴場消毒 …………… 毎 日
- エ. トイレ消毒 …………… 週 1 回
- オ. 食器消毒 …………… 毎 日

#### (2) 身 体 衛 生

- ア. 健康診断 …………… 学校保健法に準じて実施  
(嘱託医による・・・6月・12月の嘱託医来訪健診の他、随時医院にて実施。全児年間2回)
- イ. 身体測定 …………… 月 1 回
- ウ. 散髪 …………… 随 時
- エ. つめ切り …………… 週 1 回
- オ. 下着交換 …………… 毎 日
- カ. 入浴 …………… 毎 日
- キ. 児童保菌検査 …………… 月 1 回
- ク. 職員保菌検査 …………… 月 1 回

#### (3) 安 全 管 理

建物設備等点検…業者委託（総合建物サービス株式会社、（株）NEW NEXT CLEAN）

- ア. 空調機保守点検（年2回） 5月 11月
- イ. 換気設備保守点検（年2回） 5月 11月
- ウ. 受水槽清掃・水質検査（年1回） 6月
- エ. グリストラップ清掃（年2回） 6月 12月
- オ. 消防設備点検（機器点検・総合点検） 5月 11月
- カ. 巡回設備点検（年2回） 5月 11月
- キ. ダムウェーター点検（年6回） 奇数月

#### (4) 児 童 の 安 全

- ア. 避難訓練・・・月1回
- イ. 登下校時の送迎
- ウ. 環境整備・・・毎日（朝の連絡会議終了後）、月1回の環境美化活動
- エ. ヒヤリハットレポートによる未然事故の予防検討：毎月職員会議内にて
- オ. アルソックによる警備システム配備

## 5) 児童の支援計画

### ◎学習支援について

#### 1. 学習時間

平日：帰寮後 土曜日：個々の適正、課題、達成目標に応じて

#### 2. 内 容

- ・基礎学力養成のためドリル学習（小1～中3）

- ・学生ボランティアによる個別指導の活用
  - ・中学生以上は原則として学習塾を利用し、学力向上を目指す
  - ・進路相談：面接 中学3年生 随時（グループ長）  
                  中学1・2年生 随時（フロアー担当者）
  - ・進学適正、就業適正に関する助言（心理士）
3. 場所について
- ・各ユニットにて実施（居室・食堂）
4. 学校の準備、片付けの徹底

◎生活支援について

- 生活指導訓練費（小遣い）
  - ・小遣い帳を記入し金銭管理を教える
  - ・貯金の励行
  - ・有効な小遣いの使い方指導
- 誕生日
  - ・誕生日会は各ユニットで実施。希望の夕食を提供し、それぞれに家庭的な雰囲気の中で実施するよう心掛ける
- お年玉
  - ・全児童に対して支給する

6) 週間予定及び日課

1. 週間指導目標

日	衛生面確認（頭髪、爪、耳垢等） ※随時
月	登校児の確認（ハンカチ、ティッシュ、胸章、防犯ブザー等） ※毎日
火	入浴マナーの確認 ※随時
水	環境整備（寝具日光消毒、室内外清掃、消毒等） ※随時
木	安全確認 ※随時
金	上履き、靴洗い
土	基礎学力養成 ※毎日

2. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:30	起床・洗面		15:00	おやつ	おやつ
7:00	朝食		18:00	夕食	夕食
7:30		起床・洗面	19:00	入浴	入浴
7:45	登校(小中学生)	朝食	20:00	幼児就寝	幼児就寝
8:00					
8:15	登園(幼稚園)				
12:00	昼食	昼食	22:00	消灯・就寝	消灯・就寝

7) 職務分掌

- 生活支援
  - 子どもの意見反映 家庭との連携 関係機関との連携 地域交流
- 適正支援
  - 基礎学力養成 知的自立支援（リーダー、心理士）
- 環境（安全、保健、環境）整備
  - 避難訓練 連絡通報担当 初期消火担当 避難誘導担当 応急救護担当 保健担当
  - 書類搬出担当 安全点検 自転車点検 公用車管理 環境美化活動
- 会 議
  - 職員会議 ケース会議 運営会議 施設内研修 会議録管理
- 物品及び予算管理
  - 小口現金 教育費 教養娯楽 被服寝具 日用品 教育教材 保健衛生 事務用品
- 係
  - 個人情報管理者 処遇システム管理 研修委員 情報公開委員 親睦会
  - 学校関係 子ども会 学習塾 スポーツ少年団 県南西8施設研修 人材育成
  - 〈茨児協関係〉 児童厚生部 児童福祉部
  - 〈行事関係〉 個別レク 夏休み係 冬休み係

8) 令和2年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
保菌検査(児童・職員)	1	7	3	1	5	2	7	4	2	6	3	3
安全管理点検	30	31	30	31	31	30	30	29	30	31	28	30
非常時避難訓練	30	9	25	11	18	24	24	26	12	9	13	20

9) 令和2年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	26、30	誕生会	10	29	誕生会
5	2、23	誕生会		17、25	個別外出
	5	こどもの日	31	食事作り	
6	10	母の日	11	12	誕生会
	5、10、26、30	誕生会		8、19、20、21	個別外出
7	7、27	食事作り	12	7	誕生会
	21	父の日		18、19、29	個別外出
8	5、10、11、26	誕生会	1	24	クリスマス会
	7	七夕		6、7、27	誕生会
9	8、18	誕生会	2	4	初詣代替食事会
	10	縁日		21	誕生会
	17	個別外出		2	節分
9	20	夕涼み会	3	21、24	個別外出
	13、16、23	誕生会		20、25、30	誕生会
	6、17、23、26	個別外出		3	ひな祭り
				14	個別外出
				20、21	卒業祝い

10) 令和2年度資料

1. 職員の研修

	施設長	事務	指導員	保育士	心理士	調理員等	計
県・社協	2	2	13	9	1		27
団体			8	2			10
法人・施設	14	4	155	126	8	4	311
計	16	6	176	137	9	4	348

2. 児童構成 (R3.3.31現在)

区分 年令・学年	未就学児						小学生						中学生			高校生			他	計
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3		
男	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	2	2	1	2	2	0	1	1	0	15
女	0	1	2	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	2	0	1	0		12
計	0	1	2	1	2	3	0	1	0	0	2	3	2	3	4	0	2	1	0	27

3. 各月初日在籍及び入退園児童

[ ]内は停止

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	28	28	29	29	29	30	30	30	30	30	29	29	351
入 所 うち( )は初日入所	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4
退 所 うち( )は初日退所	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	5
月末在籍	28	29	29	29	30	30	30	30	30	29	29	27	350

4. 入寮理由別表

入 所 理 由	男	女	計
1. 父又は母の 死亡			
2. " 行方不明	2		2
3. " 離婚			
4. " 不和			
5. " 拘禁	1	2	3
6. " 入院	1	1	2
7. " 就労			
8. " 精神疾患等	2	3	5

10. 虐待・酷使	3	4	7
11. 棄児	1		1
12. 養育拒否			
13. 破産等の経済的理由			
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他		1	1
合計	17	15	32

5. 退寮理由別表

退 園 理 由	男	女	計
1. 自立（就職）	0	0	0
2. 進学（大学・専門学校）	1	0	1
3. 措置変更	1	0	1
4. 里親委託	1	0	1
5. 家庭引取り	1	1	2
合計	4	1	5

6. ショートステイ受入状況（延べ人数・日数）

牛久市 1名 4日  
つくば市 1名 4日

7. 栄養投与状況

◎嗜好調査 …………… 毎月、誕生月の児童に対して実施（お誕生日メニュー）  
令和2年9月在籍児童に嗜好調査アンケート実施  
（アンケートについて年少児童は職員の介助による。）

1. 食 費 1日当り 698 円（原材料費）  
2. 熱 量 2,095 Kcal（基 準 1,931 Kcal）  
3. たん白質 72.6 g（基 準 48.3～96.8 g）

11) 茨城県フォスタリング事業・里親制度等普及促進・リクルート事業 実施状況

里親リクルーター活動実績

- ・関係各機関への事業説明（土浦・筑西児童相談所、管内市町村、児童福祉施設、社協、保健センター）
- ・各種SNSを利用した活動報告と情報提供
- ・令和2年度里親制度説明会の開催（つくば香風寮）
- ・民生委員・児童委員大正の里親制度説明（桜川市、五霞町、石岡市、利根町、稲敷市）
- ・青少年相談員対象の里親制度説明（神栖市、行方市）
- ・学生向け里親制度説明（茨城女子短期大学）
- ・茨城県民球団「茨城アストロプラネッツ」公式戦でのチラシ配布
- ・利根町地場産業フェスティバルでのチラシ配布
- ・管轄市町村広報誌への広報記事掲載（22市町村実施）
- ・管轄市町村での里親制度パネル展の開催（6市町村実施）
- ・新聞の折り込み広告、新聞等記事掲載（茨城新聞、朝日新聞、読売タウンニュース）
- ・CATVの番組表へのチラシ封入（ACCS）
- ・テレビ・AM・FM等での広報活動（結城筑西ケーブルテレビの静止画CM、茨城放送、つくばコミュニティ放送、ちゃんみよTV、いばキラTVへの出演）
- ・地域小売店店頭でのポスター掲示とチラシの設置（（株）山新、（株）ウェルシア薬局、（株）カワチ薬品、（株）千葉薬品、（株）サンドラッグ）
- ・広報啓発配布物の作成と配布（チラシ、パンフレット、ポスター等）
- ・普及啓発部品の作成と配布（ティッシュ、うちわ、クリアファイル等）
- ・里親制度の個別相談対応とガイダンスの同席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ガイダンス	0	0	3	3	4	0	0	1	0	0	2	3	16
来寮説明	0	0	6	0	1	2	0	0	4	0	1	1	15
問い合わせ	0	3	6	7	3	4	16	5	5	2	2	5	58



入園理由別総計表（つくば香風寮）

入園理由	平成23	24	合計
父または母の死亡	1	1	2
” 行方不明			-
” 離婚・就労	7	7	14
” 傷病・入院		1	1
” 精神疾患	2	2	4
” 受刑	5	3	8
” 被虐待・被冷遇	12	17	29
その他・未成年等			-
計	27	31	58

入園理由	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	合計
父又は母の死亡												0
” 行方不明					1	3	2	2				8
” 離婚	4	3	3	3	1	1						15
” 不和	1			1	2	1						5
” 拘禁	3	5	4	3	3		3	3				24
” 入院			1	1	1	1	2	2				8
” 就労												0
” 精神疾患等	7	6	4	2	3	4	5	5				36
” 放任・怠惰	3	6	4	6	7	9	9	11				55
” 虐待・酷使	5	11	12	13	14	6	7	7				75
棄児			1	1	1	2	1	1				7
養育拒否		1		1	1	3	2					8
破産等の経済的理由	1			1								2
児童の問題による監護困難	1						1					2
その他の	1	2	1		2		2	1				9
計	26	34	30	32	36	30	34	32				254

※平成25年度より集計項目変更

## 12. 乳児院 同仁会乳児院

### 1) 令和3年度運営計画

秋からの大規模修繕が開始予定となっており、約10か月の仮住まいの生活が始まります。借家への引っ越し準備や日課・業務内容変更、ユニットケアに向けての勤務体制作り、職員連携、権利擁護など今後進めていくべき課題は山積しています。そのための具体的な計画を策定する重要な年度となります。

昨年度はコロナ禍で行事の中止、保護者の面会制限、職員研修も十分にできない等大変な状況でしたが、今年度も感染症予防対策を踏まえながら、施設運営を行ってまいります。また、昨年度受審した第三者評価結果を踏まえ、施設の組織作り、職員の意識の統一乳児院の高機能化、多機能化に向けた地域支援のあり方も将来を見据えて検討していかなければならないと考えています。

以上のことを踏まえ、次の事項を運営計画といたします。

#### 1 福祉サービスの向上

- (1) ユニットに向けた個別時間、少人数で過ごすプログラムの充実
- (2) 養育の連続性を見据えアフターケアとライフストーリーワークの充実
- (3) 早期家庭復帰に向けた家庭支援プログラムの構築
- (4) 地域子育て支援事業への協力（高萩市すこやか健診、子育て支援事業に職員派遣）

#### 2 組織体制の強化

- (1) 支援における職員相互の共有と理解（報告、相談、連絡の強化）
- (2) ユニットケアに向けた勤務体制や権利擁護等の体制作り
- (3) 第三者評価による自己評価の実施
- (4) 職員間強化のためバディ制度の継続延長

#### 3 人材育成

- (1) 外部機関への積極的参加による職員育成（保護者対応、ケースカンファレンス）
- (2) 園内研修（初任者研修）の充実と外部研修への積極的参加
- (3) ユニットケアに向けての学習会の充実
- (4) ボランティアの積極的な受け入れ
- (5) 人事考課の継続実施

#### 4 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行とコスト意識の徹底
- (2) 省エネの実践とエコロジーの推進

### 2) 運営の概況

昨年度の入所は6名、退所は6名、在籍率は約8割でした。一時保護6名のうち3名が入所になっています。退所児童4名は施設への措置変更、2名は里親委託となっております。

国の養育の流れは施設中心から家庭養育、里親養育の方向性が示されて、今年度中に3歳を迎える幼児7名の内、3名は養育里親の方向で調整しております。今後益々、里親委託児童が増加していく中で、里親マッチングや里親支援など里親支援専門相談員ばかりでなく施設全体で行う業務となってきています。また、乳児院の多機能化、高機能化に向けて地域の子育て支援や特定妊婦支援など産前産後のケアにも関わっていくこととなります。

さらに施設のユニット化を進める中で障害児や病虚弱児の受け入れ体制についても今後の課題であり職員のスキルアップが求められ、職員研修や人材育成に力を入れていく所存です。

また、来年度から開始予定のユニットケアに向けて職員一丸となり、滞りなく準備を進めてまいります。

今年度も地域の皆様、関係機関の皆様と共に子どもたちのより良い安全、安心を目指して運営してまいります。

### 3) 児童処遇の状況

#### イ) 基本方針

子ども達の生活が安全で安心なものになるよう次のことに努力していきます。

1. 「愛着関係の形成」を重視した個別対応や小グループでの養育を行います。
2. 子ども達がよりよい生活を送ることができるよう、環境の整備を行います。
3. 家庭支援専門相談員を中心に、子ども・家庭・地域等の総合的な調整を図り、里親委託を含めた早期家庭復帰支援を行います。
4. 心理療法担当職員による専門的な関わりや、家族の心理的不安の軽減に努めます。
5. 里親支援専門相談員を中心として、地域の里親支援を行います。
6. 職員の研修機会を多くし、子ども達の処遇向上に努めます。
7. 子どもの成長に合わせた食育の計画及び実践を行います。

## ロ) 基本的目標

法人理念 「合掌深敬」 感謝と共生の心

法人理念・綱領を實踐し、乳幼児が養育者と共に、時と所を共有し、共感し、応答性のある環境の中で、生理的・心理的・社会的に豊かな人間関係を培い、社会の一員として参画できる基礎作りを目指します。

## ハ) 養育目標

1. 基本的生活習慣の確立 …… 個々の発達段階をふまえて一貫した養育を行う。
  - 0 才 児 …… ミルクの自律栄養、離乳食（食べる意欲の基礎づくり）、寝返り、お座りの練習、這い這い、つかまり立ち、つたい歩き。
  - 1 才 児 …… 食事の練習（スプーン・フォーク・コップ飲み等、食べる意欲を大切に育てる）、つたい歩きから歩行の完成、歯みがきの練習、排泄への意識づけ。
  - 2 才 児 …… 食事の自立（食の体験を広げる）、言語の獲得（単語より二語文へ、また会話ができる）、排泄の自立に向けての練習、簡単な着脱の練習、歯みがきの練習。
  - 3 才 児 …… 食事は自立するが個人差や偏食がでやすいので楽しい雰囲気心を心がける、自我も確立する時期（個々の興味や自発性を大切にすること）自分の気持ちを伝えられるようになり、相手の気持ちも分かるように職員は仲立ちとなる。
2. 基礎体力の増進 …………… 身体の鍛練をする。  
ベビーマッサージや乳児体操の実施と薄着の習慣付けをする。
3. 情緒の安定  
落ちついた環境でおだやかな働きかけを行い、基本的欲求を満たす。  
社会生活への適応性の涵養に心がける。
4. 生活支援  
基本的生活習慣を身につけると共に、子どもの持っている素質を充分にのばす。

## 4) 運 営

### 1. 職務分掌

- |              |                |            |                |
|--------------|----------------|------------|----------------|
| 1. 被服(寝具等含む) | 2. 日用品         | 3. 保健衛生    | 4. 教養娯楽        |
| 5. 消耗品       | 6. 環境製作(手作り玩具) |            | 7. 器具・什器       |
| 8. 環境美化      | 9. 環境整備        | 10. 院車管理   | 11. 防火管理       |
| 12. ボランティア   | 13. 事務用品管理     | 14. 実習生指導  | 15. 給食(ミルク等管理) |
| 16. 諸記録用紙管理  | 17. スマイルタイム    | 18. 親睦会    | 19. 院内学習会担当    |
| 20. パソコン担当   | 21. ブログ担当      | 22. 保護者会担当 |                |

### 2. 職員会議

1. 職員会議(管理・運営全般・・・月1回)
2. 運営会議(管理・運営全般・・・月1回)
3. 養育会議(ケース検討、保育内容、乳幼児の健康管理・・・月1回)
4. 献立会議(献立、離乳食の検討、調理業務内容の検討・・・月1回)
5. グループ会議(各グループのケース検討、保育内容等・・・月1回)
6. 連絡会議(朝・夕の業務引継・・・毎日)
7. 看護会議(看護師間の連絡調整・・・年4回)
8. 五者会議(家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、個別対応職員、看護師、心理士・・・月1回)
9. 施設内研修(学習会・・・月1回)

### 3. 保健衛生及び安全管理

1. 定期検診の実施  
月例健診 …… 月1回(嘱託医 内田さく先生)  
検 便 …… 年2回(株式会社 江東微生物研究所)  
乳幼児検診 …… 随 時  
入所時検診 …… //
2. 身体計測の実施 …… 月1回(身長、体重、頭囲、胸囲)
3. 身体衛生の実施 (入浴、爪切り、耳掃除、着衣清潔、手洗い、歯磨、整髪)
4. 環境衛生の管理 (便所清掃消毒、寝具日光消毒、敷布カバー交換、カーテン洗濯、玩具消毒、室温湿度調節、換気、防虫)
5. 感染予防 (感染源との隔離、消毒)
6. 鍛 練 (薄着の励行、乳児体操、ベビーマッサージ、外気浴、体育遊び等)
7. 安全な環境の確保と充分な目配り

8. 玩具等の保安全管理点検
9. 事故防止と安全（窒息、転倒、転落、かみつき、ヒヤリ・ハットの記録と検証）
10. 院内外危険箇所等の確認及び保全点検 … 月1回
11. 非常時（火災・地震）対策・訓練の実施 … 月1回
12. 非常時、(株)総合警備保障に通報契約
13. 建物設備等点検 … 業者委託
  - ① 電気設備検査（伊藤電気管理事務所） …… 月1回
  - ② 自動火災報知器の検査（作業検査） …… 年1回
  - ③ 非常通報装置の点検 …… 年1回
  - ④ ガス湯沸器清掃点検 …… 年2回
  - ⑤ スプリンクラーの点検 …… 年1回
  - ⑥ エレベーターの点検 …… 月1回

## 5) 養育の展開

### ① 担当制

担当は入所から退所まで原則として変えない。

担当者は担当児との愛着関係を結び、安定した生活を送れるようにする。

### ② 指導計画・自立支援計画

子どもの成長、発達を支援するため、アセスメントシートを活用し、担当者が毎月、月目標と留意点を作成し、グループ会議で関わり方など話し合い、養育会議でカンファレンスを行う。

### ③ 健康管理

嘱託医、市保健センターなどの指導を受け、健康管理を行う。

### ④ 生活

日中はなるべく小グループにし、個別的な対応を多く持つなど工夫する。

養育手順マニュアルに沿った養育をする。

### ⑤ 日中の保育の充実

年間保育目標（別表）月案、週案に基づき、日中の保育を行う。

### ⑥ 年間保育行事計画に基づく行事（別表）

### ⑦ 定期的行事

- ・ 肥前山へのお参り…入所後の健やかな成長を祈願する。1か月未満児はお宮参りを兼ねる。
- ・ お食い初め…生後3～4ヶ月の間  
伝承行事。一生丈夫で、また、食べ物に困らないようにという願いを込めて行う。
- ・ 誕生会…誕生日を迎えたその日にみんなでお祝いをする。また、満1歳の誕生児には一升餅を背負わせお祝いをする。
- ・ スキンシップデー… 該当月（担当職員と1日、1対1で過ごす）
  - 《1歳》  
担当者と1対1でスキンシップを図る。
  - 《1歳6か月》  
社会体験の一つとして担当者と外出し、公園で遊んだり散歩をしたりしてスキンシップを図る。
  - 《2歳・2歳6か月》 ※3歳超過児は半年ごと  
家庭復帰に向けた社会体験の一つとして、担当者と外出しバスや電車の体験・レストランでの食事・図書館やお店の見学・おもちゃの買い物などを体験させる。
- ・ クッキングデー…月1回（さくらグループ）  
家庭的な雰囲気の中で簡単なおやつや、食事を作り、手作りの楽しさやおいしさを味わう。また、野菜や果物の原物を見たり、触れたりすることで食べる意欲を高める。栄養士による企画は、季節ごとに年4回実施。
- ・ 買い物体験…行けるときいつでも（さくらグループ）  
家庭復帰に向けた社会経験の一つとして、さくら組の子ども達を対象に自分でお金を払って物を買う体験をさせる。併せて、その体験を通し満足感を味わうとともに、物を大切にすることを養う。
- ・ ハッピーデー…5月 9月  
時間に制約されず十分に遊び、軽い食事をする。
- ・ 外食体験…年6回  
レストランでの外食体験を楽しむ。
- ・ 臨海学園、同仁会子どもホームとの交流  
学園の幼児とは日常的に遊びの交流を行う。また、兄弟のいる子どもに対しては積極的に交流の場を設ける。
- ・ キフトへの参加  
同仁会地域子育て支援事業に参加し、地域の親子と交流する。

- ・同仁会子どもセンター『にこにこまつり』  
保護者・地域の方々・関係機関を招待し、感謝を表す。
- ・保護者会  
子どもの日、クリスマス会の行事に参加してもらい、職員との交流を図る。
- ・励ます会  
乳児院から巣立っていく子どもの新しい生活をみんなで励ます。

⑧日 課

時間	たんぽぽ組	さくら組	時間	たんぽぽ組	さくら組
6:00	起床 検温・着替え	起床 検温・着替え	14:00	起床 検温	起床
7:30	授乳 自由遊び	朝食 自由遊び	14:30	授乳・離乳食	間食
9:15	職員朝礼	職員朝礼	15:00	入浴	あそび
9:30	授乳 離乳食	間食	16:00	あそび	あそび
10:00	あそび	あそび	17:00	職員終礼	職員終礼
11:30	授乳	昼食	17:30	あそび	夕食
12:00	午睡		18:30	授乳	入浴
12:30		午睡	19:00	就寝	就寝
			20:00		
			23:00	授乳	

6) 令和2年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身体測定	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
月例健診	21	19	23	21	25	8	20	17	15	19	16	16
児童・職員の保菌検査	13	11	8	13	11	14	12	9	14	12	8	8
安全管理点検	22	27	24	29	26	23	28	25	23	27	24	17
非常時避難訓練	22	31	14	31	31	13	31	27	12	31	28	30

7) 令和2年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	3	誕生会	8	4	スキンシップデー
	16	お食い初め、お宮参り		14、17、18、25	外食体験（院内食事）
	17	クッキングデー		24	クッキングデー
	19、22	院外保育（スキンシップ）		26	花火大会
	26	院外保育（スキンシップ）			
	30	励ます会			
5	1	励ます会	9	15	クッキングデー
	5	子どもの日の集い		16、26	誕生会
	20	クッキングデー		23	院外保育（かみね公園）
	27	スキンシップデー		29	お食い初め、お宮参り
6	9、26	誕生会	10	30	院外保育（かみね公園）
	12	クッキングデー		15	院外保育（かみね公園）
	11、24	院外保育（海）		19	クッキングデー
7	1、27	誕生会	11	2、6、28	スキンシップデー
	3	栄養士によるクッキングデー		30	院外保育（海）
	7	七夕の集い		2	院外保育（海）
	13、14、18、31	外食体験（院内食事）		3、5、29	誕生会
	29	花火大会		13、14	七五三
	30	クッキングデー	12	クッキングデー	
12	2、6	誕生会	2	6	お食い初め
	11	クッキングデー		6	栄養士によるクッキングデー
	1、3、15、25	スキンシップデー		7、9、27	スキンシップデー
	14	お食い初め、お宮参り		1	クッキングデー
	18	励ます会		2	節分の集い
	23	クリスマス会	26	栄養士によるクッキングデー	
1	5、8、12	初詣	3	3	ひなまつり、初節句
	6、30	誕生会		11	クッキングデー
	9	クッキングデー		17	お楽しみ会
	13、15、20、27	スキンシップデー		30	励ます会
	29	栄養士によるクッキングデー			

## 8) 令和2年度資料

### 1. 職員の研修

	院長	事務	看護師	保育士	指導員	FSW	里親支	栄養士	心理士	調理員	計
団体		2	3	4	2	1			1		13
県社協・東社協・茨児協	1	1	2	7				1	1		13
法人・施設	6	4	21	89	14	1	9	8	9	9	170
計	7	7	26	100	16	2	9	9	11	9	196

### 2. 児童構成 (R3.3.31現在)

性別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
男	4	1	4	0			9
女	1	3	3	0			7
計	5	4	7	0			16

### 3. 各月初日在籍及び入退所児童

[ ]は停止

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	17	14	14	14	15	15	16	18	18	16	16	17	190
入所 うち( )は初日入所		1		1		1	2					1	6
退所 うち( )は初日退所	1	2							2			1 (1)	6
月末在籍	16	14	14	15	15	16	18	18	16	16	16	16	190

### 4. 入院理由別表

入院理由	男	女	計
1. 父又は母の死亡			
2. // 行方不明			
3. // 離婚			
4. // 不和			
5. // 拘禁		1	1
6. // 入院			
7. // 就労		2	2
8. // 精神疾患等	4		4
9. // 放任・怠惰		2	2
10. // 虐待・酷使	3		3
11. 棄児			
12. 養育拒否		2	2
13. 破産等の経済的理由			
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他(育児能力 若年出産等)	4	4	8
16. 不詳			
合計	11	11	22

### 5. 退院理由別表

退院理由	男	女	計
1. 親元解除	0	0	0
2. 里親委託	0	2	2
3. 措置変更	2	2	4
合計	2	4	6

### 6. 在院期間 (R3.3.31現在)

1年未満	2年未満	2年以上	3年以上	計
5	4	7		16

### 7. 一時保護入所状況

人数 6名  
延べ日数 160日

8. ショートステイ受入状況

延べ人数 8名  
延べ日数 24日

9. レスパイトケア

延べ人数 0名  
延べ日数 0日

10. 育児体験教室（スマイルタイム）

コロナ感染予防のため中止

実施回数 0回  
延べ人数 0名

11. 栄養摂取状況

1. 食費 1日当たり 650円
2. エネルギー 1,249Kcal（基準 900～1,300Kcal）
3. たん白質 36.7g（基準 29.3～65g）
4. 嗜好調査 毎月誕生月の幼児に対して実施







## 13. 乳児院 さくらの森乳児院

### 1) 令和3年度運営計画

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、保護者の面会停止や子どもたち自身の外出ができない期間が長くなってしまい、さくらの森乳児院として大事にしている「保護者と共に育てていく」「豊かな体験による社会性の獲得」ということの実施が難しかった。令和3年度は感染防止に配慮しながらも家族との関係構築や体験の機会を増やすといったことに取り組んでいきます。

また、昨年受診した第三者評価で指摘された「組織性を意識した人材の育成」や「各種マニュアルの作成」について研修の機会を多く持ち、一体感のある組織運営を目指して人材育成に役立てていきます。

#### 1 福祉サービスの質の向上

- (1) 関係機関との連携による丁寧な移行支援
- (2) アセスメントに基づく個別養育の充実と一時保護児の細やかなアセスメント
- (3) 家庭支援専門相談員を中心とした家庭支援の充実
- (4) 里親支援専門相談員を中心とした地域里親支援の充実
- (5) 食育の推進（季節(旬)を意識した食事作り、誕生日のお好み献立、野菜などの栽培）

#### 2 人材の育成

- (1) 法人研修や外部研修 への積極的な参加
- (2) 年間計画に基づく学習会の実施
- (3) 組織性を意識した人材の育成
- (4) 人事考課制度の継続実施
- (5) 養育マニュアルの見直し・作成
- (6) つくば香風寮との職員交換研修の実施

#### 3 組織体制の確立

- (1) 自己評価の実施
- (2) スーパーバイズ体制の活性化による養育支援の質の向上
- (3) 職員間の協力体制の強化（情報の共有・報告・連絡・相談）
- (4) ボランティアの計画的な受け入れ（里親応援講座受講者を主な対象とする）

#### 4 関係機関等との連携

- (1) 児童相談所との連携強化（保護者支援、里親支援など）
- (2) 市町村との連携（情報共有と支援の協働・育児物品等の支援）
- (3) つくば香風寮との交流、連携（合同行事の実施、措置変更児童の継続的支援など）
- (4) 養成校の学生の積極的な受け入れ

#### 5 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行
- (2) 職員のコスト意識の徹底

### 2) 運営の概況

昨年度は8名の入所がありました。そのうち6名が虐待を主訴とするもので、残りの2名は保護者の精神疾患によるものでした。入所児全体を見ても半数以上が虐待を主訴とするもので、残りのほとんどが保護者の精神疾患となっており、年々その割合が増えています。退所は5名で、内訳は措置変更が1名、里親委託が2名、家庭引き取りが2名となっています。昨年度は新型コロナウイルスの影響で面会等を停止していた期間が長く、家庭引き取りを検討していたケースの動きが鈍く、面会できないことにより保護者の意欲が減退してしまったケースもあり、新たな課題となっています。一時保護は11名で、その多くが虐待を主訴とするものでした。近年、一時保護期間の長期化が目立っており、11名の平均保護期間が約55日となっています。多くの被虐待児に対応するために入所児のアセスメントを強化し、受容的な関わりで子どもたちの安心感を高める養育を行ってきましたが、専門性を高めるために必要な研修の多くがコロナ過のため中止・変更となってしまう、経験年数の浅い職員へどのように知識やスキルを伝えていくかが課題となっています。また、昨年度立ち上げた「さくらの会」もコロナ過のため中止となっており、コロナ過の中で新たな運営を検討・実践していくことを模索しています。

#### イ) 基本方針

乳児院における養育の基本は、乳幼児が養育者と時と場所を共有して、共感し、応答性のある

環境の中で、生理的・心理的・社会的に要求が満たされることである。さらに、在院期間だけの養育過程ではなく「生涯」にわたる人間形成の基礎を築き、子どもが生きる力を培い、生きがいのある人生を切り開いていく土台としての役割を担うものである。

具体的には、子どもたちの生活が安全で安心なものになるよう次のことに努力する。

1. 「愛着関係の形成」を重視した個別的対応や、小規模グループでの養育を行う。
2. 子どもたちがよりよい生活を送ることができるよう、人的な環境の整備を行う。
3. 子ども、家庭、地域等の総合的な調整を図り、里親委託を含めた早期家庭復帰支援を行う。
4. 心理療法担当職員が発達検査をしてその子に応じた発達支援を行うと共に、保護者対応のための助言を行う。
5. 里親支援専門相談員を中心として地域の里親支援を行う。
6. 積極的に研修に参加して、職員の養育技術向上に努める。
7. 家庭や、地域社会との連携を密にして、豊かな人間関係の基礎を培う。
8. 子どもの成長に合わせた食育の計画及び実践を行う。

#### ロ) 基本目標

○「子どもの人権を守る」という権利擁護の意識を常に持ちながら、対人援助サービスの基本であるS・G・N・Tを実践し、子どもが豊かな感性を涵養できるよう援助・支援する。

- 1 S (Smile) 笑顔  
常に笑顔で接する。(和顔愛語)
- 2 G (Greeting) 挨拶  
常に明るくあいさつをする。(あなたに関心があります)
- 3 N (Name) 名前  
必ず子どもの名前を呼ぶ。(あなたのことを知っています)
- 4 T (Thanks) 感謝  
「ありがとう」の気持ちをたくさん伝える。(あなたを必要としています)

#### ハ) 養育目標

1. 「愛着関係」を形成する。  
担当養育者を中心に、一貫性を持った養育を行う。  
0歳・・・気持ちに寄り添ってさまざまな要求を読み取り、あるがままを受けとめ、基本的な信頼関係を育てる。  
1歳・・・「やりたい」という気持ちの芽生えを大事にして、できた満足感を味あわせるとともに、新しい体験(初めて会う人や場所など)への不安を受けとめて、安心して行動できるように支える。  
2歳・・・「自分で」という気持ちを大事にして、今まで培ってきた愛着関係を基盤に、まわりの物や、未知の物に自分から働きかけていけるようにゆるやかに自立を促す。
2. 基本的な生活習慣のゆるやかな確立  
個々の発達段階を踏まえた養育を行う。  
0歳・・・ミルクの自律栄養、離乳食(食べる意欲の基礎づくり)、寝返り、お座りの練習、這い這い、つかまり立ち、つたい歩き。  
1歳・・・食事の練習(スプーン・フォーク・コップ飲み等、食べる意欲を大切に育てる)つたい歩きから歩行の完成、歯みがきの練習、排泄への興味。  
2歳・・・食事の自立(食の体験を広げる)、言語の獲得(単語から二語文へ、また会話ができる)、排泄の意識づけ、簡単な着脱の練習、歯みがきの練習。

### 3) 運 営

#### 1. 職務分掌

- |           |              |          |          |
|-----------|--------------|----------|----------|
| 1. 消耗品    | 2. 器具・什器     | 3. 修繕    | 4. 給食    |
| 5. 保健衛生   | 6. 被服        | 7. 教養娯楽  | 8. 日用品   |
| 9. 保育材料   | 10. 公用車管理    | 11. 防火管理 | 12. 環境美化 |
| 13. 実習生指導 | 14. ボランティア担当 |          |          |

#### 2. 職員会議

1. 職員会議(管理・運営全般・・・月1回)
2. 運営会議(管理・運営全般・・・月1回)
3. 養育会議(ケース検討、養育内容、乳幼児の健康管理・・・月1回)
4. 献立会議(献立、離乳食の検討、調理業務内容の検討・・・月1回)

5. グループ会議（各グループのケース検討、養育内容等・・・月1回）
6. ケース会議（入所後1ヶ月経過時、半年経過時及び必要な時にアセスメントを行う）
7. 連絡会議（朝・夕の業務引継・・・毎日）
8. リーダー会議（グループ間の連絡調整・・・月1回）
9. 看護会議（看護師間の連絡調整・・・月1回 その他必要な時）
10. 調理室会議・・・月1回
11. 職場内研修（学習会・・・月1回）
12. 家庭支援会議（法人内担当者の合同会議・・・月1回）
13. つくば地区里親支援会議・・・月1回

### 3. 保健衛生及び安全管理

#### 1. 定期検診の実施

- 月例健診・・・月1回（嘱託医 池野美恵子先生）
- 保菌検査・・・年2回（江東微生物研究所） ※調理・給食・直接処遇職員は月1回
- 乳幼児検診・・・随時
- 入所時検診・・・随時

#### 2. 身体計測の実施・・・月1回（身長、体重、頭囲、胸囲）

#### 3. 身体衛生の実施（入浴、爪切り、耳掃除、着衣清潔、手洗い、歯磨き、整髪）

#### 4. 環境衛生の管理（便所清掃消毒、寝具日光消毒、敷布カバー交換、カーテン洗濯、玩具消毒、室温湿度調節、換気、防虫）

#### 5. 感染予防（感染源との隔離、消毒）

#### 6. 鍛錬（薄着の励行、ベビーマッサージ、日光浴、外気浴、体育あそび等）

#### 7. 安全な環境の確保と十分な目配り

#### 8. 玩具等の保安全管理点検

#### 9. 事故防止と安全（窒息、転倒、転落、かみつき）

#### 10. 施設内外の危険箇所等の確認及び保全点検・・・月2回

#### 11. 非常時（火災・地震・不審者）対策、訓練の実施・・・月1回

#### 12. 建物設備等点検・・・業者委託（総合建物サービス株式会社・NEW NEXT CLEAN）

##### ① 空調機保守点検（年2回）

##### ② 換気設備保守点検（年2回）

##### ③ 受水槽清掃・水質検査（年1回）

##### ④ グリストラップ清掃（年2回）

##### ⑤ 消防設備点検（機器点検・総合点検）（年2回）

##### ⑥ 巡回設備点検（年2回）

## 4) 養育の展開

### 1. 担当養育制

- ・養育者が受けもつ子どもを決めて、入所から退所まで原則として変えない。
- ・養育者は受けもつ子どもとの愛着関係を結び、安定した生活を送れるようにする。
- ・保護者に共感的に寄り添い子どもとの関係構築を支え、養育支援を行う。

### 2. 自立支援計画

- ・子どもの成長、発達を支援するため、担当養育者は2ヶ月毎に自立支援計画を作成し、評価・反省を行う。

### 3. 健康管理

- ・嘱託医、市保健センターなどの指導を受け、健康管理を行う。

### 4. 生活

- ・小規模グループケアを行い、個別的な対応を多く持つ。
- ・養育マニュアルを基本とし、個々の発達に応じた養育をする。

### 5. 日中の養育の充実

- ・年間養育目標、月案に基づいて、豊かにあそびを展開する。  
（あそびを通じて運動能力、知的発達、手指の操作性、他者との関係能力などを高めていく）

### 6. 行事

#### ① 季節、伝承の行事

- ・お宮参り …… 生後1ヶ月頃  
氏神様に無事に生まれた報告をし、健やかな成長を願う。

- ・氏神様へのお参り …… 生後2ヵ月以上で入所した児  
氏神様に乳児院へ入所したことを報告し、健やかな成長を願う。
- ・お食い初め …… 生後3～4ヶ月  
一生食することに困らないようにという願いを込めて行う。
- ・一升餅 …… 1歳の誕生日に  
1歳まで無事成長したことを祝い、これからも健やかに成長することを願って、餅（一升の米）を背負わせる。
- ・こどもの日（5月5日） ・七夕（7月7日） ・花火（7月）
- ・ハロウィンパーティー（10月31日頃）
- ・七五三（11月15日） ・クリスマス（12月23日） ・節分（2月2日）
- ・ひなまつり（3月3日） ・おたのしみ会（3月最終木曜日）

② その他の行事

- ・誕生会 …… 誕生日を迎えたその日にグループでお祝いする。  
保護者の希望など状況によっては家族だけでお祝いする。
- ・動物園遠足（春） 水族館遠足（秋）
- ・スキンシップデー  
社会体験の一つとして、担当養育者と外出し、公園で遊んだり、外でお弁当を食べたり、公共交通機関の利用や外食、お店見学、買い物などを体験する。また、担当養育者とお泊まり体験をして家庭的な雰囲気を楽しむ。
- ・つくば香風寮との交流  
児童養護施設の幼児と日常的に遊びの交流を行う。また、兄弟のいる子どもに対しては、積極的に交流の場を設ける。
- ・お別れ会  
乳児院を巣立っていく子どもの新しい生活をみんなで励ます。

7. 日課

時間	乳 児	幼 児	時間	乳 児	幼 児
5:00			13:00	めざめ	
6:00	めざめ	めざめ	14:00	あそび 離乳食	めざめ おやつ あそび
7:00	検温、授乳 あそび	朝食	15:00	あそび	
8:00		あそび	16:00	あそび 入浴	
9:00	離乳食		17:00		夕食 入浴
10:00			18:00	就寝準備	
11:00	午睡	昼食	19:00	就寝	就寝準備
12:00		午睡	20:00		就寝

5) 令和2年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身体測定	27	25	29	27	31	28	26	30	28	25	22	29
月例健診	3	-	5	3	7	4	2	6	4	8	5	5
保菌検査(職員)	8	7	3	1	5	2	7	4	2	6	3	3
保菌検査(児童)						2					3	
安全管理点検	2	5	4	9	6	4	1	6	3	7	4	4
	23	21	18	30	20	17	15	25	24	20	25	25
非常時避難訓練	23	9	20	31	18	19	24	26	12	9	13	20

※5月の月例健診は緊急事態宣言のため実施せず

6) 令和2年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	19, 24, 26, 27 18	スキンシップデー 誕生会 かみね動物園遠足	10	6, 9, 19 5, 13, 14, 21 31 29	誕生会 スキンシップ ハロウィン 動物園
5	4, 24 5 13, 14, 26, 28	誕生会 こどもの日の集い かみね動物園遠足 香風寮と交流レク スキンシップデー	11	12 15 2, 18, 30 2, 11	お食い初め 七五三 スキンシップデー 誕生日 動物園
6	8, 15, 19, 26	スキンシップデー	12	1, 7, 15, 16 23 29	スキンシップデー クリスマス会 誕生日
7	7 13, 15 30 30 2, 23	七夕 スキンシップデー 花火大会 夏祭り(院内) 誕生日	1	13, 15, 20, 21	スキンシップデー
8	18, 25, 28 13, 15 26	スキンシップデー 誕生会 お食い初め	2	8, 17, 22, 24, 25 2	スキンシップデー 節分
9	8, 13, 14 4 15, 26	スキンシップデー 夕涼み会 誕生会	3	3 1, 8, 11, 15, 16, 14 25	ひな祭り スキンシップデー お食い初め お楽しみ会

7) 令和2年度資料

1. 職員の研修

	施設長	事 務	看護師	保育士	指導員	栄養士	心 理	調理員	計
団 体	1	0	3	2	1	0	0	0	7
県・社協	2	2	3	10	0	1	0	2	20
法人・施設	14	14	47	132	21	13	10	26	277
計	17	16	53	144	22	14	10	28	304

2. 児童構成 (R3. 3. 31現在)

性 別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	計
男	0	6	2	1	0	9
女	4	1	2	1	1	9
計	4	7	4	2	1	18

3. 各月初日在籍及び入退所児童

[ ]は停止

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	15	15	14	18	18	18 [1]	17	17	16	16	19	19	202
入 所 うち( )は初日入所			4				1			1	2 (2)		8
退 所 うち( )は初日退所		1				1	1	1				1	5
月末在籍	15	14	18	18	18	17	17	16	16	17	19	18	203

4. 入院理由別表

入 院 理 由	男	女	計
1. 父又は母の 死亡			0
2. " 行方不明			0
3. " 離婚			0
4. " 不和			0
5. " 拘禁			0
6. " 入院			0
7. " 就労			0
8. " 精神疾患等	5	3	8

9.	〃	放任・怠惰	1		1
10.	〃	虐待・酷使	6	6	12
11.		棄児			0
12.		養育拒否			0
13.		破産等の経済的理由		1	1
14.		児童の問題による監護困難			0
15.		その他	1		1
16.		不詳			0
合 計			13	10	23

5. 退院理由別表

退 院 理 由		男	女	計
1.	親 元 解 除	2	0	2
2.	里 親 委 託	0	2	2
3.	措 置 変 更	0	1	1
合 計		2	3	5

6. 在院期間 (R3.3.31現在)

1年未満	2年未満	2年以上	3年以上	計
8	5	5	0	18

7. 一時保護入所状況

人 数 11名  
延べ日数 603日

8. ショートステイ受入状況

牛久市 1名  
計 1名 (延べ日数 4日)

9. 栄養投与状況

1. 食 費 1日当たり 550円  
2. 熱 量 1,108Kcal (基準 937Kcal)  
3. たん白質 39.6g (基準 24.6g~46.9g)

入園児童の出身地別の推移（さくらの森乳児院）

児相	年	度	1906	24	25	26	27	28	29	30	合計
甲	北茨城市										-
	高萩市										-
	日立市										-
	ひたちなか市										-
央	常陸大宮市										-
	那珂市										-
	小美玉市										-
	笠間市										1
児	茨城町										-
	城里町										-
	大子町										-
	真海村										-
童	小計										1
	日立市										-
	常陸太田市										-
	高萩市										-
相	高萩市										-
	北茨城市										-
	小計										-
	鹿嶋市										-
談	鹿嶋市										-
	潮来市										-
	鉾田市										2
	行方市										1
所	茨城町										-
	城里町										3
	大洗町										-
	大子町										-
士	東海村										-
	小計										22
	土浦市										1
	石岡市										1
浦	龍ヶ崎市										2
	取手市										1
	牛久市										4
	つくば市										3
児	つくばみらい市										1
	かずみがうら市										1
	つくば市										2
	つくばみらい市										1
童	かずみがうら市										1
	守谷市										2
	阿見町										1
	河内町										4
相	美浦村										-
	利根町										-
	いわき市										1
	小計										13
所	常総市										2
	筑西市										2
	古河市										2
	結城市										2
西	結城市										2
	下妻市										1
	坂東市										2
	古河市										1
児	結城市										1
	下妻市										1
	坂東市										2
	古河市										3
童	結城市										3
	八千代町										1
	坂東市										1
	八千代町										5
相	五霞町										-
	小計										10
	計										71
	小計										223
所	計										223
	小計										23
	計										12
	小計										23

入院理由別総計表（さくらの森乳児院）

入院理由	平成23	24	合計
父または母の死亡			-
" 行方不明	1	2	3
" 離婚・就労			-
" 傷病・入院	2	4	6
" 精神疾患	3	6	9
" 受刑	3	3	6
" 被虐待・被冷遇	4	6	10
" 棄児・迷子		1	1
その他・未成年等	4	8	12
計	17	30	47

入院理由	平成25	26	27	28	29	30	令和1	2	合計
父又は母の死亡	1								1
" 行方不明	1			1					3
" 離婚									0
" 不和	1	1	1	1					4
" 拘禁	1	2	2	3	3	2	2		15
" 入院	3	3	2	1		2			11
" 就労									0
" 精神疾患等	5	6	6	8	5	6	9	8	53
" 放任・怠惰	2	1	1	1			3	1	9
" 虐待・酷使	2	2	1	2	6	6	7	12	38
棄児	1	1	1			1			4
養育拒否	5	6	3	1		1			16
破産等の経済的理由				7	1	1	1	1	11
児童の問題による監護困難	2								2
その他の		7	7	2	11	7	1	1	36
不詳									0
計	24	29	24	27	27	26	23	23	203

※平成25年度より集計項目変更

## 1 4. 児童心理治療施設 内原深敬寮

### 1) 令和3年度運営計画

令和3年度は、内原深敬寮の新たな中・長期運営計画(前期行動計画)の4年目となるが、計画が達成できるよう努めます。特に令和2年度は、新型コロナの影響で外部研修が計画的に実施できなかったため、WEBでも行われる外部研修には積極的に参加していきます。

また、施設内で児童間の性的事象が起り、改善計画を実施しているが、今後は施設内の業務改善と児童相談所との連携を図りながら児童の支援向上に努めてまいります。

なお、令和3年度も前年度に引き続き、業務改善のなかで、OJTでの支援体制の充実を図り施設運営の向上に取り組んでいきます。

#### 1 福祉サービスの向上

- (1) 施設運営改善委員会における業務改善「業務システム」の実施
- (2) 内原深敬寮の「治療方針」に基づいた、支援プログラムの充実
- (3) 児童支援の標準化のためOJT体制の実施
- (4) 児童に対する個別支援プログラムの実施
- (5) 地域に対する公益事業の推進に向けた取組の実施

#### 2 組織体制の強化

- (1) 第三者評価の自己評価の実施
- (2) 「心理治療施設」として、外部有識者よりのスーパービジョンを受けての体制充実

#### 3 人材の育成と人材確保

- (1) 業務改善をふまえた園内研修の実施
- (2) 法人研修への積極的参加
- (3) 職員の外部研修の計画的受講によるスキルアップ
- (4) 人材確保のため、積極的な施設PRの実施

#### 4 財政基盤の強化

- (1) 法人計画に基づく計画的な施設積立実施等、健全な予算執行の推進
- (2) 印刷製本・水道光熱費の前年度1%の節約
- (3) 職員及び子どもたちへの節約意識の啓蒙

### 2) 運営の概況

令和2年度に施設内で、男子児童間での性的問題行動が起り、施設運営改善計画を検討して進めました。また、年度途中で措置変更で入所した児童が、落ち着かない状況が続いたので、児童支援で「個別支援プログラム」を多く取り入れて対応しました。

職員育成については、児童担当をグループ担当制から個別担当制に変えるにあたって、「OJT体制」を導入して、職員の育成と児童支援の標準化を進めました。

今後は、様々な施設運営の課題に対し、施設運営会議等を開催して運営改善を図り、子どもたちの安心・安全な環境を整えるための取り組みを行ってまいります。

### 3) 児童処遇の状況

#### イ) 基本方針

当施設は、児童心理療育施設として、福祉・医療・教育が協力・連携した総合環境療法のなかで、情緒的不適応をおこした子ども達に対して、総合・多面的に援助を行い、心の成長と自立を促して、21世紀の担い手として一人ひとりが、心身ともに健やかに成長していく支援を行って行きます。

#### ① 法人綱領、基本理念を尊重し、具体化した実践。

子どもの権利擁護を中心に位置付け、施設の特徴をできるだけ活かした支援を実践する。そして、それは「人権を守る」ことであり、一人ひとりの個々の問題に焦点を合わせ、的確な見立てと、最善の治療方針を模索して、治療者との人間関係を通じて情緒の改善を図っていくプロセスとなります。私たちは、子ども達に対して、常に一人の人間として尊重して対応して、心身ともに健やかな成長を育める環境を造ってまいります。

#### ② 安心して生活できる場、再育的関わり。

施設が安心できる場所となり、子ども達が本来体験し発達の文脈にそくして成長する機会を保障できる生活環境を整備してまいります。

#### ③ 福祉・医療・教育・の3部門の連携・協力

子ども達の持つ課題に対して、3部門が協力(チームアプローチ)して多角的な視点と総合的な関わりによって、最善の支援を行ってまいります。

## ロ) 基本的目標

法人理念・綱領を实践し、児童が将来社会的自立できるよう援助・指導する。

### 1. 布 施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 他と協調する中で社会性を育てる。

### 2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)

- (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
- (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
- (3) 将来社会的自立ができる。

### 3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)

- (1) 目標に向かって努力する。
- (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
- (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

- 内原深敬寮での実践において、権利擁護を中心に位置づけ、子どもとの人間関係を大切にしてい、「生きる力」を大きく培える支援を実践します。

【あなたのことを知っています】

かならず名前を呼ぶことで、子どもであっても個人として尊重します。

【あなたに関心があります】

挨拶は人間関係を築く最初の基本であり、常に明るく挨拶を心掛けます。

【あなたを必要とします】

ありがとうとの言葉は、一人の人間お互いに尊重できる言葉であり、常にその環境を造っていきます。

## ハ) 支援目標

### 1. 児童支援の向上

- (1) 児童の安定 (安心して落ち着いた生活が送れる)
- (2) 日常生活の援助指導 (規則正しい生活リズムを作る)
- (3) 個性の尊重 (個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする)
- (4) 学習指導の強化 (基礎学力の向上と進路指導)
- (5) 自立支援 (児童自立支援計画に基づいた援助)
- (6) 家庭との連携 (家庭通信・帰省・面会・行事への参加)

## ニ) 学習指導

- (1) 目 的  
・子どもが安全に落ち着いて生活できる環境を作る。
- (2) 内 容  
・自ら学習計画を作成し、自主的な学習につなげる。

## ホ) 環 境 (安全・保健・環境)

- (1) 目 的  
・子どもが安全に落ち着いて生活できる環境を作る。(毎月安全委員会開催)
- (2) 内 容  
・手洗い・消毒の習慣化  
・清潔感を養う(服装、身体)衛生検査の実施(身体、頭髪、爪、耳垢等)  
・入浴指導の徹底  
・定期検便の実施  
・年齢による段階的な洗濯の習慣化  
・環境整備(施錠、補修、整備、整理整頓)  
・安全点検日(職員が安全面の定期点検をする)  
・非常時(火災、地震)対策、訓練の実施  
・交通安全の徹底(自転車、点検、補修)

## 4) 運 営

職員は法人理念・綱領を实践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

### 1. 職 員 会 議

- (1) 職員会議 ..... 月 1 回
- (2) 給食会議 ..... 月 1 回
- (3) ケース会議 ..... 月 1 回

- (4) インテーク会議 …………… 月 2 回
- (5) 担当者会議 …………… 月 1 回
- (6) 連絡会議 …………… 毎日午前・午後
- (7) 分教室連絡会議 …………… 月 1 回

## 2. 保健衛生及び安全管理

### (1) 環境衛生

- ア. 室内外の消毒（オスバン） …………… 月 1 回
- イ. 便所消毒 …………… 週 1 回
- ウ. 寝具消毒（日光消毒） …………… 毎 日
- エ. 浴場消毒（オスバン） …………… 週 1 回
- オ. 食器消毒（熱 風） …………… 毎 日
- カ. 残留塩素調査 …………… 毎 日

### (2) 身体衛生

- ア. 健康診断 …………… 学校保健法に準じて実施  
(本園嘱託医により) … 2月22日
- イ. 身体測定 …………… 月 1 回
- ウ. 散髪 …………… 3ヶ月に2回
- エ. つめ切り …………… 週 1 回
- オ. 下着交換 …………… 毎 日
- カ. 入浴 …………… 毎 日
- キ. 児童保菌検査 …………… 年 2 回
- ク. 職員保菌検査 …………… 月 1 回

### (3) 安全管理

- ア. 電気設備の検査（日本テクノ） …………… 月 1 回
- イ. 火災報知器の検査（水戸ホーチキ株） …………… 7月3日 1月13日

### (4) 児童の安全

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施（月 1 回）
- イ. 交通安全指導（自転車通学・通塾時）
- ウ. 環境整備（毎月第2水曜、第4水曜）

## 5) 児童の支援計画

### ◎学習指導について

1. 基礎学力養成のためのドリル学習
2. 平日の学習について … 帰園後に実施するのが通常であるが、児童の状況によって変更もある。
3. 場 所 …… 食堂・居室・学習室
4. 意欲、目標を持ち自分から学習する習慣
5. 学校の準備、後片付けの徹底

### ◎心理療法について

1. 個人心理療法実施 … 週 1 回（45分）
2. グループワーク … 年間計画により実施（小学生7回、中学生7回）
3. 家族療法事業による個別心理療法の実施

### ◎生活支援について

毎日の基本的な生活習慣を身につけるほか、集団生活の中での適応力を育てることで温かい人間関係が持てるよう援助する。

1. 児童の小遣いについて（毎月1日支給）
  - ・管理を児童の年齢や状況に応じて経験させ、その指導を行う。
2. 誕生日について
  - ・誕生日プレゼントを用意し、ケーキを囲んで皆で祝う。
  - ・誕生会は児童の誕生日の夕食時に行う。
  - ・夕食のメニューは誕生者の希望するもの。
3. お年玉について
  - ・未帰省児童に支給

4. 子ども会議の育成

- ・職員・児童が一緒になっての年間行事等の協議・検討。
- ・意見箱の設置

5. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
7:00	起床・清掃・洗面	起床・清掃・洗面	16:00	宿題 グループ活動 自由時間	グループ活動
7:20	朝食		18:00	夕食	夕食
8:20	登校 (セラピー)	朝食	19:00	入浴	入浴
9:00	昼食	清掃 自由遊び	20:00	テレビ視聴	テレビ視聴
11:00	帰園	昼食	21:00	就寝 (小学校低学年)	就寝 (小学校低学年)
12:00	昼食		21:30	就寝 (小学校高学年)	就寝 (小学校高学年)
13:30	登校 (セラピー)	自由遊び	22:00	就寝 (中学生)	就寝 (中学生)
14:00	帰園				
15:00	おやつ	おやつ			

6) 令和2年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身 体 測 定	30	29	30	31	31	30	30	30	28	29	26	31
保 菌 検 査 ( 児 童 )						4					5	
保 菌 検 査 ( 職 員 )	3	8	5	3	7	4	2	6	4	8	5	5
安 全 管 理 点 検	8	13	10	8	28	9	14	11	9	13	10	10
非 常 時 避 難 訓 練	26	23	27	18	29	26	24	28	19	30	27	13

7) 令和2年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事	
4	8	男子誕生会	10	21	男子誕生会	
	8	分教室中学校入学式		25	女子誕生会	
	26	女子誕生会		31	女子映画鑑賞会	
	30	男子未帰省児レク(笠間市)	11	2	男子誕生会	
5	15	女子おやつ作り		12	25	男子おやつ作り
	22	男子誕生会			25	クリスマス会
	28	女子誕生会	31		男子誕生会	
6			1	2	男子初詣(水戸市有賀神社)	
				3	女子初詣(水戸東照宮)	
7	18	男子誕生会	2	2	節分豆まき	
	28	女子誕生会		11	女子おやつ作り	
8	5	男子誕生会	2	25	男子誕生会	
	30	女子誕生会		9	11	中学校卒業式
9	12	分教室スポーツフェスティバル	18		小学校卒業式	
	21	女子おやつ作り	20		男子卒業を祝う会(映画鑑賞)	
	26	男子お泊まり会(管理棟ホール)	23		男子誕生会	
					28	女子卒業を祝う会(映画鑑賞)

## 8) 令和2年度資料

### 1. 職員の研修

	園長	事務	指導員	保育士	栄養士	調理員等	看護師	セブスタ	計
県・社協			2						2
団体			2	1					3
法人・施設	4	2	181	48	2	2	10	65	314
計	4	2	185	49	2	2	10	65	319

### 2. 児童構成 (R3.3.31現在)

区分 年令・学年	未就学児						小学生						中学生			高校生			計		
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3			
男												2	3	1	4	1				1	12
女									1			2	2		5	5	1	1	1		18
計									1			4	5	1	9	6	1	1	2		30

### 3. 各月初日在籍及び入退園児童 (入所)

[ ]内は停止

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	28	30	30	30	29	30	30	30	31	32	32	32	364
入所 うち( )は初日入所	2		1	1 [1]	1			1	2				8
退所 うち( )は初日退所			2	1					1			2	6
月末在籍	30	30	29	29	30	30	30	31	32	32	32	30	365

### 4. 各月初日在籍及び入退園児童 (通所)

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	7	7	7	7	7	7	8	8	8	7	7	7	87
入所 うち( )は初日入所					1	1							
退所 うち( )は初日退所					1				1			1	
月末在籍	7	7	7	7	7	8	8	8	7	7	7	6	86

### 5. 男女別問題行動別在籍児童数

別紙1参照

### 6. 退園理由別表 (入所)

退園理由	男	女	計
1. 自立(就職)	1		1
2. 進学(専門学校)		1	1
3. 措置変更	3		3
4. 家庭引取り	1		1
合計	5	1	6

### 7. 在園期間 (R3.3.31現在)

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
8	13	8	1		30

### 8. 栄養投与状況

◎嗜好調査 …………… 毎月、誕生月の児童に対して実施、年1回記述アンケートにより実施

1. 食費 1日当り 837円 (原材料費)
2. 熱量 小学生 2,309 Kcal (基準 2,026 Kcal)  
中学生 2,701 Kcal (基準 2,417 Kcal)
3. たん白質 小学生 81.81g (基準 45.9g)  
中・高学生 94.72g (基準 57.5g)



男女別問題行動別在籍児童数（1名3カウントまで）

領域	愁訴や問題の内容	男			女			計					
		入	所	通	所	小	計	入	所	通	所	小	計
総 数		51	15	66	57	12	69	108	27	135			
I 対人関係の問題	1. 内気、小心、孤立、いじめられなど				1		1	1		1			
	2. 痛癢、衝突、いじめなど	2	2	4	5	1	6	7	3	10			
	3. 場面緘黙や寡黙、極端な羞恥など												
	4. 対人恐怖、醜形恐怖、自己臭恐怖など												
	5. 過剰反応、気の遣いすぎなど												
	0. その他						1	1		1	1		
II 社会生活の問題	1. 盗み、暴力行為、放火など		1	1						1	1		
	2. 喫煙、シンナー、薬物乱用等の嗜好												
	3. 性をめぐる問題および行動化												
	4. 自傷行為、希死念慮～自殺企図				2	1	3	2	1	3			
	5. 事故、災害、犯罪被害												
	0. その他												
III 学校生活の問題	1. 学校恐怖ないし登校拒否	2	1	3	7	1	8	9	2	11			
	2. 学校怠けおよびその傾向												
	3. 級友や教師とのもめ事	3	1	4	1	2	3	4	3	7			
	4. 情緒不安定や落ち着きの無さ、協調の無さ	3	1	4	4		4	7	1	8			
	5. 校内での暴力、破壊行為												
	6. 学業不振												
	0. その他												
IV 家庭生活の問題	1. 家族関係の欠乏や過剰、不和	7	1	8	3		3	10	1	11			
	2. 家庭崩壊やその傾向	2	1	3				2	1	3			
	3. 被虐待やその歴史	9	3	12	17	2	19	26	5	31			
	4. 家族の事故や喪失	2	1	3		2	2	2	3	5			
	5. 居場所のなさ、徘徊、放浪、家出など				4		4	4		4			
	6. 激しい反抗や暴力	3		3	4	1	5	7	1	8			
	7. 家庭内での嘘や盗みなど		1	1	2		2	2	1	3			
	0. その他				1		1	1	1	1			
V 習癖上の問題	1. 頻尿・遺尿・遺糞など排泄上の問題	3		3	1		1	4		4			
	2. チックや汚言症	1		1				1		1			
	3. 吃音、早口症、書癡												
	4. 抜毛症、爪噛み、身体いじり												
	5. 洗手強迫、強迫行為、儀式行動など	1		1				1		1			
	0. その他	1		1				1		1			
VI 心身・身体症状	1. 拒食、過食、肥満、異食などの食行動異常	1		1	2		2	3		3			
	2. 腹痛、下痢、嘔吐など消化器症状												
	3. 不眠、夢中遊行などの睡眠障害												
	4. 頭痛、他諸種の疼痛												
	5. 失神、過呼吸、視力低下、失立失歩など												
	6. 喘息・湿疹などのアレルギー症状												
	7. 低身長や第二次性徴などの身体的発達の遅れ												
	8. てんかん発作												
	0. その他						1	1		1			
VII 精神症状	1. 抑鬱気分、不全感など	3		3				3		3			
	2. 怒りっぽさ、興奮、パニック	2		2				2		2			
	3. 感情易変性												
	4. 不安、緊張、過敏、怯え	1		1				1		1			
	5. 恐怖症、強迫観念												
	6. 妄想様念慮、異常体験												
	7. アパシー、無為、引きこもり												
	8. 解離性症状	1		1				1		1			
0. その他													
VIII 発達上の問題	1. 注意転動性、過反応性、多動性	1	2	3				1	2	3			
	2. 特定学習能力の障害				1		1	1		1			
	3. 微細協調運動の不器用												
	4. 自閉症近縁の自己中心性や関われなさ	3		3	2		2	5		5			
	5. 構音障害、言語発達の遅れ												
	6. 知能のムラや遅れ												
	0. その他												

令和3年度当初予算書

単位：千円

	合計	本部	臨海学園	同仁会乳院	同仁東保育園			同仁会児童家庭支援センター	同仁会子どもホーム	くれよんクラブ高萩	内原和敬齋内原深敬齋	児童家庭支援センターあいびー	つくば香風寮	さくらの森乳院	COLORSつくば
					同仁東保育園	ゆうゆうクラブ	地域子育て支援センター								
事業活動収入	1,709,132	1,107	172,354	187,821	155,962	11,420	8,274	25,374	137,751	24,724	221,997	37,906	212,668	228,240	31,595
施設設備等収入	239,145	0	146,000	93,145	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他活動収入	140,988	27,180	46,366	29,762	6	2,000	0	9,000	11,220	10,000	870	4,000	135	424	25
収入合計	2,089,265	28,287	364,720	310,728	155,968	13,420	8,274	34,374	148,971	34,724	222,867	41,906	212,803	228,664	31,620
事業活動支出	1,656,585	26,333	161,163	172,963	152,154	13,805	11,028	34,175	153,278	32,723	201,719	41,762	199,840	190,748	31,437
人件費支出	1,340,540	16,397	128,336	146,653	127,896	8,881	9,324	31,203	125,382	29,275	155,229	35,528	156,119	161,234	27,473
事業費支出	177,725	0	22,364	13,541	14,403	2,437	557	0	16,660	1,212	30,865	10	25,742	13,189	0
事務費支出	130,115	9,936	9,661	12,557	8,955	2,442	1,147	2,972	10,536	2,190	13,447	6,223	16,689	15,989	3,964
支払金利息支出	2,811	0	0	0	0	0	0	0	0	36	1,435	0	420	136	0
その他支出	5,394	0	802	212	900	45	0	0	700	10	743	1	870	200	0
施設設備等支出	372,684	0	194,670	124,495	100	0	0	0	0	2,000	18,400	250	11,114	3,192	0
その他活動支出	75,361	3,379	1,235	18,259	10,636	75	69	203	1,136	107	5,508	233	1,435	31,291	183
支出合計	2,104,630	29,712	357,068	315,717	162,890	13,880	11,097	34,378	154,414	34,830	225,627	42,245	212,389	225,231	31,620
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
差引残高	△ 15,365	△ 1,425	7,652	△ 4,989	△ 6,922	△ 460	△ 2,823	△ 4	△ 5,443	△ 106	△ 2,760	△ 339	414	3,433	0
前期末支払資金残高	185,456	1,643	12,860	30,662	37,056	546	8,589	62	5,506	416	15,741	438	14,615	42,677	3,000
当期松支払資金残高	170,091	218	20,512	25,673	30,134	86	5,766	58	63	310	12,981	99	15,029	46,110	3,000

# 財 産 目 録

令和3年3月31日現在

社会福祉法人 同 仁 会

I 資産の部		3,169,214,680円
1 流動資産		313,106,585円
ア	現金	1,704,749円
イ	預金	126,431,431円
ウ	有価証券	0円
エ	事業未収金	138,329,362円
オ	未収金	362,780円
カ	未収補助金	41,224,924円
キ	立替金	157,800円
ク	前払金	4,785,539円
ケ	前払費用	110,000円
2 固定資産		2,856,108,095円
(1) 基本財産		2,093,341,610円
ア 土地		
	同仁会子どもセンター敷地	高萩市肥前町1丁目80番地の2 1筆 3,112.97㎡ 9,330,000円
	同仁東保育園敷地	高萩市高浜町2丁目28番地の1 1筆 711.87㎡ 13,118,000円
	ゆうゆう館敷地	高萩市有明町1丁目144番地 1筆 506.36㎡ 30,602,500円
	くれよんクラブ高萩敷地	高萩市有明町1丁目46番地 1筆 538.93㎡ 16,289,000円
	内原同仁会子どもセンター敷地	水戸市小林町1186番84、85 1筆 11,329.26㎡ 45,995,610円
	〃	水戸市鯉淵町2508番53 1筆 2,796.00㎡ 10,743,390円
	つくば同仁会子どもセンター敷地	つくば市高崎802番1 1筆 6,153.00㎡ 37,182,418円
イ 建物		
	同仁会子どもセンター本館	高萩市肥前町1丁目80番地の2及び81番地の2 1棟 3,160.15㎡ 351,419,880円
	同仁東保育園舎	高萩市高浜町2丁目34番地、35番地 1棟 993.36㎡ 138,674,676円
	ゆうゆう館本館	高萩市有明町1丁目144番地 1棟 399.74㎡ 24,631,012円
	同仁会子どもホーム本館	高萩市秋山712番地の1、711番地の1 1棟 514.61㎡ 37,999,245円
	同仁会子どもホームユニット棟	〃 1棟 97.70㎡ 9,804,169円
	くれよんクラブ高萩本館	高萩市有明町1丁目46番地 1棟 111.79㎡ 40,719,374円
	内原深敬寮園舎	水戸市小林町1186番84、85、鯉淵町2508番53 1棟 1,751.91㎡ 400,477,028円
	内原和敬寮本館	〃 1棟 1,205.10㎡ 284,005,648円
	内原和敬寮小規模ユニット棟	〃 1棟 345.43㎡ 74,116,099円
	内原同仁会子どもセンター管理棟	〃 1棟 302.67㎡ 56,437,867円
	児童家庭支援センター あいびー	〃 1棟 323.06㎡ 141,010,580円
	つくば香風寮園舎	つくば市高崎802番1 1棟 1,074.92㎡ 211,461,806円
	さくらの森乳児院	〃 1棟 457.95㎡ 61,575,352円
	つくば同仁会子どもセンター管理棟	〃 1棟 323.30㎡ 39,115,360円
	COLORSつくば	つくば市高崎802番地4 1棟 159.35㎡ 58,632,596円
(2) その他の固定資産		762,766,485円
ア 土地		
	同仁会子どもセンター敷地	高萩市肥前町1丁目82番の1、2 2筆 336.96㎡ 26,822,016円
	同仁東保育園敷地	高萩市高浜町2丁目29番地の1、3 2筆 327.00㎡ 13,809,000円
	福祉施設建設予定地	高萩市有明町3丁目60番2、30番8、30番12 3筆 320.07㎡ 6,548,000円
	福祉施設建設予定地	石岡市行里川13422-3、12、13438-6 3筆 3,893.93㎡ 37,690,000円
	つくば同仁会子どもセンター敷地	つくば市高崎802番3、4 2筆 2,948.00㎡ 17,817,582円
イ 建物		
	同仁東保育園倉庫	高萩市高浜町2丁目34番地、35番地 1棟 23.89㎡ 510,000円
	内原深敬寮学校棟	水戸市小林町1186番84、85、鯉淵町2508番53 1棟 739.18㎡ 225,213,568円
ウ	構築物	121,396,513円
エ	機械及び装置	4,195,250円
オ	車輛運搬具	614,755円
カ	器具及び備品	25,374,601円
キ	権利	172,340円
ク	退職給付引当資産	81,230,860円
ケ	措置施設繰越特定積立資産	160,330,000円
コ	損害賠償積立預金	40,652,000円
サ	ブーク進学支援積立資産	390,000円
II 負債の部		918,823,234円
1 流動負債		237,240,374円
ア	事業未払金	116,201,770円
イ	1年以内返済予定設備資金借入金	52,129,000円
エ	預り金	762,960円
オ	職員預り金	1,942,144円
カ	前受金	31,500円
キ	賞与引当金	66,173,000円
2 固定負債		681,582,860円
ア	設備資金借入金	600,352,000円
イ	退職給与引当金	81,230,860円
III 差引正味財産		2,250,391,446円

資 金 収 支 計 算 書

自 令和2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

単位：千円

	合 計	法人本部	臨海学園	同乳児院	同保育園	同東園点	くれよんクラブ	児童家庭支援センター	同子ども会	内原和敬寮	あいびー	内原深敬寮	つくば香風寮	さくらの森児院	COLORSつくば
事業活動収入 (1)	1,732,169	1,518	178,266	196,562	182,812	20,975	24,306	145,865	227,594	30,878	251,503	214,573	228,665	28,651	
事業活動支出 (2)	1,584,989	27,425	161,882	170,007	163,898	29,795	33,744	142,804	194,341	34,376	239,667	179,099	179,778	28,169	
事業活動収支差額 (3) = (1) - (2)	147,180	△ 25,907	16,384	26,555	18,914	△ 8,820	△ 9,438	3,061	33,253	△ 3,498	11,836	35,474	48,887	482	
施設整備等による収入 (4)	94,520		30		1,500	215	429	215	84,036			7,805	290		
施設整備等による支出 (5)	153,439		289	557	2,852	2,215	429	215	103,068			21,409	3,601	515	
施設整備等による収支差額 (6) = (4) - (5)	△ 58,919	0	△ 259	△ 557	△ 1,352	△ 2,000	0	0	△ 19,032	0	△ 18,289	△ 13,604	△ 3,311	△ 515	
その他活動による収入 (7)	105,097	29,223	10,000	493	835	13,648	9,000	4,015	5,945	10,500	15,505	4,179	1,547	207	
その他活動による支出 (8)	177,731	3,377	51,233	43,238	28,766	117	199	1,093	5,433	256	3,235	4,334	36,275	174	
その他活動による収支差額 (9) = (7) - (8)	△ 72,634	25,846	△ 41,233	△ 42,745	△ 27,931	13,531	8,801	2,922	512	10,244	12,270	△ 155	△ 34,728	33	
当期資金収支差額合計 (10) = (3) + (6) + (9)	15,626	△ 61	△ 25,108	△ 16,747	△ 10,369	2,711	△ 637	5,983	14,733	6,746	5,817	21,715	10,848	0	
前期末支払資金残高 (11)	178,542	1,876	35,226	38,802	42,607	1,084	1,045	5,452	4,740		5,021	3,540	36,146	3,000	
当期末支払資金残高 (12) = (10) + (11)	194,168	1,815	10,118	22,055	32,238	3,795	408	11,435	19,473	6,746	10,838	25,255	46,994	3,000	

注1 千円未満は四捨五入で表示しております。そのため、合計金額及び増減の金額が合わない場合があります。

2 法人内の内部取引を含んでいません。

# 事業活動収支計算書

令和2年 4月 1日  
至 令和3年 3月31日

単位：千円

勘定科目	法人本部	臨海学園	同仁児童会	同仁保育園	東園	ゆゆう幼稚園	ゆゆう幼稚園	地域子育て支援センター	くれよんクラブ	児童家庭支援センター	同仁子ども会	内原和敬寮	あいびー	内原深敬寮	つくば香風寮	さくらの森乳児院	COLORSつくば	合計
サービス活動収益(1)	1,482	177,301	196,413	163,750	9,678	8,424	20,961	24,297	145,151	226,732	30,878	250,532	213,166	228,251	28,651	1,725,667		
サービス活動費用(2)	27,990	163,048	172,106	147,192	13,090	10,804	31,821	34,393	143,493	205,398	40,034	253,136	183,910	182,833	30,650	1,639,899		
事業活動増減差額 (3) = (1) - (2)	△ 26,508	14,253	24,307	16,558	△ 3,412	△ 2,380	△ 10,860	△ 10,096	1,658	21,334	△ 9,156	△ 2,604	29,256	45,418	△ 1,999	85,768		
サービス活動外収益(4)	303	965	441	1,314	13		141	9	749	1,418		1,309	1,654	837	134	9,288		
サービス活動外費用(5)		778	108	793	10		63		676	2,147		2,322	1,991	386		9,276		
事業活動外増減差額(6) = (4) - (5)	303	187	333	521	3		78	9	73	△ 729		△ 1,013	△ 337	451	134	12		
経常増減差額(7) = (3) + (6)	△ 26,205	14,440	24,640	17,079	△ 3,409	△ 2,380	△ 10,782	△ 10,087	1,731	20,605	△ 9,156	△ 3,617	28,919	45,869	△ 1,865	85,780		
特別収益(8)		29		500	500	500	215	429	215	4,037			7,805	290		14,519		
特別費用(9)				500	500	500	215	429	215	15,500			7,805	334		25,996		
特別増減差額(10) = (8) - (9)		29							△ 11,463					△ 44		△ 11,477		
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	△ 26,205	14,469	24,640	17,079	△ 3,409	△ 2,380	△ 10,782	△ 10,087	1,731	9,142	△ 9,156	△ 3,617	28,919	45,825		74,303		
前期繰越活動収支差額(12)	42,379	90,682	66,668	189,266	50,504	10,180	52,919	49	26,169	101,119		233,047	43,937	68,329	63,668	1,038,918		
当期末繰越活動収支差額(13) = (11) + (12)	16,173	105,152	91,309	208,346	47,095	7,800	42,137	△ 10,038	27,900	110,261	△ 9,156	229,430	72,856	114,154	61,803	1,113,220		
基本金取崩額(14)																		
その他の積立金取崩額(15)																		
その他の積立金積立額(16)	3,280	47,000	20,000													70,280		
次期繰越活動収支差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	12,893	58,152	71,309	208,346	47,095	7,800	42,137	△ 10,038	27,900	110,261	△ 9,156	229,430	72,856	114,154	61,803	1,042,940		

注1 千円未満は四捨五入で表示しております。そのため、合計金額及び増減の金額が合わない場合があります。

2 法人内の内部取引を含んでいません。

# 貸借対照表

令和3年3月31日現在

単位：千円

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
<b>流動資産</b>	313,107	396,510	-83,403	<b>流動負債</b>	237,240	375,708	-138,468
現金	1,705	1,195	510	事業未払金	116,202	216,486	-100,284
預金	126,431	265,730	-139,299	1年以内返済予定設備資金借入金	52,129	93,129	-41,000
事業未収金	138,329	93,216	45,113	預り金	763	13	750
未収金	363	366	-3	職員預り金	1,942	1,441	501
未収補助金	41,225	31,329	9,896	前受金	31	28	3
立替金	158	145	13	賞与引当金	66,173	64,611	1,562
前払金	4,786	2,631	2,155				
前払費用	110	1,898	-1,788				
				<b>固定負債</b>	681,583	658,188	23,395
<b>固定資産</b>	2,856,108	2,821,899	34,209	設備資金借入金	600,352	576,481	23,871
<b>基本財産</b>	2,093,342	2,002,177	91,165	退職給付引当金	81,231	81,707	-476
土地	163,261	163,261	0	その他の固定負債			0
建物	1,930,081	1,838,916	91,165	<b>負債の部合計</b>	918,823	1,033,896	-115,073
その他の固定資産	762,766	819,722	-56,956				
土地	102,686	102,686	0	<b>純資産の部</b>			
建物	225,724	232,046	-6,322	<b>基本金</b>	49,038	49,038	0
構築物	121,396	133,599	-12,203	基本金	49,038	49,038	0
機械及び装置	4,195	5,775	-1,580	国庫補助金等特別積立金	957,041	965,466	-8,425
車両運搬具	615	795	-180	<b>その他の積立金</b>	201,372	131,092	70,280
器具及び備品	25,375	21,849	3,526	措置施設繰越特定積立金	160,330	93,330	67,000
建設仮勘定		110,173	-110,173	損害賠償積立金	40,652	37,472	3,180
権利	172		172	ブーケ進学支援積立金	390	290	100
退職給付引当資産	81,231	81,707	-476	次期繰越活動増減差額			
措置施設繰越特定積立資産	160,330	93,330	67,000	次期繰越活動増減差額	1,042,940	1,038,918	4,022
損害賠償積立資産	40,652	37,472	3,180	(うち当期活動増減差額)	74,302	-24,397	98,699
ブーケ進学支援積立資産	390	290	100	<b>純資産の部合計</b>	2,250,391	2,184,514	65,877
			0				
<b>資産の部合計</b>	3,169,215	3,218,410	-49,195	<b>負債及び純資産の部合計</b>	3,169,215	3,218,410	-49,195

注 千円未満は四捨五入で表示しております。そのため、合計金額及び増減の金額が合わない場合があります。



## 令和3年度事業概要

---

---

令和3年6月10日発行(700部)

発行者 社会福祉法人 同仁会  
理事長 塩澤 幸一  
〒318-0011 茨城県高萩市肥前町1-80  
TEL 0293-23-3245 FAX 0293-22-4260  
ホームページ <http://www.doujinkai.or.jp/>

---

---